

# 人権問題に関する志摩市民意識調査

## 報 告 書

2026（令和8）年3月

志 摩 市

# 人権問題に関する志摩市民意識調査報告書

## 目 次

### 序章 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の対象と方法	
3	回収状況	
4	回答者の属性	
5	報告書の見方	

### 第1章 調査結果

問1	人権に関する宣言や条約・法律・条例	3
問2	人権に関する意見	13
問3	差別の現状認識	27
問4	結婚（縁談）相手の身元調査	31
問5	障がい者の生活施設の建設計画反対への意識	35
問6	家主による属性を理由とする入居拒否への考え方	38
問7	子どもの結婚への態度	41
問8	ハンセン病回復者等への忌避意識	47
問9	HIV陽性者への忌避意識	49
問10	インターネット上での差別や人権侵害の捉え方や相談窓口の認知度	52
問11	子どもが性的マイノリティであった場合の態度	54
問12	自身の物件の購入（賃貸）に関する態度	62
問13	子や孫の物件の購入（賃貸）に関する態度	65
問14	過去5年間の人権侵害被害経験	68
問15	人権問題の学習経験	73
問16	志摩市等が行っている人権講座等への参加状況	80
問17	マイノリティ等との関係性	82

### 第2章 詳細分析

#### 資料

属性別集計表
調査票

## 序章 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は同和問題をはじめとする人権問題に関する市民意識の実態を把握することにより、これまで進めてきたさまざまな施策や、人権・同和教育、人権・同和行政の取組を洗い直し、問題点等を探り、今後の人権行政を推進していくための基礎資料を得ることを目的として実施した。

また、2016（平成28）年度に実施した前回調査との比較検討を実施し、取組の効果測定と意識の変化を把握した。

### 2 調査の対象と方法

- (1) 調査対象 志摩市全域に在住の満18歳以上の市民
- (2) 標本数 2000人
- (3) 標本抽出法 住民基本台帳に基づく層化無作為抽出法
- (4) 調査方法 無記名によるアンケート回答方式・郵送回収法
- (5) 調査期間 2025（令和7）年9月1日～9月16日まで

### 3 回収状況

返送されてきたのは659票で、うち有効回答は645票、有効回答率は32.3%であった。

### 4 回答者の属性

- (1) 性別：男性43.9% 女性53.8% 男性・女性と回答しにくい方0.0%  
無回答2.3%
- (2) 年齢：18～29歳以下5.4% 30歳代5.0% 40歳代11.3%  
50歳代18.1% 60歳代19.7% 70歳以上38.6%  
無回答1.9%
- (3) 住まい：浜島町9.8% 大王町12.1% 志摩町18.0%  
阿児町41.7% 磯部町16.4% 無回答2.0%
- (4) 学生期：志摩市内77.5% 志摩市外20.5% 無回答2.0%

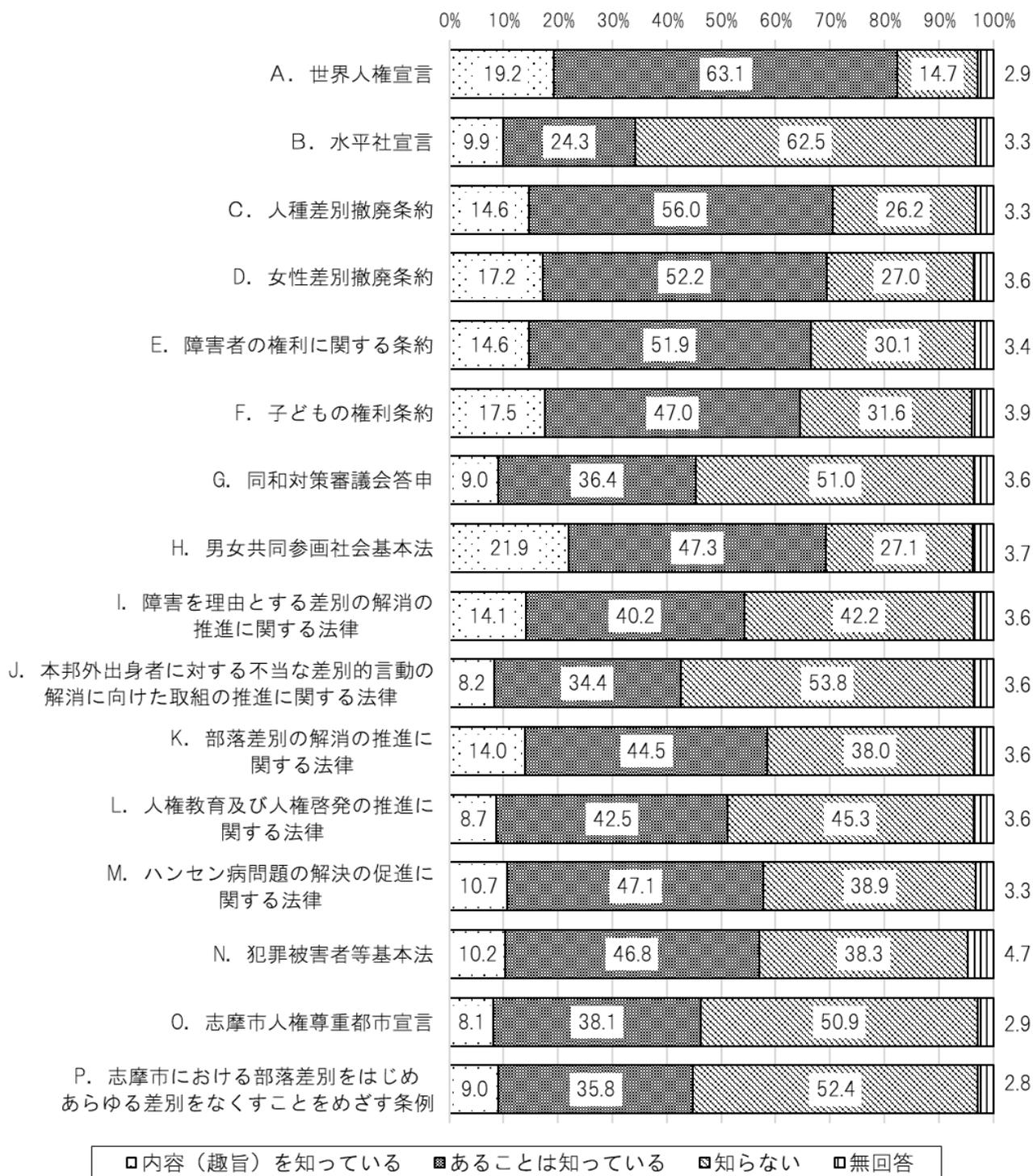
### 5 報告書の見方

- (1) 比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答の設問における比率の合計は、通常100%を超える。

- (3) 図表の見出しや回答の選択肢の表記は、スペース等の都合上、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合がある。
- (4) 属性項目間の比率で5ポイント以上の変化が見られた結果について記載する。
- (5) サンプル数が20未満の場合は原則として記述を省略している。
- (6) 本文中の百分率(%) どちらの比較における差は、原則として「ポイント」と表現する。

# 第1章 単純集計結果

問1 あなたは、次のような人権に関する宣言や条約・法律・条例を知っていますか。A～Pのそれぞれについて、あてはまる回答の数字に1つだけ○をつけてください。

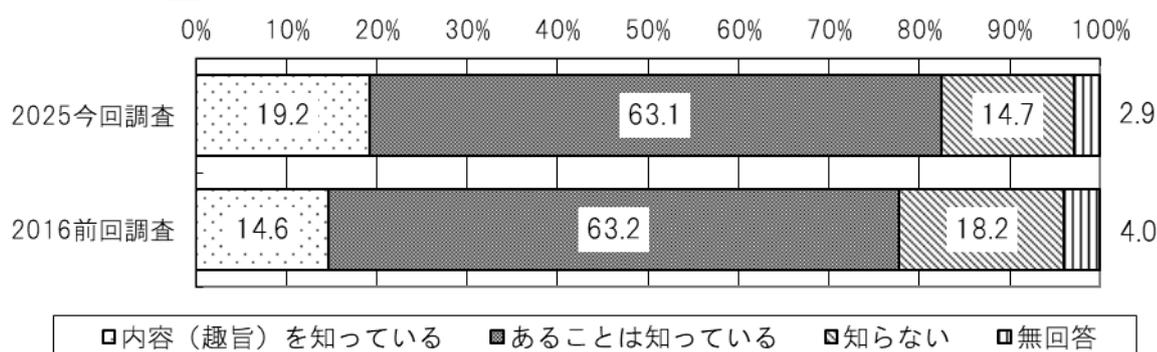


人権に関する宣言や条約、法令について、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「H. 男女共同参画社会基本法」で21.9%、2番目に高かったのは「A. 世界

人権宣言」で19.2%、3番目は「F. 子どもの権利条約」で17.5%、次いで「D. 女性差別撤廃条約」で17.2%、次いで「C. 人種差別撤廃条約」「E. 障害者の権利に関する条約」で14.6%となった。

「知らない」で最も割合が高かったのは「B. 水平社宣言」で62.5%、2番目に高かったのは「J. 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」で53.8%、3番目は「P. 志摩市における部落差別をはじめあらゆる差別をなくすことをめざす条例」で52.4%、次いで「G. 同和対策審議会答申」で51.0%、次いで「O. 志摩市人権尊重都市宣言」で50.9%となった。

## A.世界人権宣言



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

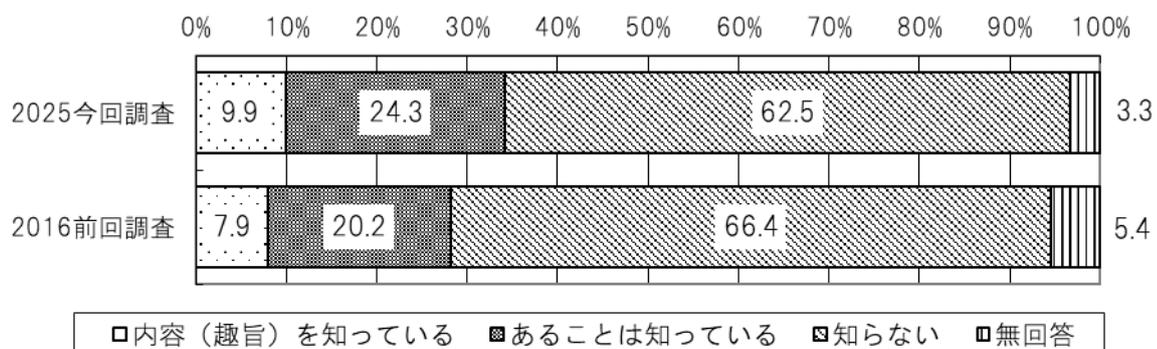
「年齢」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で25.7%、最も割合が低かったのは「60歳代」で16.5%と、9.2ポイントの差が見られた。「知らない」で最も割合が高かったのは「60歳代」で17.3%、最も割合が低かったのは「30歳代」で6.3%と11.0ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「浜島町」で30.2%、最も割合が低かったのは「志摩町」で13.8%と、16.4ポイントの差が見られた。

「知らない」で最も割合が高かったのは「大王町」で19.2%、最も割合が低かったのは「磯部町」で7.5%と11.7ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## B.水平社宣言



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「40 歳代」で 17.8%、最も割合が低かったのは「60 歳代」で 4.7%と、13.1 ポイントの差が見られた。

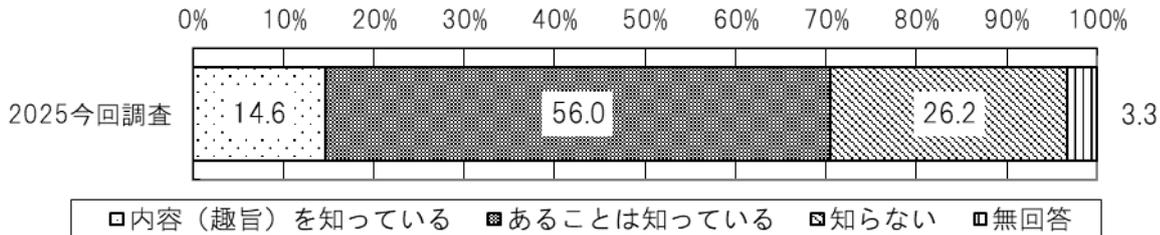
「知らない」で最も割合が高かったのは「60 歳代」で 73.2%、最も割合が低かったのは「40 歳代」で 39.7%と、33.5 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 17.9%、最も割合が低かったのは「浜島町」で 4.8%と、13.1 ポイントの差が見られた。

「知らない」で最も割合が高かったのは「大王町」で 74.4%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 49.1%と、25.3 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### C.人種差別撤廃条約



「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「30 歳代」で 18.8%、最も割合が低かったのは「60 歳代」で 11.0%と、7.8 ポイントの差が見られた。

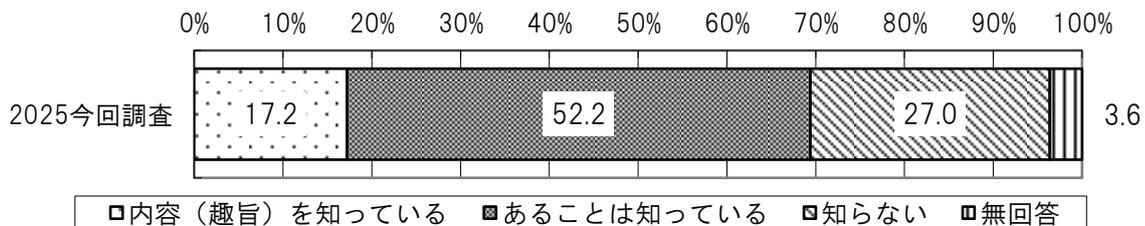
「知らない」で最も割合が高かったのは「18~29 歳以下」で 34.3%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 19.7%と、14.6 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「浜島町」で 19.0%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 7.8%と、11.2 ポイントの差が見られた。

「知らない」で最も割合が高かったのは「大王町」で 34.6%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 18.9%と、15.7 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「あることは知っている」で「志摩市内」が 55.4%、「志摩市外」が 60.6%と、5.2 ポイントの差が見られた。「知らない」で「志摩市内」が 27.8%、「志摩市外」が 20.5%と、7.3 ポイントの差が見られた。

### D.女性差別撤廃条約



「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「50 歳代」で 19.7%、最も割合が低かったのは「60 歳代」で 14.2%と、5.5 ポイントの差が見られた。

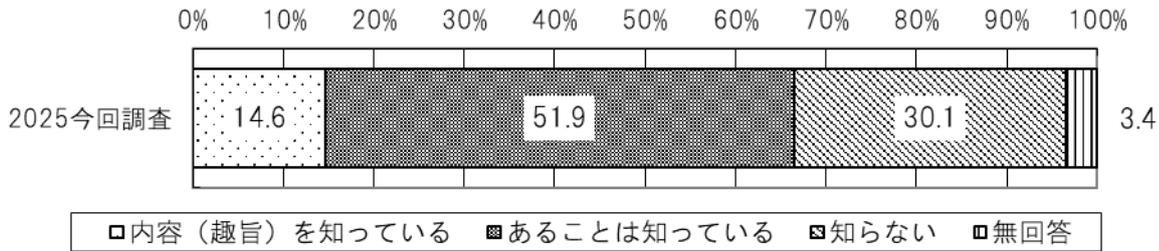
「知らない」では「30歳代」から「60歳代」が3割を超えた。

「住まい」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「浜島町」で25.4%、最も割合が低かったのは「志摩町」で12.9%と、12.5ポイントの差が見られた。

「知らない」で最も割合が高かったのは「大王町」で34.6%、最も割合が低かったのは「浜島町」で17.5%と、17.1ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### E.障害者の権利に関する条約



「性別」では、「あることは知っている」で「男性」が49.1%、「女性」が54.8%と、5.7ポイントの差が見られた。「知らない」で「男性」が34.6%、「女性」が26.5%と、8.1ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「30歳代」で21.9%、最も割合が低かったのは「40歳代」で6.8%と、15.1ポイントの差が見られた。

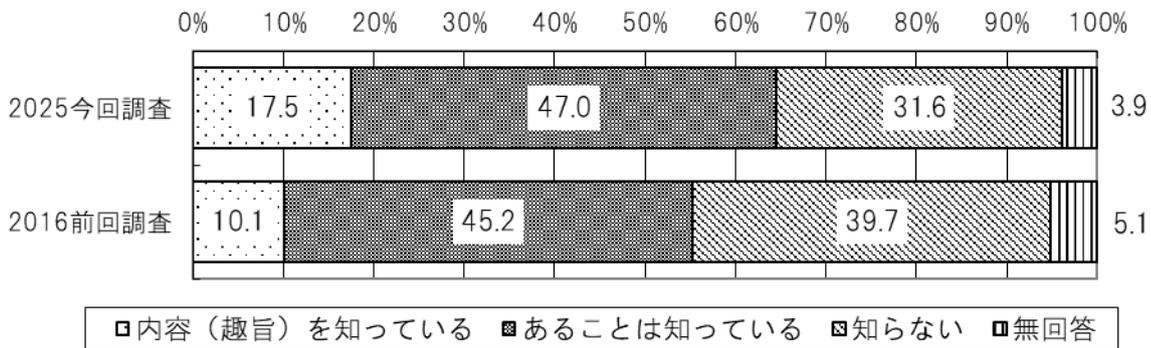
「知らない」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で37.1%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で25.7%と、11.4ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「浜島町」で19.0%、最も割合が低かったのは「志摩町」で11.2%と、7.8ポイントの差が見られた。

「知らない」で最も割合が高かったのは「大王町」で35.9%、最も割合が低かったのは「浜島町」で22.2%と、13.7ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### F.子どもの権利条約



前回調査との比較では、「内容（趣旨）を知っている」で前回よりも7.4ポイント増え、「知らない」では前回よりも8.1ポイント減った。

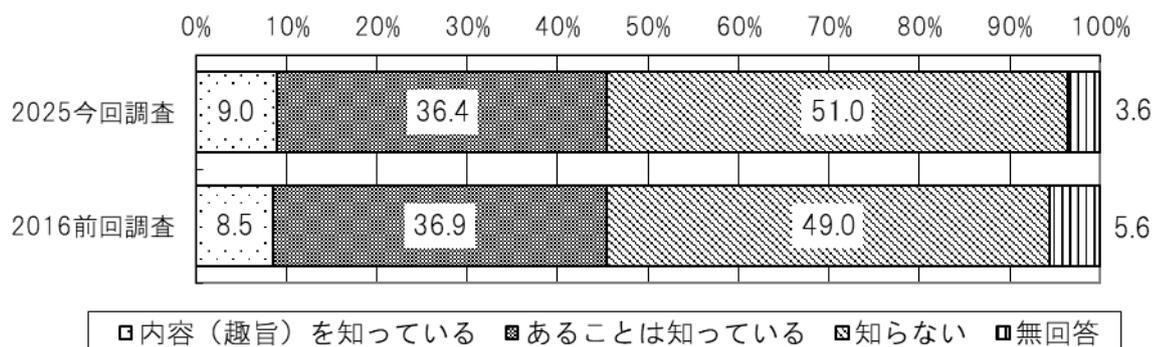
「性別」では、「あることは知っている」で「男性」が43.5%、「女性」が51.0%と、7.5ポイントの差が見られた。「知らない」で「男性」が38.2%、「女性」が26.2%と、12.0ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 32.0%、最も割合が低かったのは「40 歳代」で 9.6%と、22.4 ポイントの差が見られた。「知らない」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 44.0%、最も割合が低かったのは「40 歳代」で 30.1%と、13.9 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 19.8%、2 番目に高かったのは「浜島町」と「阿児町」で 17.5%となった。「知らない」で最も割合が高かったのは「阿児町」で 34.9%、最も割合が低かったのは「浜島町」で 25.4%と、9.5 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## G.同和対策審議会答申



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

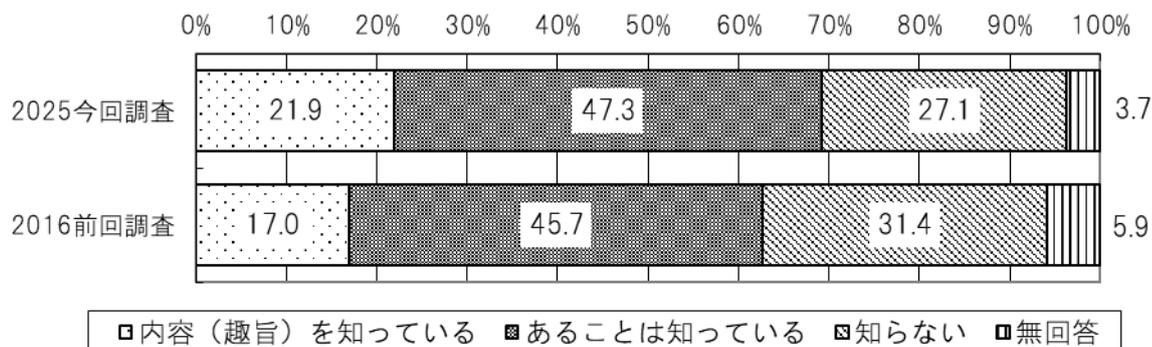
「年齢」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「70 歳以上」で 11.2%、最も割合が低かったのは「18～29 歳以下」で 2.9%と、8.3 ポイントの差が見られた。「知らない」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 65.7%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 42.6%と 23.1 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 17.9%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 3.4%と、14.5 ポイントの差が見られた。

「知らない」で最も割合が高かったのは「大王町」で 60.3%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 33.0%と、27.3 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## H. 男女共同参画社会基本法



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「30 歳代」で 43.8%、最も割合が低かったのは「60 歳代」で 16.5%と、27.3 ポイントの差が見られた。

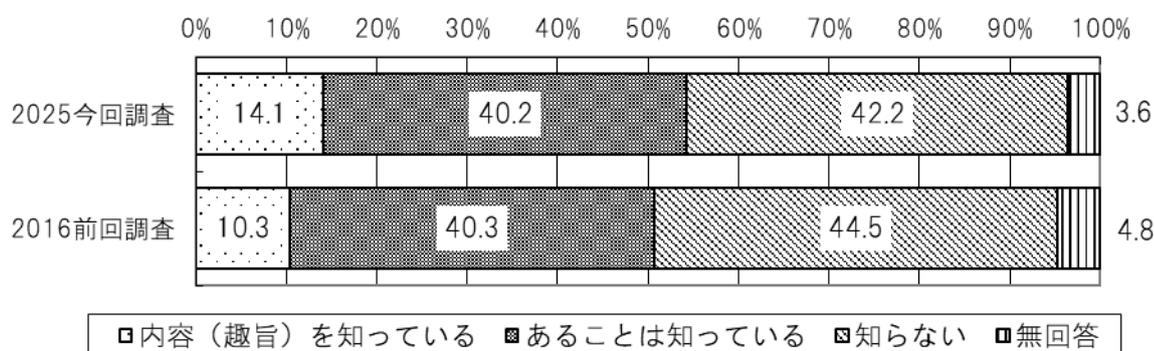
「知らない」で最も割合が高かったのは「40 歳代」で 37.0%、最も割合が低かったのは「30 歳代」で 12.5%と、24.5 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 26.4%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 18.1%と、8.3 ポイントの差が見られた。

「知らない」で最も割合が高かったのは「大王町」で 33.3%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 20.8%と、12.5 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「内容（趣旨）を知っている」で「志摩市内」が 23.4%、「志摩市外」が 16.7%と、6.7 ポイントの差が見られた。

### I.障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

「性別」では、「あることは知っている」で「男性」が 37.8%、「女性」が 42.9%と、5.1 ポイントの差が見られた。「知らない」で「男性」が 47.7%、「女性」が 37.8%と、9.9 ポイントの差が見られた。

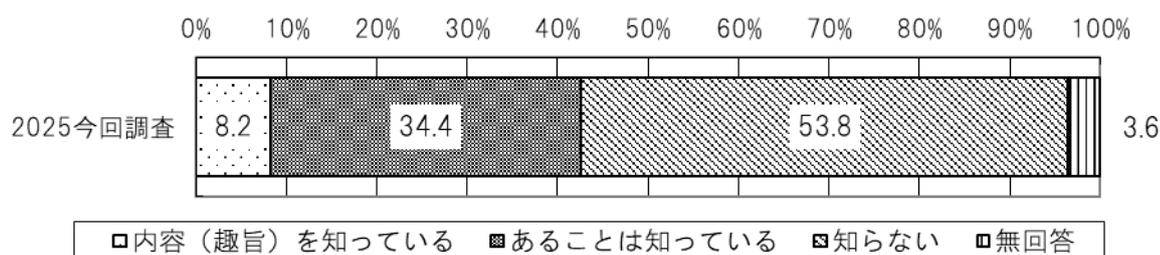
「年齢」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「50 歳代」で 19.7%、最も割合が低かったのは「40 歳代」で 8.2%と、11.5 ポイントの差が見られた。

「知らない」で最も割合が高かったのは「40 歳代」で 52.1%、最も割合が低かったのは「30 歳代」で 37.5%と、14.6 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 20.8%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 9.5%と 11.3 ポイントの差が見られた。「知らない」で最も割合が高かったのは「志摩町」で 49.1%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 26.4%と、22.7 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### J.本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律



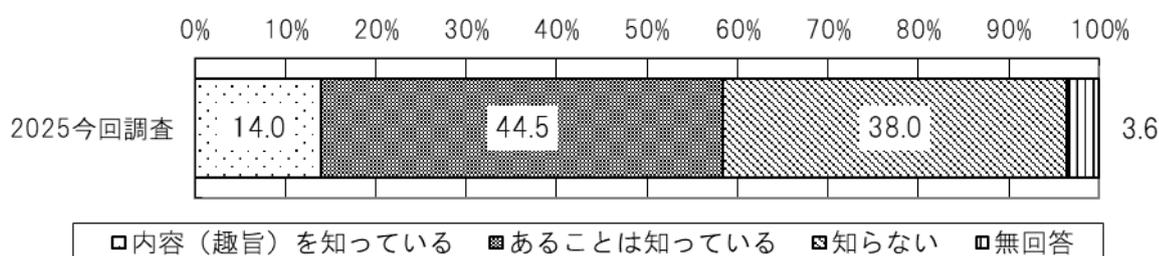
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「50 歳代」で 14.5%、最も割合が低かったのは「60 歳代」で 5.5%と、9.0 ポイントの差が見られた。「知らない」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 62.9%、最も割合が低かったのは「50 歳代」で 48.7%と、14.2 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 12.3%、最も割合が低かったのは「阿児町」で 5.9%と、6.4 ポイントの差が見られた。「知らない」で最も割合が高かったのは「志摩町」で 61.2%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 42.5%と、18.7 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## K. 部落差別の解消の推進に関する法律



「性別」では、ほとんど差は見られなかった

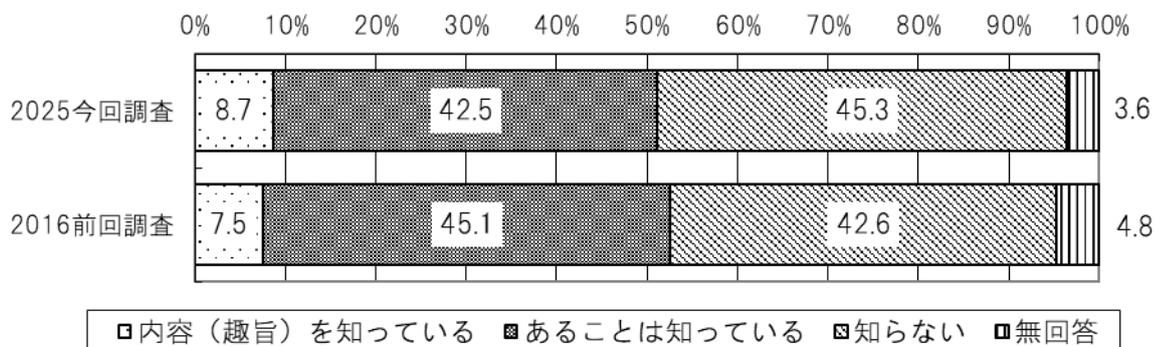
「年齢」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「70 歳以上」で 16.9%、最も割合が低かったのは「18～29 歳以下」で 8.6%と、8.3 ポイントの差が見られた。「知らない」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 51.4%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 32.1%と、19.3 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 22.6%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 9.5%と、13.1 ポイントの差が見られた。

「知らない」で最も割合が高かったのは「志摩町」で 40.5%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 30.2%と、10.3 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## L. 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

「性別」では、「あることは知っている」で「男性」が 39.9%、「女性」が 45.5%と、5.6 ポイントの差が見られた。「知らない」で「男性」が 49.1%、「女性」が 42.1%と、7.0 ポイントの差が見られた。

イントの差が見られた。

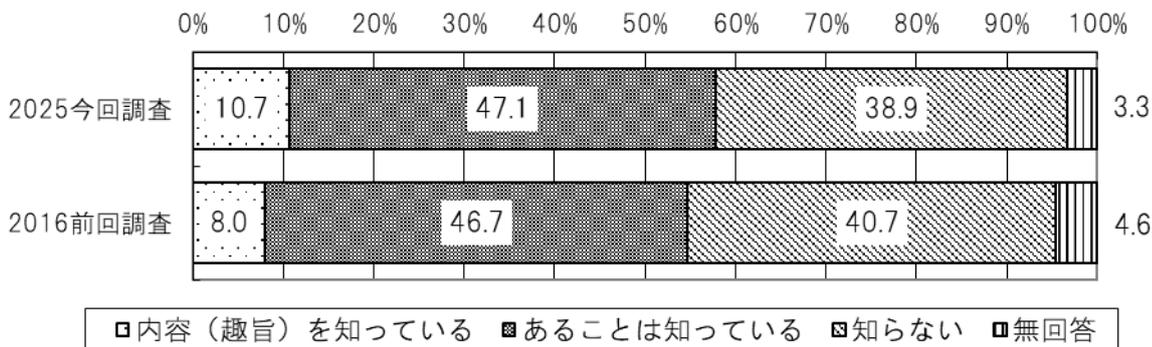
「年齢」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「50 歳代」で 16.2%、最も割合が低かったのは「40 歳代」で 4.1%と、12.1 ポイントの差が見られた。

「知らない」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 71.4%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 40.2%と、31.2 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「浜島町」で 11.1%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 6.0%と 5.1 ポイントの差が見られた。「知らない」で最も割合が高かったのは「志摩町」で 54.3%、最も割合が低かったのは「浜島町」で 34.9%と、19.4 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### M.ハンセン病問題の解決の促進に関する法律



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

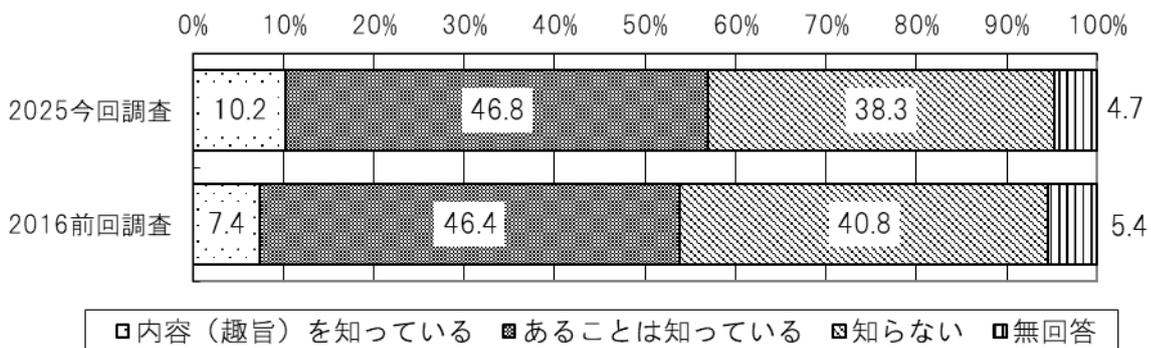
「性別」では、「知らない」で「男性」が 44.5%、「女性」が 34.9%と、9.6 ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「50 歳代」で 15.4%、最も割合が低かったのは「18～29 歳以下」で 5.7%と、9.7 ポイントの差が見られた。「知らない」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 68.6%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 32.9%と、35.7 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「大王町」で 15.4%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 6.9%と、8.5 ポイントの差が見られた。「知らない」で最も割合が高かったのは「大王町」で 43.6%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 36.8%と、6.8 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### N.犯罪被害者等基本法



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

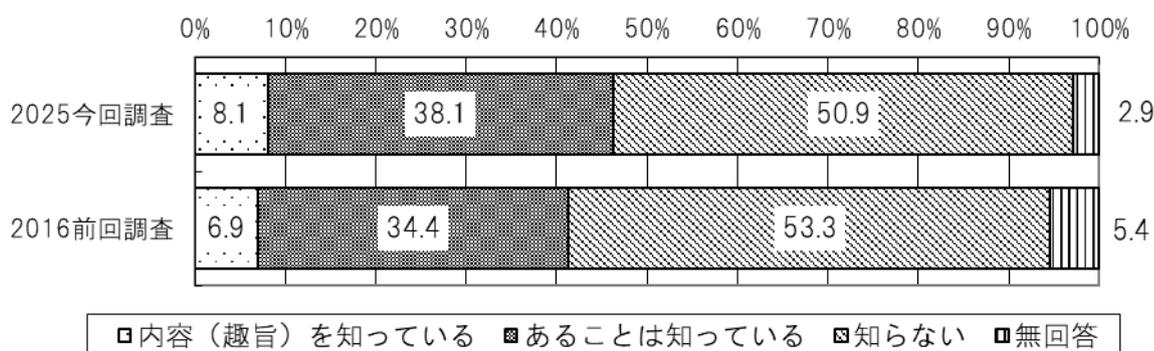
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「50 歳代」で 17.9%、最も割合が低かったのは「18～29 歳以下」で 2.9%と、15.0 ポイントの差が見られた。「知らない」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 62.9%、最も割合が低かったのは「50 歳代」で 29.9%と、33.0 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「浜島町」で 14.3%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 6.9%と、7.4 ポイントの差が見られた。「知らない」で最も割合が高かったのは「浜島町」で 42.9%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 35.8%と、7.1 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## O.志摩市人権尊重都市宣言



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

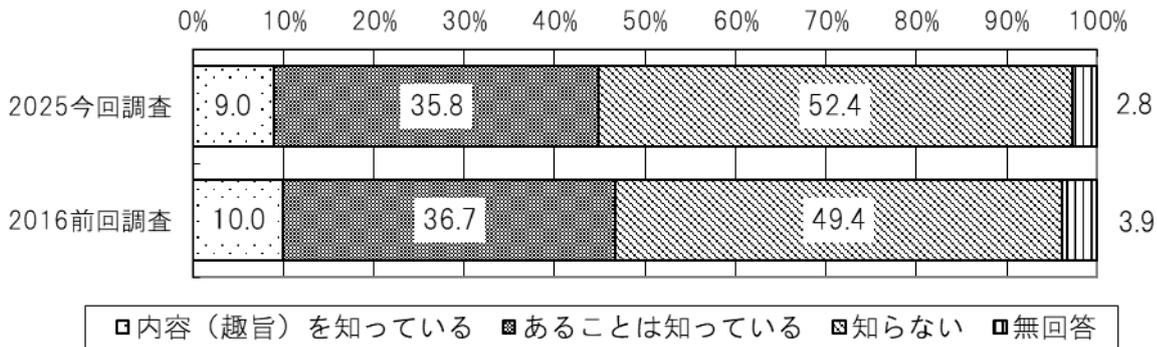
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「50 歳代」で 12.8%、最も割合が低かったのは「30 歳代」で 0.0%と、12.8 ポイントの差が見られた。「知らない」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 60.0%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 46.6%と、13.4 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 13.2%、最も割合が低かったのは「阿児町」で 5.9%と、7.3 ポイントの差が見られた。「知らない」で最も割合が高かったのは「志摩町」で 57.8%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 31.1%と、26.7 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「あることは知っている」で「志摩市内」が 37.2%、「志摩市外」が 42.4%と、5.2 ポイントの差が見られた。「知らない」では、「志摩市内」が 52.6%、「志摩市外」が 45.5%と、7.1 ポイントの差が見られた。

P. 志摩市における部落差別をはじめあらゆる差別をなくすことをめざす条例



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

「性別」では、「あることは知っている」で「男性」が 32.9%、「女性」が 38.0%と、5.1ポイントの差が見られた。「知らない」では「男性」が 57.2%、「女性」が 49.6%と、7.6ポイントの差が見られた。

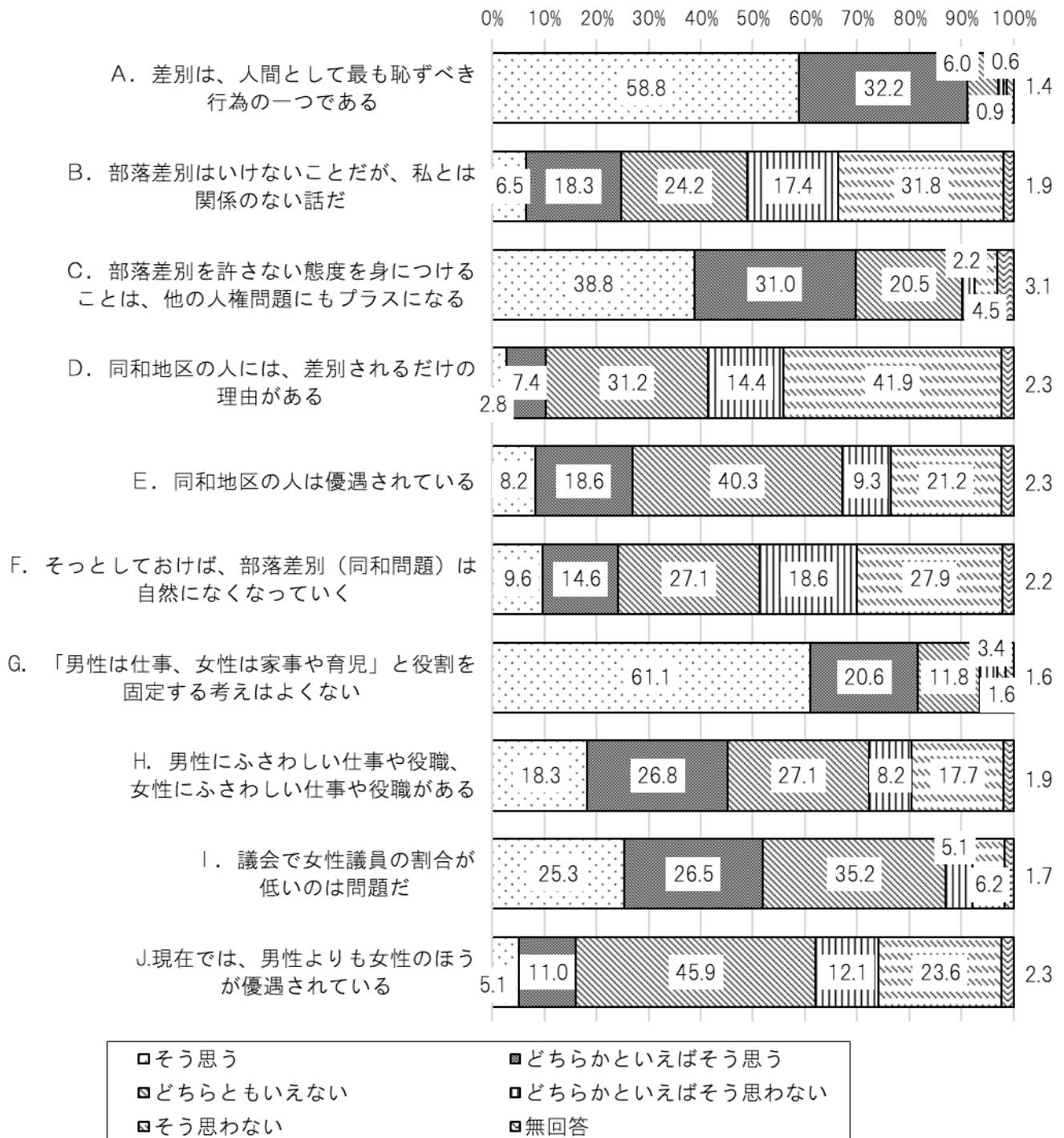
「年齢」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 14.3%、最も割合が低かったのは「30 歳代」で 0.0%と、14.3ポイントの差が見られた。「知らない」で最も割合が高かったのは「30 歳代」で 65.6%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 49.0%と、16.6ポイントの差が見られた。

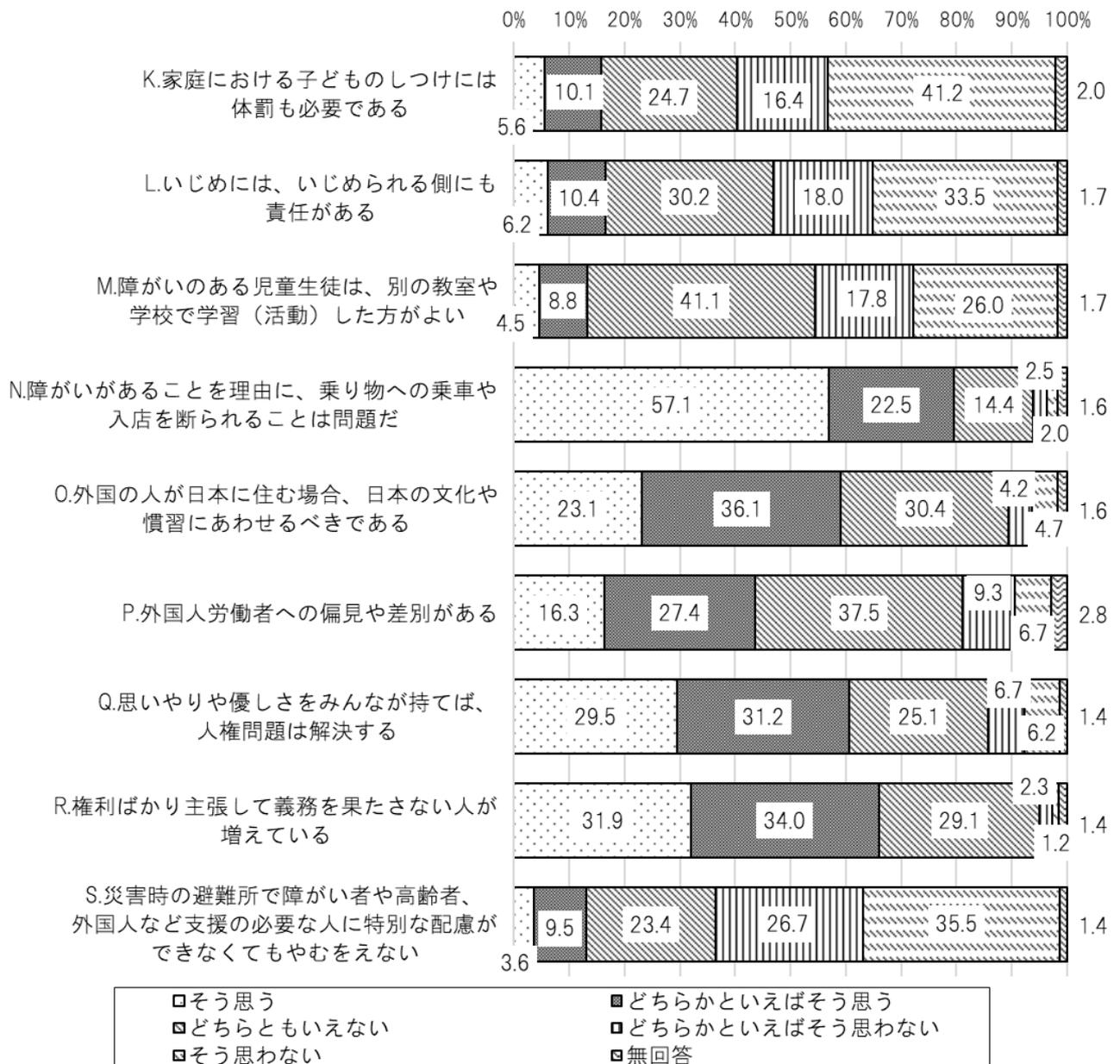
「住まい」では、「内容（趣旨）を知っている」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 15.1%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 4.3%と、10.8ポイントの差が見られた。

「知らない」で最も割合が高かったのは「大王町」で 60.3%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 34.9%と、25.4ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

問2 人権に関する問題をめぐって、いろいろな意見があります。あなたはどのように思いますか。A～Sのそれぞれについて、あてはまる回答の数字に1つだけ○をつけてください。

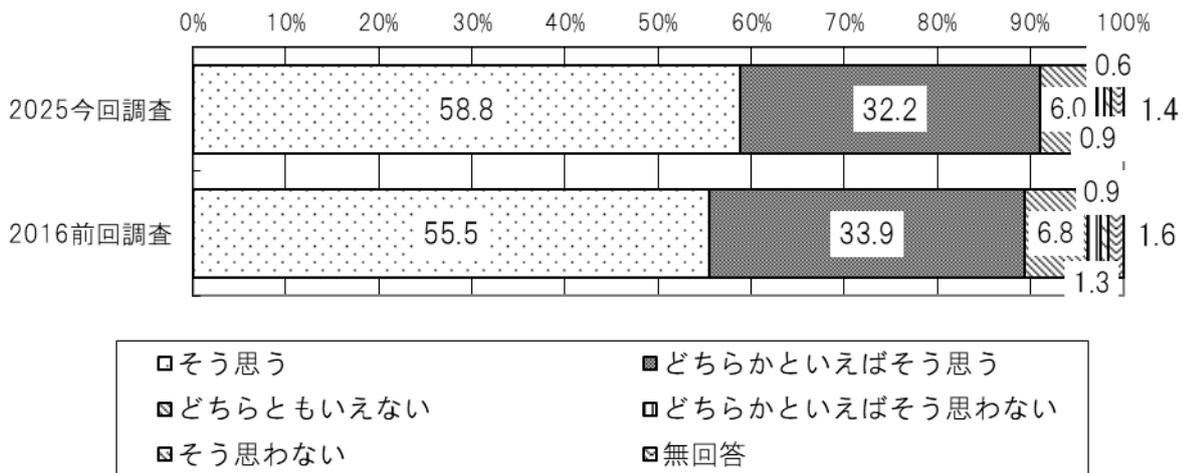




人権に関する問題の意見について、「そう思う」で最も割合が高かったのは「G. 『男性は仕事、女性は家事や育児』と役割を固定する考えはよくない」で61.1%、2番目は「A. 差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである」で53.8%、3番目に高かったのは「N. 障がいがあることを理由に、乗り物への乗車や入店を断られることは問題だ」で57.1%、次いで「C. 部落差別を許さない態度を身につけることは、他の人権問題にもプラスになる」で38.8%となった。

「そう思わない」で最も割合が高かったのは「D. 同和地区の人には、差別されるだけの理由がある」で41.9%、2番目に高かったのは「K. 家庭における子どものしつけには体罰も必要である」で41.2%、3番目は「S. 災害時の避難所で障がい者や高齢者、外国人など支援の必要な人に特別な配慮ができなくてもやむをえない」で35.5%、次いで「L. いじめには、いじめられる側にも責任がある」で33.5%となった。

### A.差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

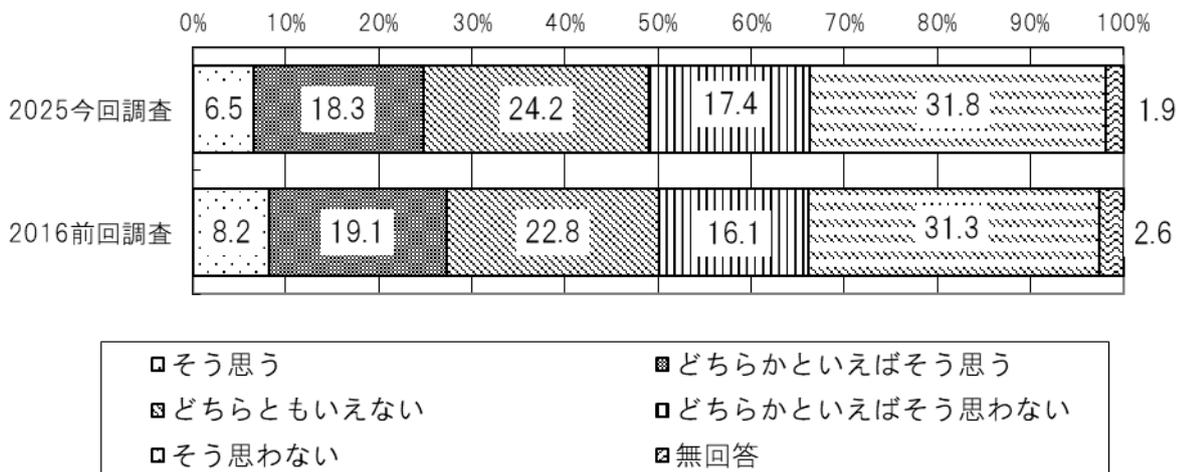
「性別」では、「そう思う」で「男性」が55.5%、「女性」が61.4%と、5.9ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせて、最も割合が高かったのは「60歳代」で93.7%、最も割合が低かったのは「30歳代」で68.8%と、24.9ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせて、最も割合が高かったのは「磯部町」で95.2%、最も割合が低かったのは「阿児町」で88.5%と、6.7ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### B.部落差別はいけないことだが、私とは関係のない話だ



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

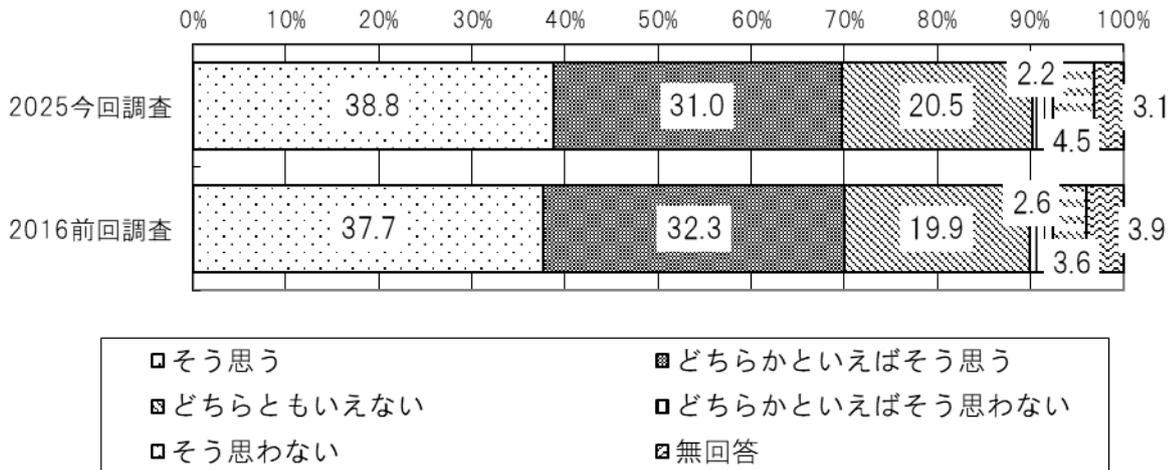
「年齢」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「40歳代」で11.0%、最も割合が低かったのは「30歳代」で0.0%と、11.0ポイントの差が見られた。「そう思わない」では、最も割合が高かったのは「40歳代」で37.0%、最も割合が低かったのは「30歳代」で25.0%と、12.0ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「浜島町」で14.3%、最も割

合が低かったのは「磯部町」で2.8%と、11.5ポイントの差が見られた。「そう思わない」で最も割合が高かったのは「磯部町」で42.5%、最も割合が低かったのは「浜島町」で25.4%と、17.1ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「そう思う」で「志摩市内」が4.8%、「志摩市外」が12.9%と、8.1ポイントの差が見られた。

### C. 部落差別を許さない態度を身につけることは、他の人権問題にもプラスになる



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

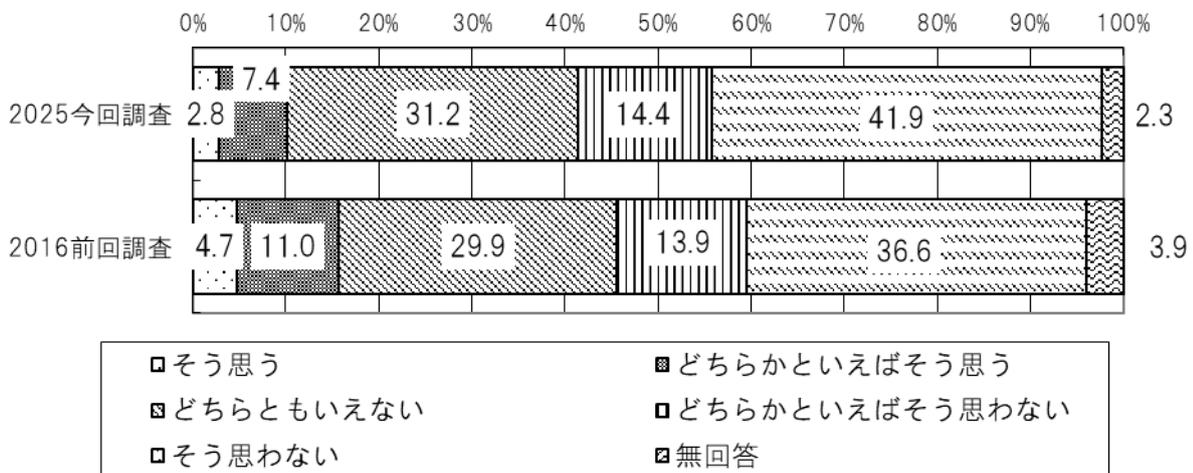
「性別」では、「そう思う」で「男性」が32.9%、「女性」が43.2%と、10.3ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「50歳代」で45.3%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で28.6%と、16.7ポイントの差が見られた。「そう思わない」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で11.4%、最も割合が低かったのは「50歳代」で2.6%と、8.8ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「磯部町」で42.5%、最も割合が低かったのは「浜島町」「大王町」で33.3%と、9.2ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### D. 同和地区の人には、差別されるだけの理由がある



前回調査との比較では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、前回調査よりも5.5ポイント低くなっており、「そう思わない」では前回調査よりも5.3ポイント高くなった。

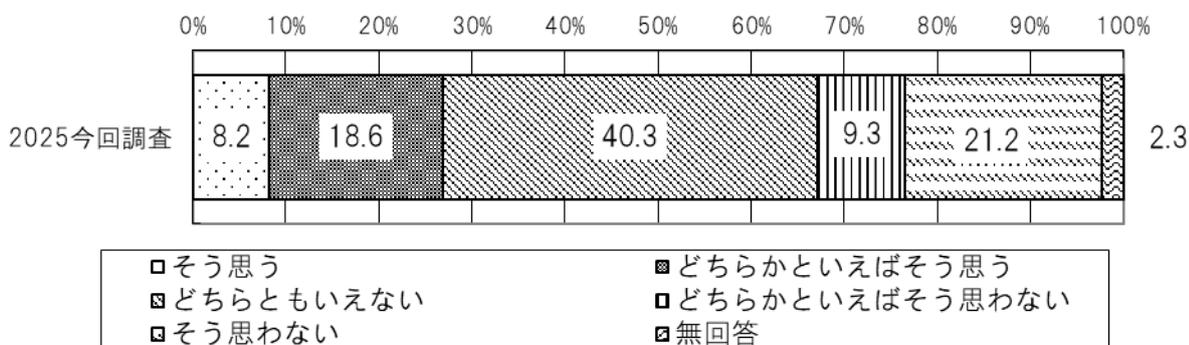
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「30歳代」で9.4%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で0.0%と、9.4ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「40歳代」で35.6%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で20.0%と15.6ポイントの差が見られた。「そう思わない」で最も割合が高かったのは「50歳代」で47.9%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で39.0%と、8.9ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて、最も割合が高かったのは「磯部町」で13.2%、最も割合が低かったのは「浜島町」で0.0%と、13.2ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### E.同和地区の人は優遇されている



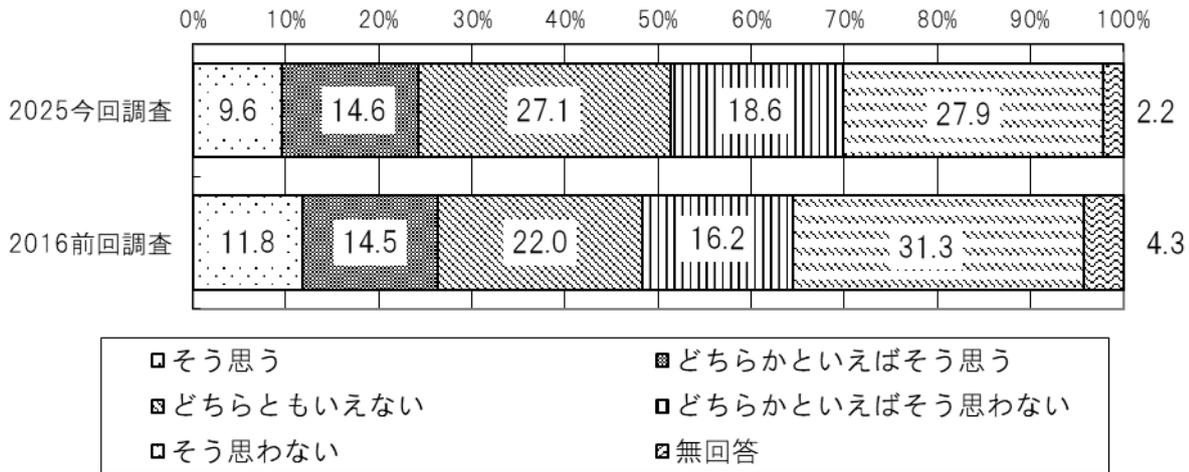
「性別」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせると「男性」が33.6%、「女性」が21.7%と、11.9ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で30.9%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で11.4%と、19.5ポイントの差が見られた。「そう思わない」で最も割合が高かったのは「30歳代」で37.5%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で17.7%と、19.8ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて、最も割合が高かったのは「志摩町」で32.7%、最も割合が低かったのは「浜島町」で19.0%と、13.7ポイントの差が見られた。「そう思わない」で最も割合が高かったのは「磯部町」で25.5%、最も割合が低かったのは「浜島町」で19.0%と、6.5ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせると、「志摩市内」が28.8%、「志摩市外」が20.4%と、8.4ポイントの差が見られた。

## F. そっとしておけば、部落差別（同和問題）は自然になくなっていく



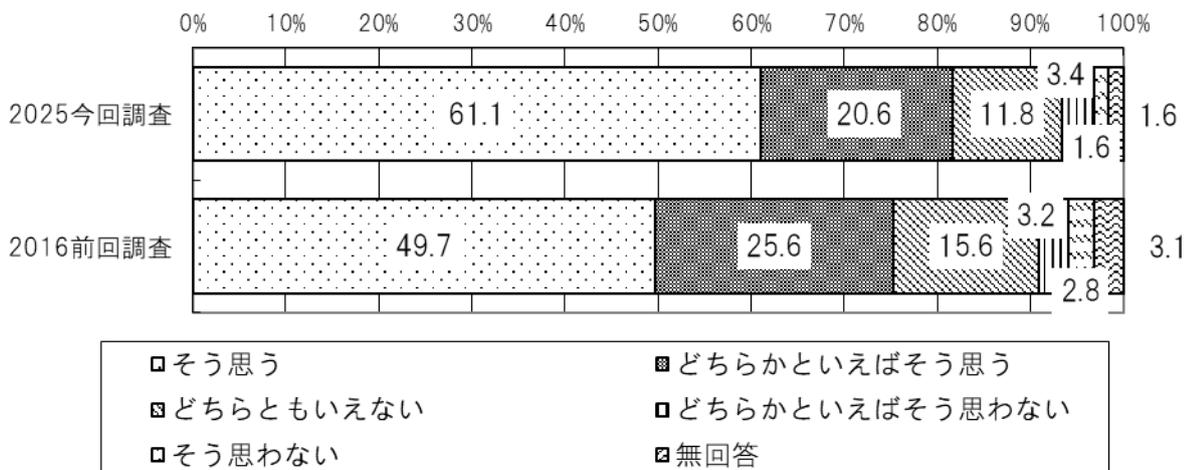
前回調査との比較では、「どちらともいえない」で前回調査よりも5.1ポイント増えた。「性別」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせると、「男性」が29.0%、「女性」が20.4%と、8.6ポイントの差が見られた。「そう思わない」では、「男性」が25.1%、「女性」が30.3%と、5.2ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で31.4%、最も割合が低かったのは「30歳代」で12.5%と、18.9ポイントの差が見られた。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせると最も割合が高かったのは「30歳代」で62.6%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で42.2%と、20.4ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で33.4%、最も割合が低かったのは「阿児町」で21.2%と、12.2ポイントの差が見られた。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせて、最も割合が高かったのは「磯部町」で55.6%、最も割合が低かったのは「大王町」で33.3%と、22.3ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## G. 「男性は仕事、女性は家事や育児」と役割を固定する考えはよくない



前回調査との比較では、「そう思う」が前回調査よりも11.4ポイント増えた。

「性別」では、「そう思う」で「男性」が51.9%、「女性」が68.3%と、16.4ポイント

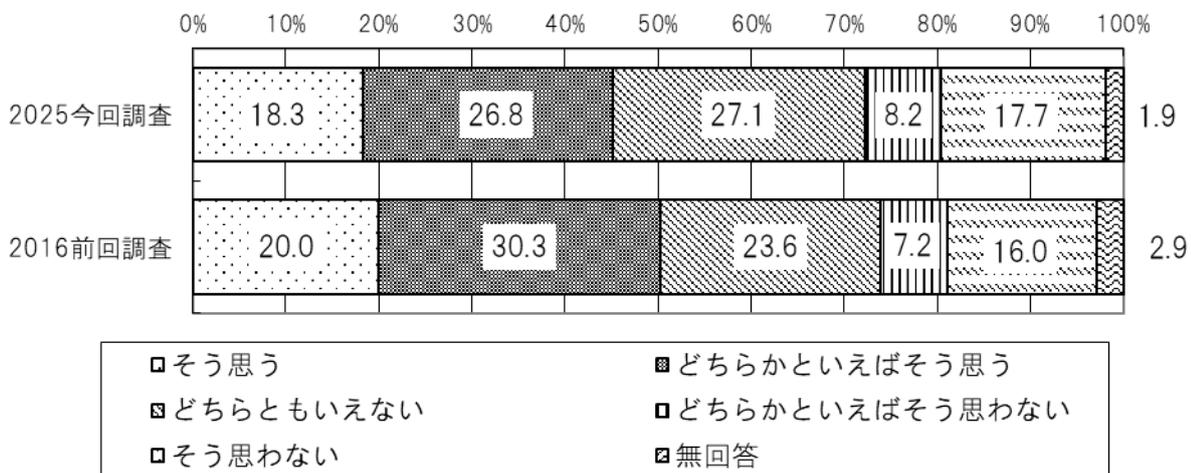
の差が見られた。「どちらともいえない」では、「男性」が17.0%、「女性」が8.1%と、8.9ポイントの差が見られた。

「性別」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「30歳代」で75.0%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で37.1%と、37.9ポイントの差が見られた。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせて、最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で11.4%、最も割合が低かったのは「60歳代」で1.6%と、9.8ポイントの差が見られた。

「住まい」では、最も割合が高かったのは「磯部町」で67.9%、最も割合が低かったのは「大王町」で53.8%と、14.1ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「大王町」で16.7%、最も割合が低かったのは「浜島町」で6.3%と、10.4ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「そう思う」で「志摩市内」が58.6%、「志摩市外」が68.9%と、10.3ポイントの差が見られた。

#### H.男性にふさわしい仕事や役職、女性にふさわしい仕事や役職がある



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

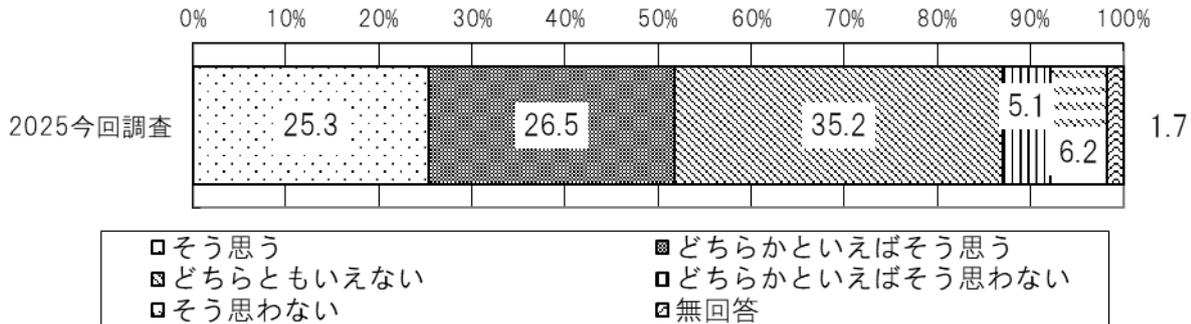
「性別」では「どちらともいえない」で「男性」が30.7%、「女性」が24.8%と、5.9ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で21.7%、最も割合が低かったのは「50歳代」で12.0%と、9.7ポイントの差が見られた。「そう思わない」で最も割合が高かったのは「30歳代」で25.0%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で5.7%と、19.3ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「磯部町」で20.8%、最も割合が低かったのは「大王町」で11.5%と、9.3ポイントの差が見られた。「そう思わない」で最も割合が高かったのは「大王町」で26.9%、最も割合が低かったのは「志摩町」で13.8%と、13.1ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## I. 議会で女性議員の割合が低いのは問題だ



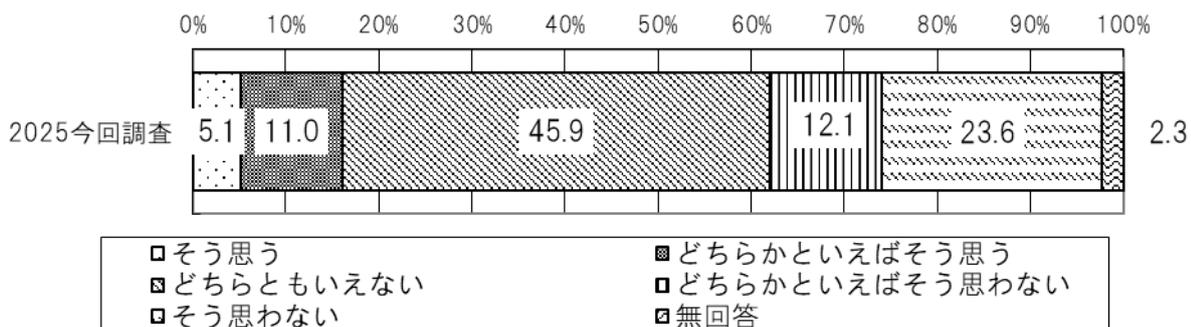
「性別」では、「そう思う」で「男性」が21.2%、「女性」が27.7%と、6.5ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「30歳代」で34.4%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で14.3%と、20.1ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で42.9%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で31.7%と、11.2ポイントの差が見られた。「そう思わない」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で11.4%、最も割合が低かったのは「60歳代」で4.7%と、6.7ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「磯部町」で37.7%、最も割合が低かったのは「浜島町」で31.7%と、6.0ポイントの差が見られた。「そう思わない」で最も割合が高かったのは「大王町」で10.3%、最も割合が低かったのは「志摩町」「阿児町」で5.2%と、5.1ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「そう思う」で「志摩市内」が23.6%、「志摩市外」が28.8%と5.2ポイントの差が見られた。

## J. 現在では、男性よりも女性のほうが優遇されている



「性別」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせると、「男性」が19.4%、「女性」が13.8%と、5.6ポイントの差が見られた。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせると「男性」が28.9%、「女性」が40.3%と11.4ポイントの差が見られた。

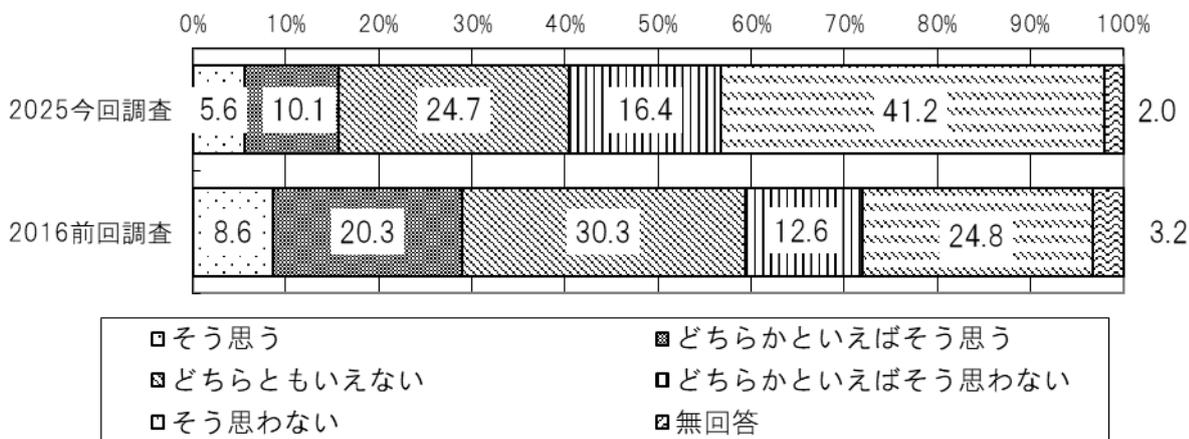
「年齢」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて最も割合が高かったのは「30歳代」で31.3%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で12.4%と、18.9ポイントの差が見られた。「そう思わない」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で27.3%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で5.7%と、21.6ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて最も割合が高か

ったのは「阿児町」で18.6%、最も割合が低かったのは「志摩町」で13.0%と、5.6ポイントの差が見られた。「そう思わない」で最も割合が高かったのは「志摩町」で27.6%、最も割合が低かったのは「浜島町」で15.9%と、11.7ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### K.家庭における子どものしつけには体罰も必要である



前回調査との比較では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせると前回調査よりも13.2ポイント減った。「どちらともいえない」では前回調査よりも5.6ポイント減った。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせると前回調査よりも20.2ポイント増えた。

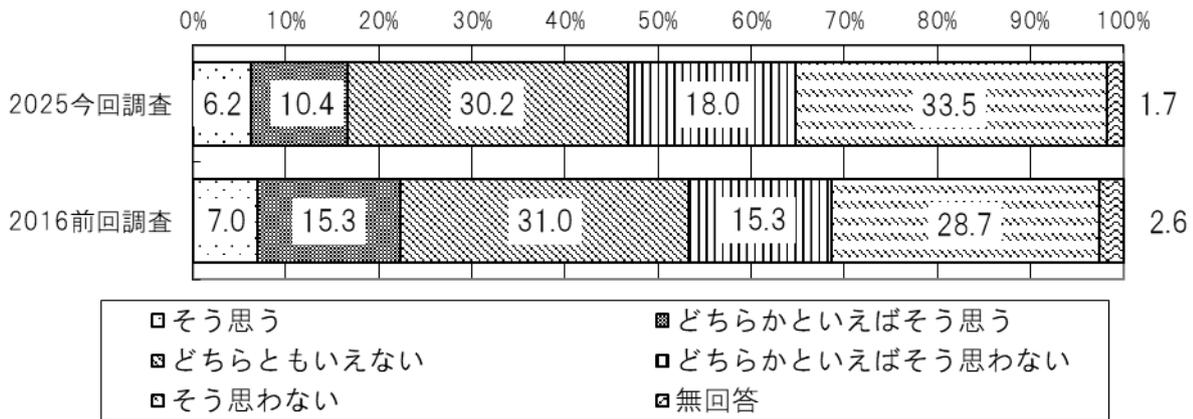
「性別」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせると「男性」が21.2%、「女性」が11.2%と、10.0ポイントの差が見られた。「そう思わない」では「男性」が32.9%、「女性」が48.7%と、15.8ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で8.0%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」と「30歳代」で0.0%と、8.0ポイントの差が見られた。「そう思わない」では、「70歳以上」のみが3割代で、他の年代は4割以上となった。

「住まい」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて最も割合が高かったのは「阿児町」で19.4%、最も割合が低かったのは「大王町」で7.6%と、11.8ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「どちらともいえない」で「志摩市内」が25.6%、「志摩市外」が20.5%と、5.1ポイントの差が見られた。「そう思わない」では「志摩市内」が40.2%、「志摩市外」が46.2%と、6.0ポイントの差が見られた。

### L.いじめには、いじめられる側にも責任がある



前回調査との比較では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせると前回調査よりも 5.7 ポイント減った。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせると前回調査よりも 7.5 ポイント増えた。

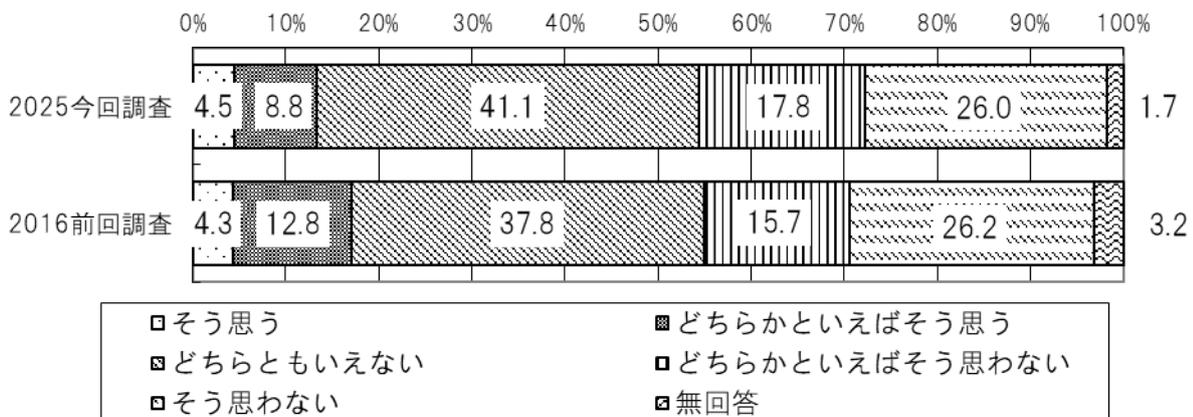
「性別」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせると「男性」が 19.8%、「女性」が 14.1%と、5.7 ポイントの差が見られた。「そう思わない」では「男性」が 28.6%、「女性」が 37.5%と、8.9 ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて、最も割合が高かったのは「70 歳以上」で 21.3%、最も割合が低かったのは「40 歳代」で 9.6%と、11.7 ポイントの差が見られた。「そう思わない」で最も割合が高かったのは「50 歳代」で 38.5%、最も割合が低かったのは「18～29 歳以下」で 28.6%と、9.9 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて最も割合が高かったのは「浜島町」で 20.6%、最も割合が低かったのは「大王町」で 12.8%と、7.8 ポイントの差が見られた。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせて最も割合が高かったのは「阿児町」で 55.0%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 44.9%と、10.1 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせると「志摩市内」が 50.4%、「志摩市外」が 56.1%と、5.7 ポイントの差が見られた。

### M.障がいのある児童生徒は、別の教室や学校で学習（活動）した方がよい



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

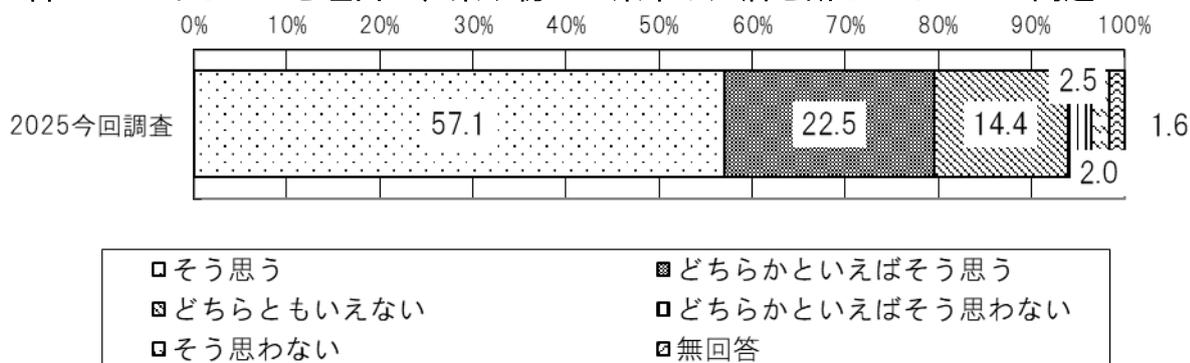
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で25.7%、最も割合が低かったのは「60歳代」で8.6%と、17.1ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で51.4%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で33.3%と、18.1ポイントの差が見られた。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせて最も割合が高かったのは「70歳以上」で51.0%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で22.9%と、28.1ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」をあわせて最も割合が高かったのは「阿児町」で16.8%、最も割合が低かったのは「磯部町」で5.7%と、11.1ポイントの差が見られた。「そう思わない」で最も割合が高かったのは「大王町」で30.8%、最も割合が低かったのは「阿児町」で22.7%と、8.1ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### N.障がいがあることを理由に、乗り物への乗車や入店を断られることは問題だ



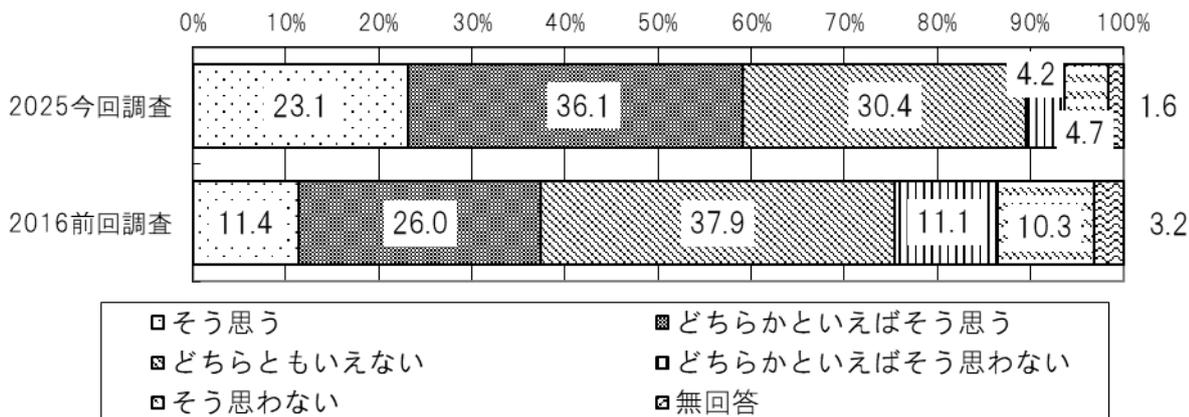
「性別」では、「そう思う」で「男性」が54.4%、「女性」が59.7%と、5.3ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で65.1%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で34.3%と、30.8ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「40歳代」で27.4%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で8.8%と、18.6ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「浜島町」で63.5%、最も割合が低かったのは「阿児町」で53.9%と、9.6ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## O.外国の人が日本に住む場合、日本の文化や慣習にあわせるべきである



前回調査との比較では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせると前回調査よりも21.8ポイント増えた。「どちらともいえない」では前回調査よりも7.5ポイント減った。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせると前回調査よりも12.5ポイント減った。

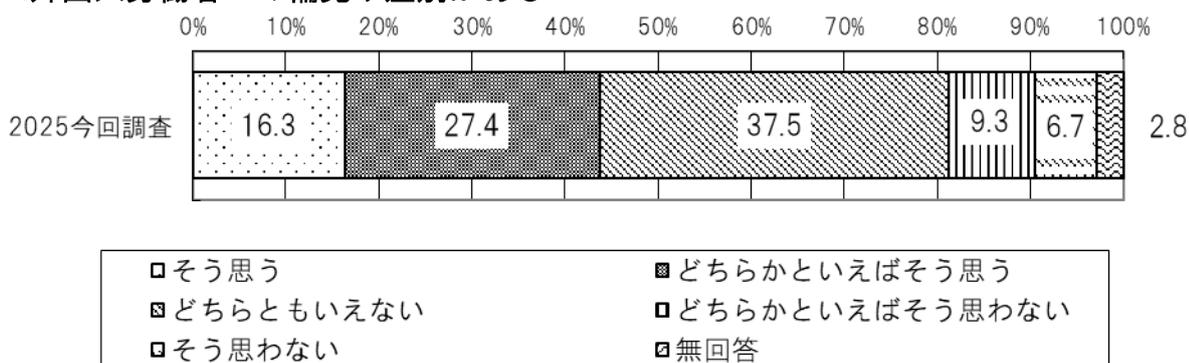
「性別」では、「そう思う」で「男性」が32.2%、「女性」が15.6%と、16.6ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」では、「男性」が24.0%、「女性」が36.0%と、12.0ポイントの差が見られた。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせると、「男性」が5.3%、「女性」が11.5%と、6.2ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「40歳代」で31.5%、最も割合が低かったのは「60歳代」で20.5%と、11.0ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「60歳代」で37.0%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で22.9%と、14.1ポイントの差が見られた。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせて、最も割合が高かったのは「30歳代」で15.7%、最も割合が低かったのは「40歳代」で1.4%と、14.3ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「大王町」で25.6%、最も割合が低かったのは「磯部町」で16.0%と、9.6ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「磯部町」で35.8%、最も割合が低かったのは「浜島町」で22.2%と、13.6ポイントの差が見られた。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせて、最も割合が高かったのは「大王町」で14.1%、最も割合が低かったのは「志摩町」で6.0%と、8.1ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## P.外国人労働者への偏見や差別がある



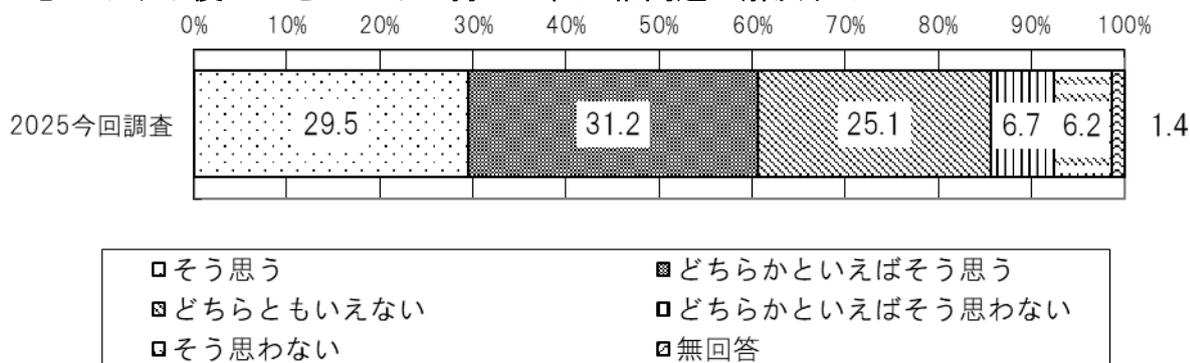
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「30歳代」で21.9%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で8.6%と、13.3ポイントの差が見られた。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせて、最も割合が高かったのは「50歳代」で19.6%、最も割合が低かったのは「30歳代」で9.4%と、10.2ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて、最も割合が高かったのは「阿児町」で48.0%、最も割合が低かったのは「大王町」で35.9%と、12.1ポイントの差が見られた。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせて、最も割合が高かったのは「大王町」で25.6%、最も割合が低かったのは「志摩町」で13.7%と、11.9ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせると、「志摩市内」が17.6%、「志摩市外」が9.8%と、7.8ポイントの差が見られた。

### Q.思いやりや優しさをみんなが持てば、人権問題は解決する



「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

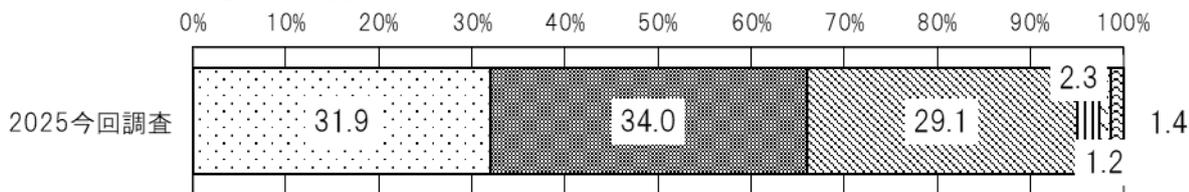
「年齢」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で41.0%、最も割合が低かったのは「30歳代」で6.3%と、34.7ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「50歳代」で31.6%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で20.5%と、11.1ポイントの差が見られた。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で28.6%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で9.6%と、19.0ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて、最も割合が高かったのは「志摩町」で64.6%、最も割合が低かったのは「浜島町」で55.6%と、9.0ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「浜島町」で31.7%、最も割合が低かったのは「磯部町」で17.9%と、13.8ポイントの差が見られた。

「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせて、最も割合が高かったのは「磯部町」で17.9%、最も割合が低かったのは「浜島町」で9.5%と、8.4ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせると、「志摩市内」が62.2%、「志摩市外」が53.1%と、9.1ポイントの差が見られた。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせると、「志摩市内」で11.6%、「志摩市外」で18.9%と、7.3ポイントの差が見られた。

## R.権利ばかり主張して義務を果たさない人が増えている



- |             |                  |
|-------------|------------------|
| □ そう思う      | ■ どちらかといえばそう思う   |
| ■ どちらともいえない | □ どちらかといえばそう思わない |
| □ そう思わない    | ■ 無回答            |

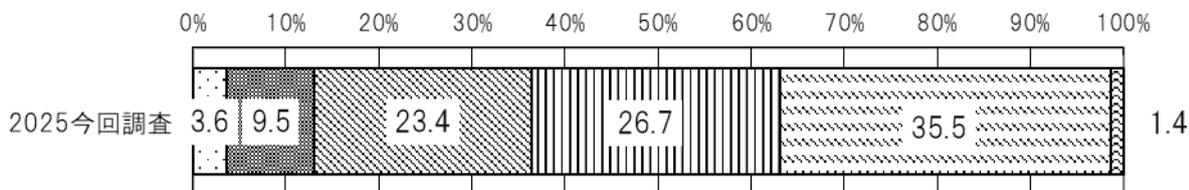
「性別」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせると、「男性」が70.3%、「女性」が63.1%と、7.2ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」では、「男性」が25.4%、「女性」が32.6%と、7.2ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「そう思う」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で40.0%、最も割合が低かったのは「60歳代」で28.3%と、11.7ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「30歳代」で37.5%、最も割合が低かったのは「50歳代」で23.9%と、13.6ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で76.2%、最も割合が低かったのは「磯部町」で59.5%と、16.7ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## S.災害時の避難所で障がい者や高齢者、外国人など支援の必要な人に特別な配慮ができなくてもやむをえない



- |             |                  |
|-------------|------------------|
| □ そう思う      | ■ どちらかといえばそう思う   |
| ■ どちらともいえない | □ どちらかといえばそう思わない |
| □ そう思わない    | ■ 無回答            |

「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

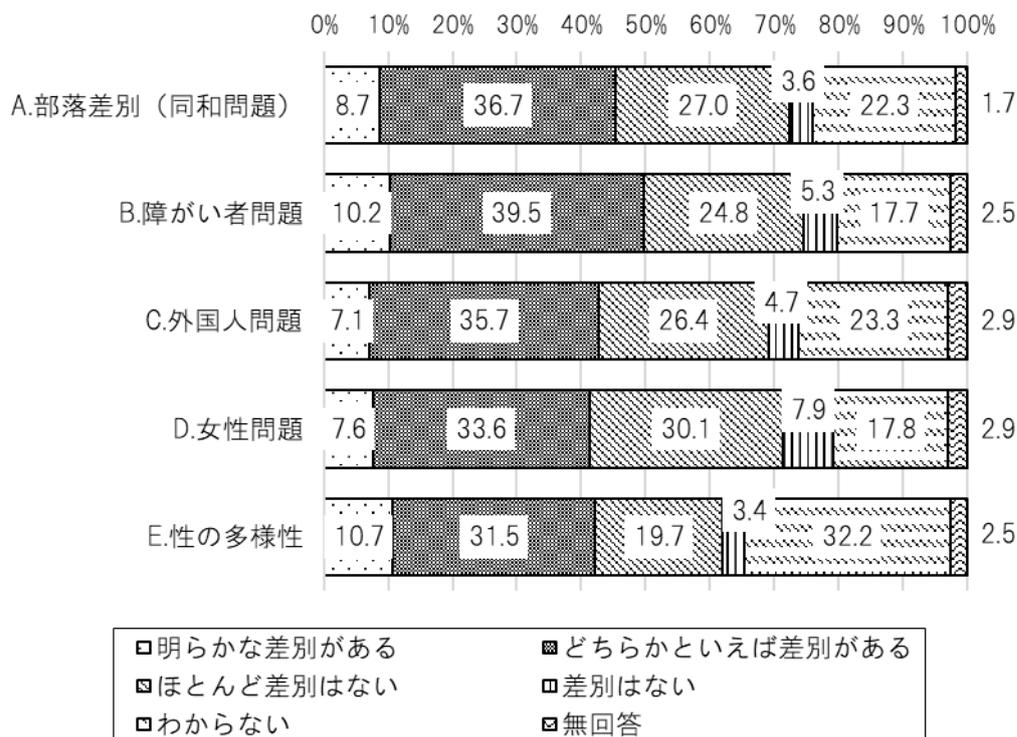
「年齢」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて、最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で28.6%、最も割合が低かったのは「50歳代」で6.0%と、22.6ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「40歳代」で30.1%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で18.9%と、11.2ポイントの差が見られた。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせて、最も割合が高かったのは「50歳代」で68.4%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で45.7%と、22.7ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせて、最も割合が高かったのは「大王町」で19.2%、最も割合が低かったのは「阿児町」で10.8%と、8.4ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「浜島町」で

36.5%、最も割合が低かったのは「大王町」で15.4%と、21.1ポイントの差が見られた。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせて、最も割合が高かったのは「大王町」で65.3%、最も割合が低かったのは「浜島町」で50.8%と、14.5ポイントの差が見られた。

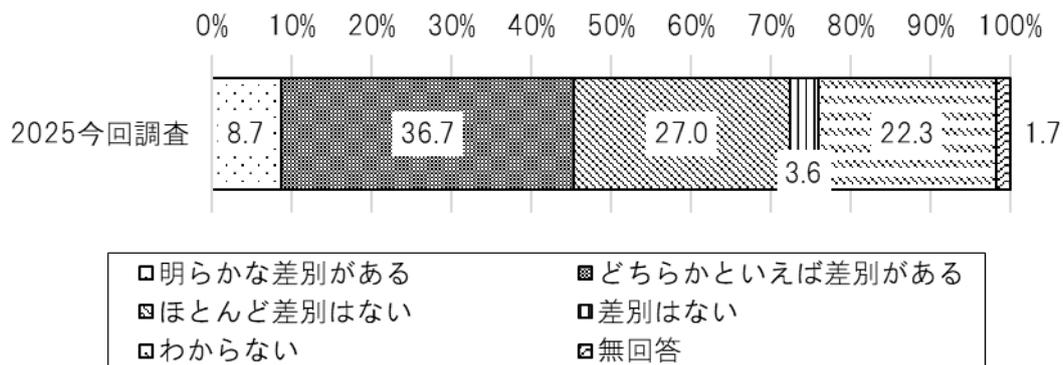
「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

**問3** あなたは、現在、次のことについて差別があると思いますか。A～Eのそれぞれについて、あてはまる回答の数字に1つだけ○をつけてください。志摩市を念頭にお答えください。



差別の現状認識について、「明らかな差別がある」「どちらかといえば差別がある」を合わせて最も割合が高かったのは「B. 障がい者問題」で49.7%、2番目に高かったのは「A. 部落差別 (同和問題)」で45.4%、3番目は「C. 外国人問題」で42.8%となった。「ほとんど差別はない」で最も割合が高かったのは「D. 女性問題」で30.1%、「差別はない」で最も割合が高かったのも「D. 女性問題」で7.9%となった。

## A. 部落差別（同和問題）



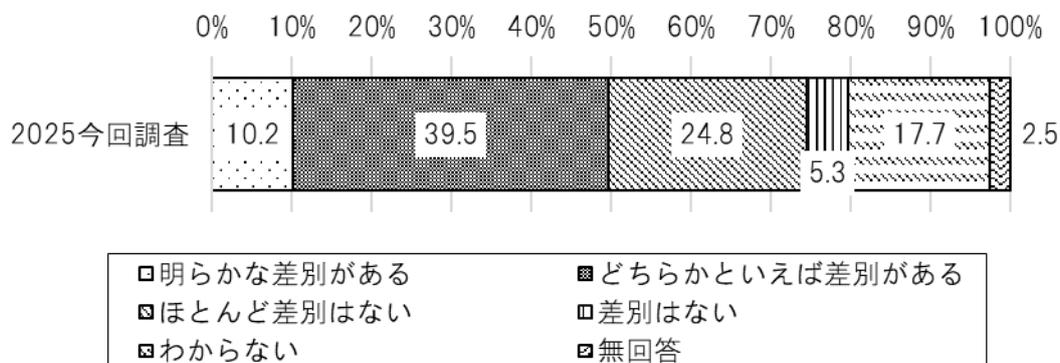
「性別」では、「ほとんど差別はない」で「男性」が32.5%、「女性」が21.6%と、10.9ポイントの差が見られた。「わからない」では、「男性」が14.8%、「女性」が28.8%と、14.0ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「明らかな差別がある」「どちらかといえば差別がある」をあわせて、最も割合が高かったのは「30歳代」で65.7%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で38.9%と、26.8ポイントの差が見られた。「差別はない」「ほとんど差別はない」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で36.1%、最も割合が低かったのは「30歳代」で18.8%と、17.3ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「60歳代」で29.1%、最も割合が低かったのは「30歳代」で12.5%と、16.6ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「明らかな差別がある」「どちらかといえば差別がある」をあわせて、最も割合が高かったのは「磯部町」で51.0%、最も割合が低かったのは「大王町」で35.9%と、15.1ポイントの差が見られた。「差別はない」「ほとんど差別はない」をあわせて、最も割合が高かったのは「磯部町」で34.0%、最も割合が低かったのは「浜島町」で25.3%と、8.7ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「大王町」で30.8%、最も割合が低かったのは「磯部町」で14.2%と、16.6ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「明らかな差別がある」「どちらかといえば差別がある」をあわせると、「志摩市内」が48.8%、「志摩市外」が34.1%と、14.7ポイントの差が見られた。「わからない」では、「志摩市内」が19.2%、「志摩市外」が34.8%と、15.6ポイントの差が見られた。

## B. 障がい者問題



「性別」では、「明らかな差別がある」「どちらかといえば差別がある」をあわせると「男

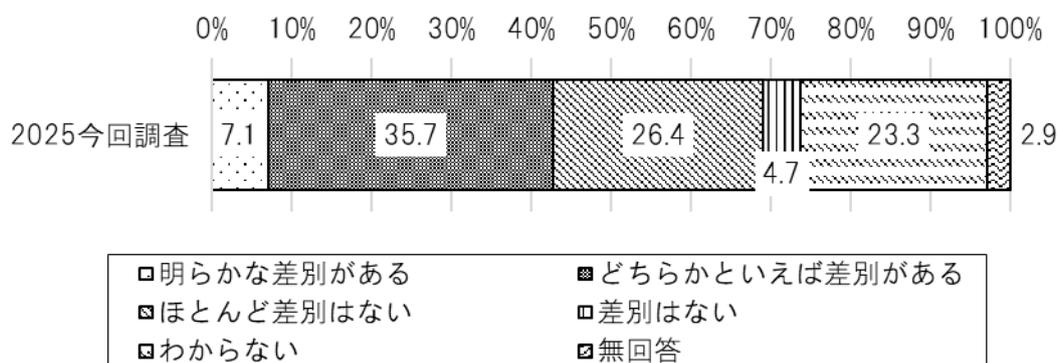
性」が 47.0%、「女性」が 53.6%と、6.6 ポイントの差が見られた。「差別はない」「ほとんど差別はない」をあわせると、「男性」が 37.5%、「女性」が 23.0%と、14.5 ポイントの差が見られた。「わからない」では、「男性」が 13.8%、「女性」が 21.3%と、7.5 ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「明らかな差別がある」「どちらかといえば差別がある」をあわせて、最も割合が高かったのは「30 歳代」で 68.8%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 40.5%と、28.3 ポイントの差が見られた。「差別はない」「ほとんど差別はない」をあわせて、最も割合が高かったのは「70 歳以上」で 37.3%、最も割合が低かったのは「30 歳代」で 21.9%と、15.4 ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「60 歳代」で 22.0%、最も割合が低かったのは「30 歳代」で 6.3%と、15.7 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「明らかな差別がある」「どちらかといえば差別がある」をあわせて、最も割合が高かったのは「阿児町」で 53.5%、最も割合が低かったのは「浜島町」で 35.0%と、18.5 ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「大王町」で 24.4%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 15.1%と、9.3 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### C.外国人問題



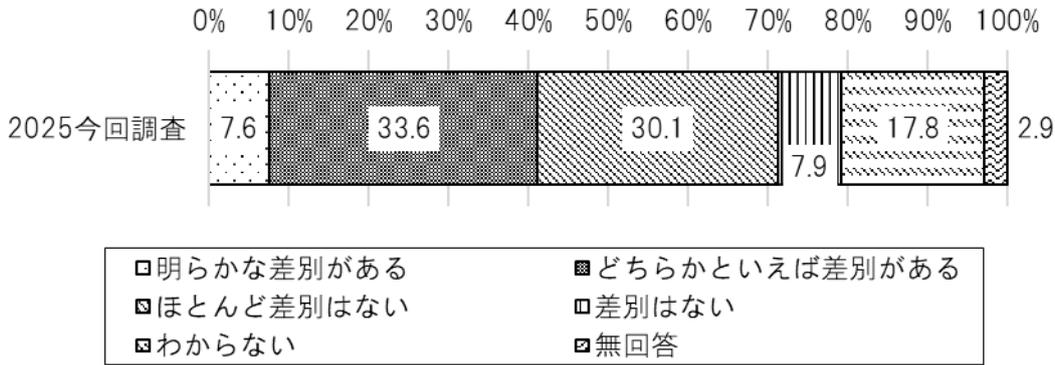
「性別」では、「どちらかといえば差別がある」で「男性」が 32.5%、「女性」が 38.9%と、6.4 ポイントの差が見られた。「差別はない」「ほとんど差別はない」をあわせると「男性」が 39.6%、「女性」が 24.5%と、15.1 ポイントの差が見られた。「わからない」では、「男性」が 17.7%、「女性」が 27.7%と、10.0 ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「明らかな差別がある」「どちらかといえば差別がある」をあわせて、最も割合が高かったのは「30 歳代」で 59.4%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 36.9%と、22.5 ポイントの差が見られた。「差別はない」「ほとんど差別はない」をあわせて、最も割合が高かったのは「50 歳代」で 36.7%、最も割合が低かったのは「30 歳代」で 12.5%と、24.2 ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「60 歳代」で 26.0%、最も割合が低かったのは「50 歳代」で 17.1%と、8.9 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「明らかな差別がある」「どちらかといえば差別がある」をあわせて、最も割合が高かったのは「阿児町」で 47.9%、最も割合が低かったのは「大王町」で 30.7%と、17.2 ポイントの差が見られた。「差別はない」「ほとんど差別はない」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で 41.2%、最も割合が低かったのは「阿児町」で 25.7%と、15.5 ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「大王町」で 28.2%、最も割合が低かったのは「浜島町」で 20.6%と、7.6 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## D.女性問題



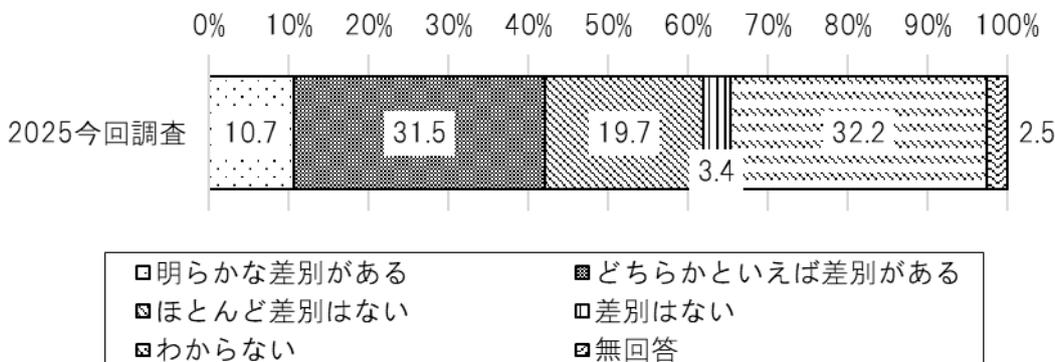
「性別」では、「明らかな差別がある」「どちらかといえば差別がある」をあわせると、「男性」が31.8%、「女性」が50.1%と、18.3ポイントの差が見られた。「差別はない」「ほとんど差別はない」をあわせると「男性」が52.3%、「女性」が26.2%と、26.1ポイントの差が見られた。「わからない」では、「男性」が13.8%、「女性」が21.3%と、7.5ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「明らかな差別がある」「どちらかといえば差別がある」をあわせて、最も割合が高かったのは「30歳代」で59.4%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で32.1%と、27.3ポイントの差が見られた。「差別はない」「ほとんど差別はない」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で46.9%、最も割合が低かったのは「30歳代」で18.8%と、28.1ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「60歳代」で22.0%、最も割合が低かったのは「30歳代」で15.6%と、6.4ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「明らかな差別がある」「どちらかといえば差別がある」をあわせて、最も割合が高かったのは「磯部町」で45.2%、最も割合が低かったのは「大王町」で33.3%と、11.9ポイントの差が見られた。「差別はない」「ほとんど差別はない」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で46.0%、最も割合が低かったのは「阿児町」で34.6%と、11.4ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「大王町」で19.2%、最も割合が低かったのは「磯部町」で14.2%と、5.0ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## E.性の多様性



「性別」では、「明らかな差別がある」「どちらかといえば差別がある」をあわせると、「男性」が39.6%、「女性」が45.6%と、6.0ポイントの差が見られた。「差別はない」「ほとんど差別はない」をあわせると「男性」が29.7%、「女性」が17.3%と、12.4ポイント

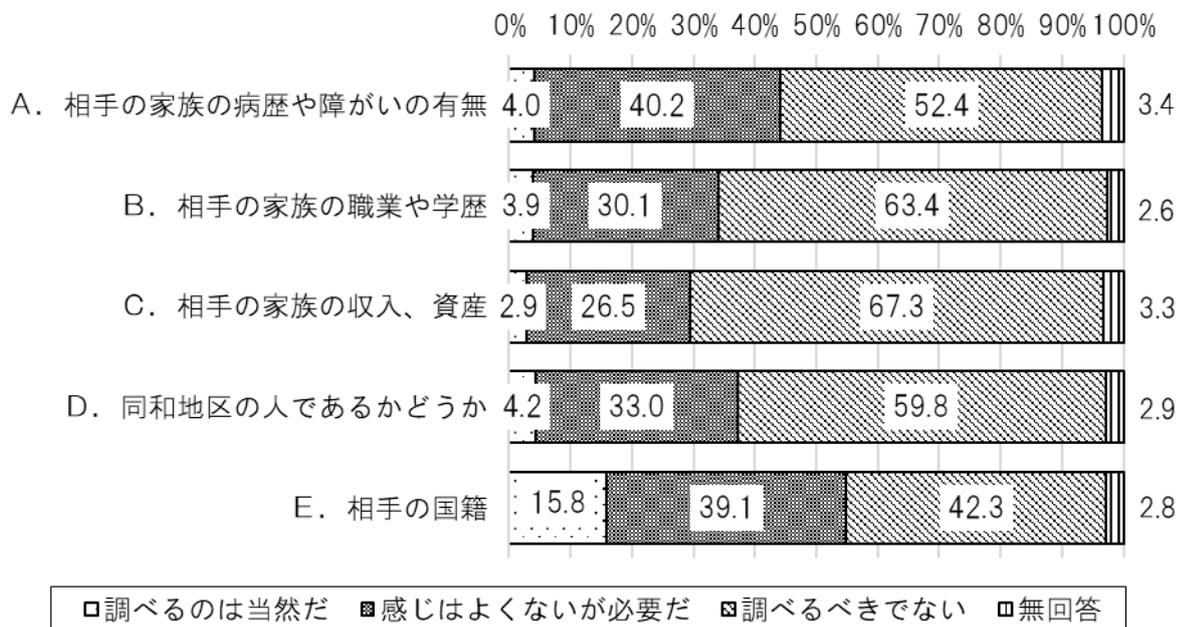
の差が見られた。「わからない」では、「男性」が 28.6%、「女性」が 35.4%と、6.8 ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「明らかな差別がある」「どちらかといえば差別がある」をあわせて、最も割合が高かったのは「30 歳代」で 59.4%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 31.3%と、28.1 ポイントの差が見られた。「差別はない」「ほとんど差別はない」をあわせて、最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 28.6%、最も割合が低かったのは「30 歳代」で 12.5%と、16.1 ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「70 歳以上」で 39.0%、最も割合が低かったのは「18～29 歳以下」で 14.3%と、24.7 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「明らかな差別がある」「どちらかといえば差別がある」をあわせて、最も割合が高かったのは「志摩町」で 46.5%、最も割合が低かったのは「大王町」で 33.4%と、13.1 ポイントの差が見られた。「差別はない」「ほとんど差別はない」をあわせて、最も割合が高かったのは「大王町」で 29.5%、最も割合が低かったのは「阿児町」で 19.7%と、9.8 ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「大王町」で 35.9%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 26.7%と、9.2 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

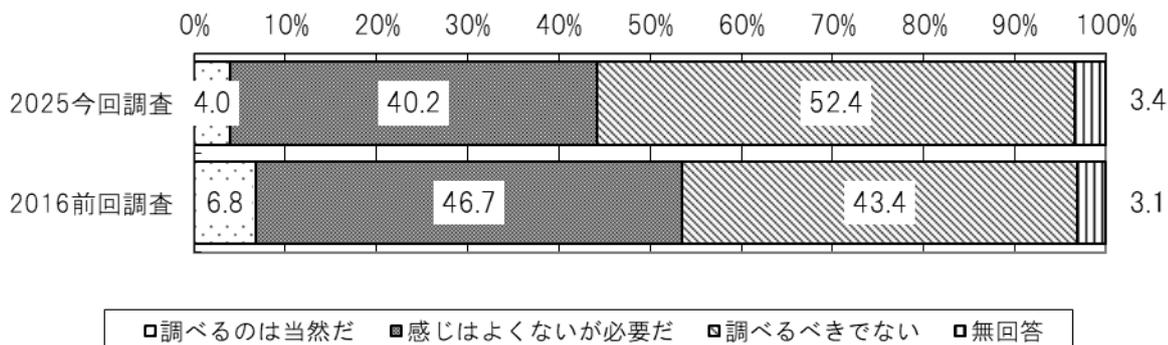
**問4 あなたの身内の方に結婚（縁談）の話があったときに、あなたの家族が相手に気づかれないように次のようなことを調べようとしたとすると、あなたはどのように感じますか。A～Eのそれぞれについて、あてはまる回答の数字に1つだけ○をつけてください。**



身内の結婚（縁談）の際、家族が相手の身元調査をすることについて、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせて、最も割合が高かったのは「E. 相手の国籍」で 54.9%、2 番目に高かったのは「A. 相手の家族の病歴や障がいの有無」で 44.2%、3 番目は「D. 同和地区の人であるかどうか」で 37.2%となった。

「調べるべきでない」で最も割合が高かったのは「C. 相手の家族の収入、資産」で 67.3%、2 番目に高かったのは「B. 相手の家族の職業や学歴」で 63.4%、3 番目は「D. 同和地区の人であるかどうか」で 59.8%となった。

## A.相手の家族の病歴や障がいの有無



前回調査との比較では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせると、前回よりも9.3ポイント減った。「調べるべきでない」では、前回よりも9.0ポイント増えた。

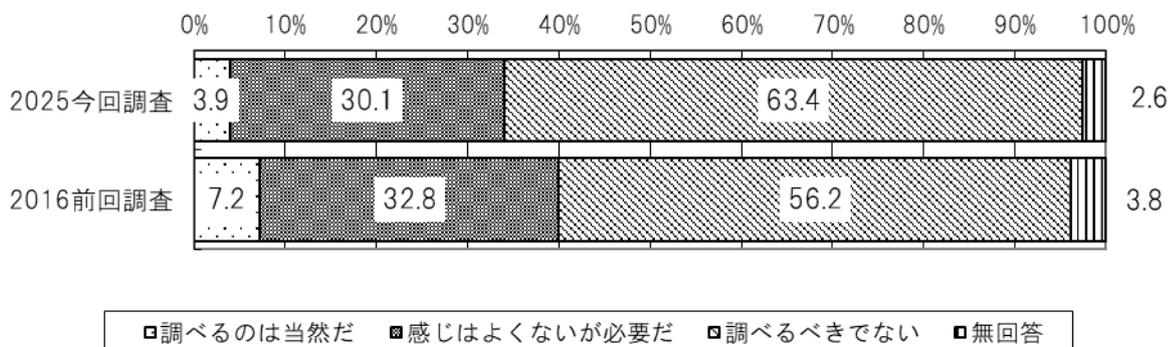
「性別」では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせると、「男性」が49.4%、「女性」が39.8%と、9.6ポイントの差が見られた。「調べるべきでない」では、「男性」が48.4%、「女性」が56.5%と、8.1ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせて、最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で60.0%、最も割合が低かったのは「30歳代」で31.2%と、28.8ポイントの差が見られた。「調べるべきでない」で、最も割合が高かったのは「40歳代」で67.1%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で40.0%と、27.1ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で61.9%、最も割合が低かったのは「大王町」で39.8%と、22.1ポイントの差が見られた。「調べるべきでない」で、最も割合が高かったのは「大王町」で60.3%、最も割合が低かったのは「浜島町」で36.5%と、23.8ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせると、「志摩市内」が42.2%、「志摩市外」が51.5%と、9.3ポイントの差が見られた。「調べるべきでない」では、「志摩市内」が55.4%、「志摩市外」が43.2%と、12.2ポイントの差が見られた。

## B.相手の家族の職業や学歴



前回調査との比較では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせると6.0ポイント減った。

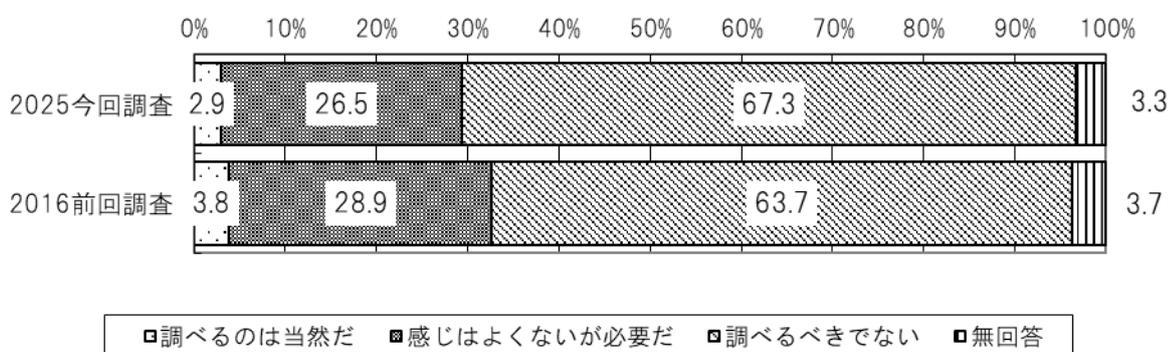
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせて、最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で40.0%、最も割合が低かったのは「40歳代」で26.1%と、13.9ポイントの差が見られた。「調べるべきでない」で、最も割合が高かったのは「40歳代」で74.0%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で60.0%と、14.0ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で39.7%、最も割合が低かったのは「志摩町」で25.9%と、13.8ポイントの差が見られた。「調べるべきでない」で、最も割合が高かったのは「志摩町」で70.7%、最も割合が低かったのは「浜島町」で58.7%と、12.0ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせると、「志摩市内」が31.4%、「志摩市外」が43.2%と、11.8ポイントの差が見られた。「調べるべきでない」では、「志摩市内」が66.6%、「志摩市外」が53.0%と、13.6ポイントの差が見られた。

### C.相手の家族の収入、資産



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

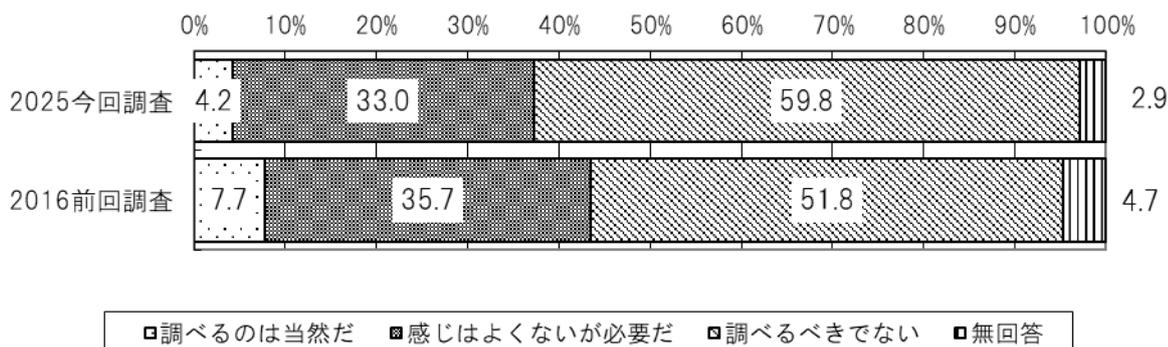
「性別」では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせると、「男性」が32.8%、「女性」が26.5%と、6.3ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせて、最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で40.0%、最も割合が低かったのは「60歳代」で22.9%と、17.1ポイントの差が見られた。「調べるべきでない」で、最も割合が高かったのは「60歳代」で72.4%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で60.0%と、12.4ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で38.1%、最も割合が低かったのは「大王町」で25.6%と、12.5ポイントの差が見られた。「調べるべきでない」で、最も割合が高かったのは「大王町」で74.4%、最も割合が低かったのは「浜島町」で60.3%と、14.1ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせると、「志摩市内」が27.8%、「志摩市外」が35.6%と、7.8ポイントの差が見られた。「調べるべきでない」では、「志摩市内」が70.0%、「志摩市外」が59.1%と、10.9ポイントの差が見られた。

## D.同和地区の人であるかどうか



前回調査との比較では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせると、前回よりも6.2ポイント減った。「調べるべきでない」では、前回よりも8.0ポイント増えた。

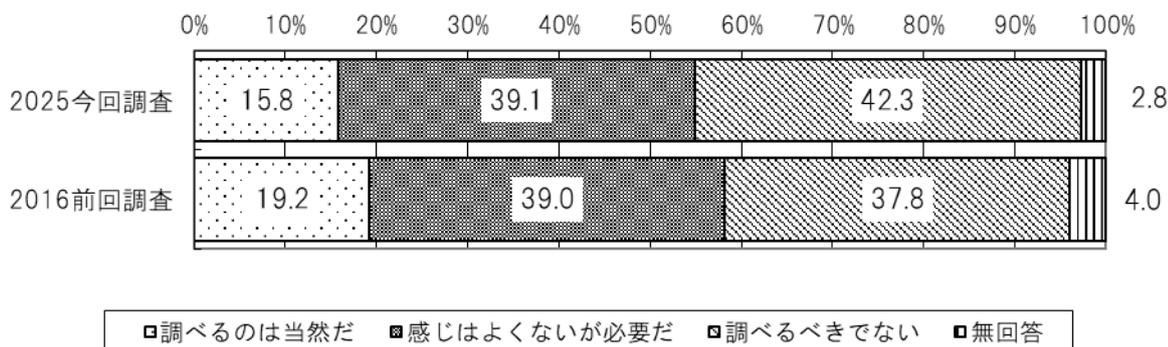
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で42.1%、最も割合が低かったのは「40歳代」で23.2%と、18.9ポイントの差が見られた。「調べるべきでない」で、最も割合が高かったのは「40歳代」で76.7%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で54.2%と、22.5ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で50.8%、最も割合が低かったのは「志摩町」で30.1%と、20.7ポイントの差が見られた。「調べるべきでない」で、最も割合が高かったのは「志摩町」で66.4%、最も割合が低かったのは「浜島町」で49.2%と、17.2ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「感じはよくないが必要だ」で、「志摩市内」が31.6%、「志摩市外」が37.9%と、6.3ポイントの差が見られた。「調べるべきでない」では、「志摩市内」が61.8%、「志摩市外」が53.8%と、8.0ポイントの差が見られた。

## E.相手の国籍



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

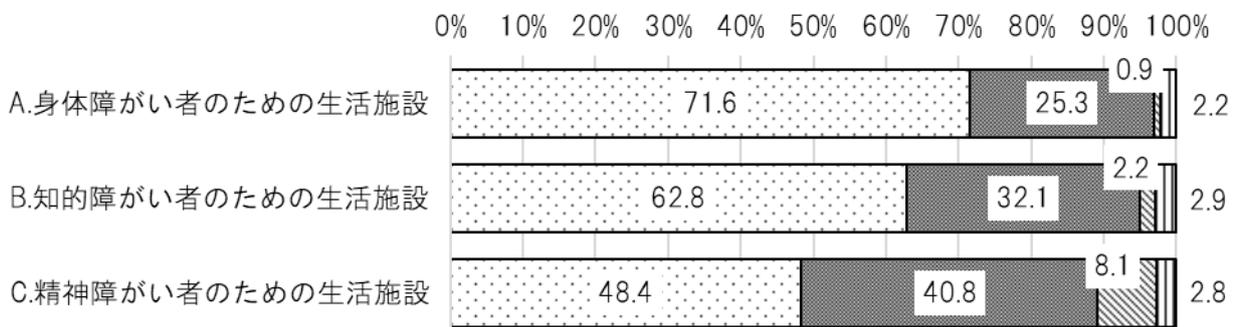
「年齢」では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で61.1%、最も割合が低かったのは「60歳代」で49.6%と、11.5ポイントの差が見られた。「調べるべきでない」で、最も割合が高かったのは「40歳代」で49.3%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で36.1%と、13.2ポイントの差が見られた。

見られた。

「住まい」では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」をあわせて、最も割合が高かったのは「阿児町」で 57.3%、最も割合が低かったのは「大王町」で 50.0%と、7.3 ポイントの差が見られた。「調べるべきでない」で、最も割合が高かったのは「大王町」で 50.0%、最も割合が低かったのは「阿児町」で 40.1%と、9.9 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「調べるのは当然だ」「感じはよくないが必要だ」で、「志摩市内」が 52.6%、「志摩市外」が 63.6%と、11.0 ポイントの差が見られた。「調べるべきでない」では、「志摩市内」が 45.6%、「志摩市外」が 31.8%と、13.8 ポイントの差が見られた。

**問5 ある市が、住宅地域の中心に、次のような生活施設の建設を計画したところ、地元の住民から反対運動が起こりました。こうした住民の態度について、あなたはどのように思いますか。A～Cのそれぞれについて、あてはまる回答の数字に1つだけ○をつけてください。**

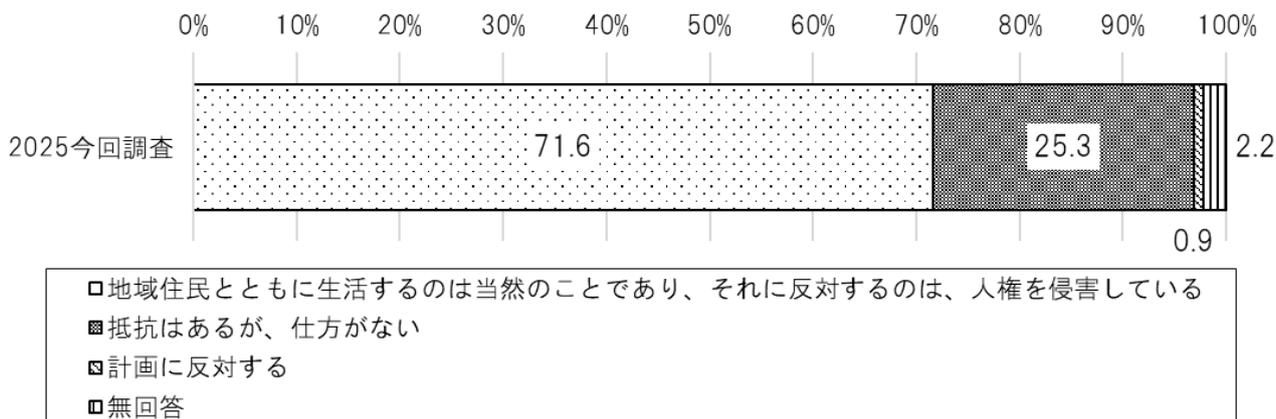


- 地域住民とともに生活するのは当然のことであり、それに反対するのは、人権を侵害している
- 抵抗はあるが、仕方がない
- 計画に反対する
- 無回答

住宅地の中心に障がい者の生活施設が建設される計画に対する住民の反対について、「地域住民とともに生活するのは当然のことであり、それに反対するのは、人権を侵害している」で最も割合が高かったのは「A. 身体障がい者のための生活施設」で 71.6%、2 番目に高かったのは「B. 知的障がい者のための生活施設」で 62.8%、3 番目は「C. 精神障がい者のための生活施設」で 48.4%となった。

「計画に反対する」では、「C. 精神障がい者のための生活施設」が最も高く 8.1%となった。

## A.身体障がい者のための生活施設



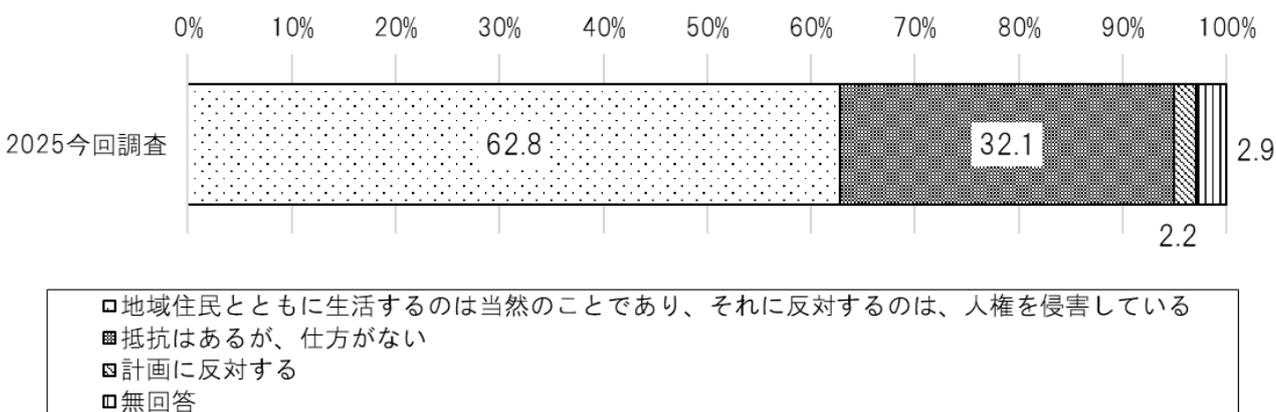
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「地域住民とともに生活するのは当然のことであり、それに反対するのは、人権を侵害している」で、最も割合が高かったのは「50 歳代」で 77.8%、最も割合が低かったのは「18～29 歳以下」で 60.0%と、17.8 ポイントの差が見られた。「抵抗はあるが、仕方がない」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 31.4%、最も割合が低かったのは「30 歳代」で 18.8%と、12.6 ポイントの差が見られた。「計画に反対する」で、最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 5.7%、最も割合が低かったのは「40 歳代」「60 歳代」で 0.0%と、5.7 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、ほとんど差は見られなかった。

「学生期」では、「地域住民とともに生活するのは当然のことであり、それに反対するのは、人権を侵害している」では、「志摩市内」が 73.4%、「志摩市外」が 66.7%と、6.7 ポイントの差が見られた。「抵抗はあるが、仕方がない」では、「志摩市内」が 24.2%、「志摩市外」が 30.3%と、6.1 ポイントの差が見られた。

## B.知的障がい者のための生活施設



「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

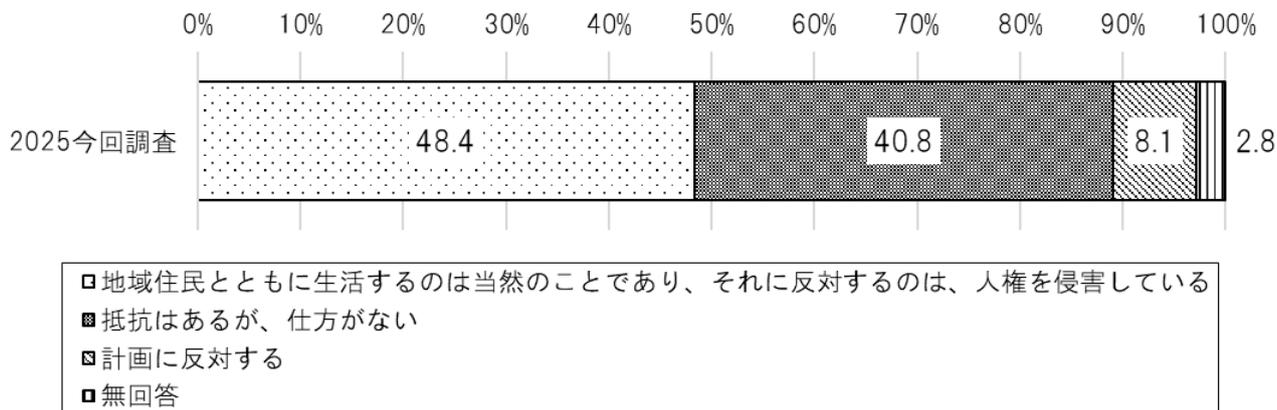
「年齢」では、「地域住民とともに生活するのは当然のことであり、それに反対するのは、人権を侵害している」で、最も割合が高かったのは「50 歳代」で 70.9%、最も割合が低かったのは「18～29 歳以下」で 51.4%と、19.5 ポイントの差が見られた。「抵抗はあるが、仕方がない」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 40.0%、最も割合が低かったのは「50 歳代」で 26.5%と、13.5 ポイントの差が見られた。「計画に反対する」で、最も

割合が高かったのは「30歳代」で9.4%、最も割合が低かったのは「60歳代」で0.8%と、8.6ポイントの差が見られた。

「住まい」では、ほとんど差は見られなかった。

「学生期」では、「地域住民とともに生活するのは当然のことであり、それに反対するのは、人権を侵害している」では、「志摩市内」が64.6%、「志摩市外」が57.6%と、7.0ポイントの差が見られた。「抵抗はあるが、仕方がない」では、「志摩市内」が30.8%、「志摩市外」が37.9%と、7.1ポイントの差が見られた。

### C.精神障がい者のための生活施設



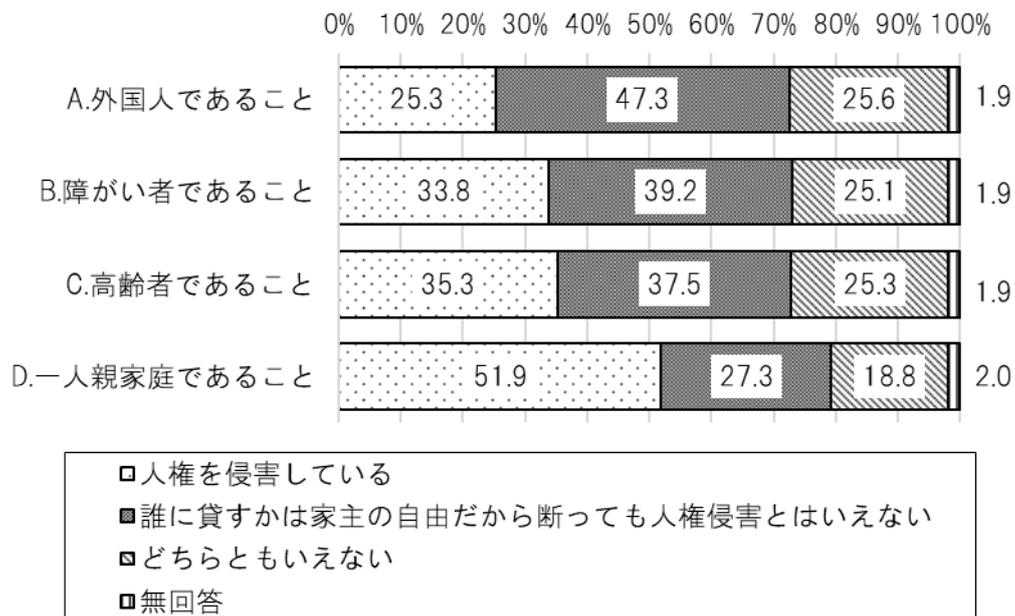
「性別」では、「地域住民とともに生活するのは当然のことであり、それに反対するのは、人権を侵害している」で、「男性」が53.0%、「女性」が44.7%と、8.3ポイントの差が見られた。「抵抗はあるが、仕方がない」では、「男性」が38.5%、「女性」が43.5%と、5.0ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「抵抗はあるが、仕方がない」で、最も割合が高かったのは「40歳代」で45.2%、最も割合が低かったのは「30歳代」で31.3%と、13.9ポイントの差が見られた。「計画に反対する」で、最も割合が高かったのは「30歳代」で15.6%、最も割合が低かったのは「50歳代」で6.0%と、9.6ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「地域住民とともに生活するのは当然のことであり、それに反対するのは、人権を侵害している」で、最も割合が高かったのは「浜島町」で55.6%、最も割合が低かったのは「阿児町」で43.9%と、11.7ポイントの差が見られた。「抵抗はあるが、仕方がない」で最も割合が高かったのは「阿児町」で43.9%、最も割合が低かったのは「磯部町」で37.7%と、6.2ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「抵抗はあるが、仕方がない」で、「志摩市内」が39.8%、「志摩市外」が46.2%と、6.4ポイントの差が見られた。

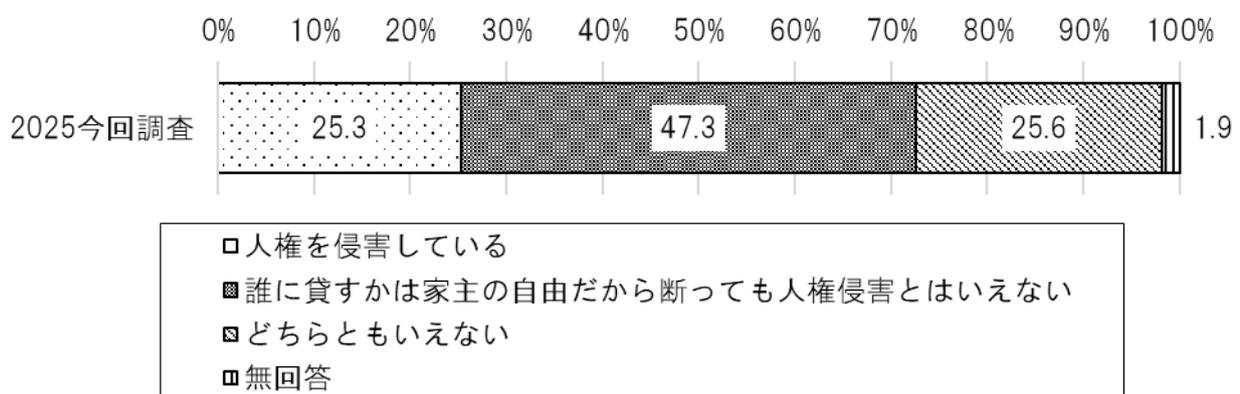
問6 家主が賃貸マンションを次の条件を理由に貸すことを断ることについて、あなたは  
どう思いますか。A～Dのそれぞれについて、あてはまる回答の数字に1つだけ○を  
つけてください。



家主が賃貸マンションを貸すことを属性を理由に断ることについて、「人権を侵害している」で最も割合が高かったのは「D. 一人親家庭であること」で 51.9%、2 番目に高かったのは「C. 高齢者であること」で 35.3%、3 番目は「B. 障がい者であること」で 33.8% となった。

「誰に貸すかは家主の自由だから断っても人権侵害とはいえない」で最も割合が高かったのは「A. 外国人であること」で 47.3% となった。

### A.外国人であること



「性別」では、「誰に貸すかは家主の自由だから断っても人権侵害とはいえない」で「男性」が 50.9%、「女性」が 45.0%と、5.9 ポイントの差が見られた。

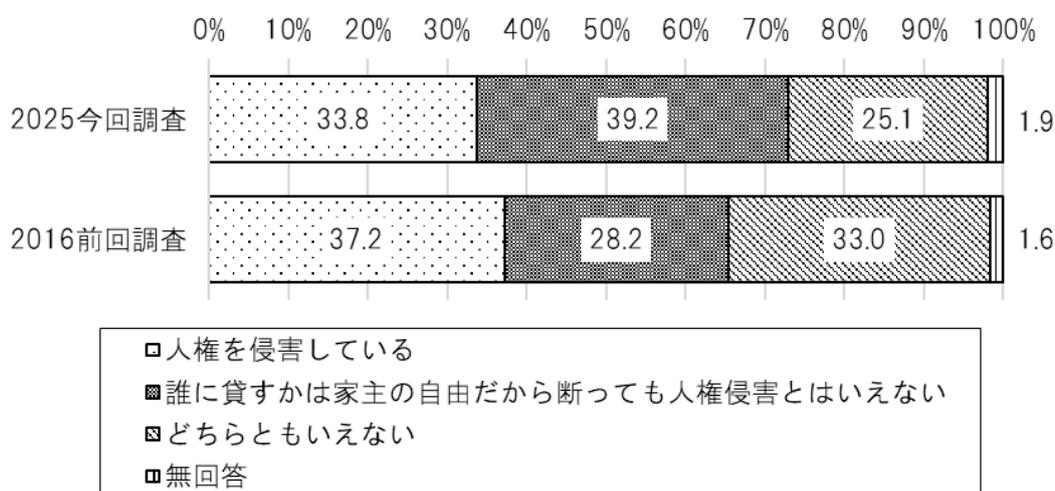
「年齢」では、「人権を侵害している」で、最も割合が高かったのは「50 歳代」で 30.8%、最も割合が低かったのは「30 歳代」「40 歳代」で 21.9%と、8.9 ポイントの差が見られた。「誰に貸すかは家主の自由だから断っても人権侵害とはいえない」で最も割合が高かった

のは「30 歳代」で 62.5%、最も割合が低かったのは「18～29 歳以下」で 42.9%と、19.6 ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 31.4%、最も割合が低かったのは「30 歳代」で 12.5%と、18.9 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「人権を侵害している」で、最も割合が高かったのは「磯部町」で 31.1%、最も割合が低かったのは「浜島町」で 19.0%と、12.1 ポイントの差が見られた。「誰に貸すかは家主の自由だから断っても人権侵害とはいえない」で最も割合が高かったのは「大王町」で 53.8%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 44.8%と、9.0 ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「浜島町」「志摩町」で 30.2%、最も割合が低かったのは「大王町」で 17.9%と、12.3 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「人権を侵害している」で「志摩市内」が 24.2%、「志摩市外」が 29.5%と、5.3 ポイントの差が見られた。

## B.障がい者であること



前回調査との比較では、「誰に貸すかは家主の自由だから断っても人権侵害とはいえない」が前回よりも 11.0 ポイント増えた。「どちらともいえない」は前回よりも 7.9 ポイント減った。

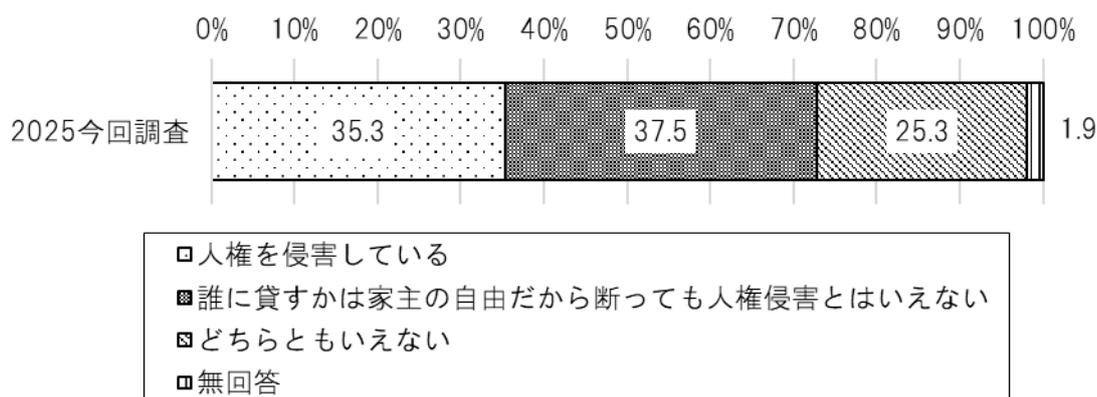
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「人権を侵害している」で、最も割合が高かったのは「70 歳以上」で 36.9%、最も割合が低かったのは「40 歳代」で 24.7%と、12.2 ポイントの差が見られた。「誰に貸すかは家主の自由だから断っても人権侵害とはいえない」で最も割合が高かったのは「30 歳代」で 53.1%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 33.3%と、19.8 ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「70 歳以上」で 27.7%、最も割合が低かったのは「30 歳代」で 12.5%と、15.2 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「人権を侵害している」で、最も割合が高かったのは「大王町」で 38.5%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 29.2%と、9.3 ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 28.3%、最も割合が低かったのは「大王町」で 21.8%と、6.5 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### C.高齢者であること



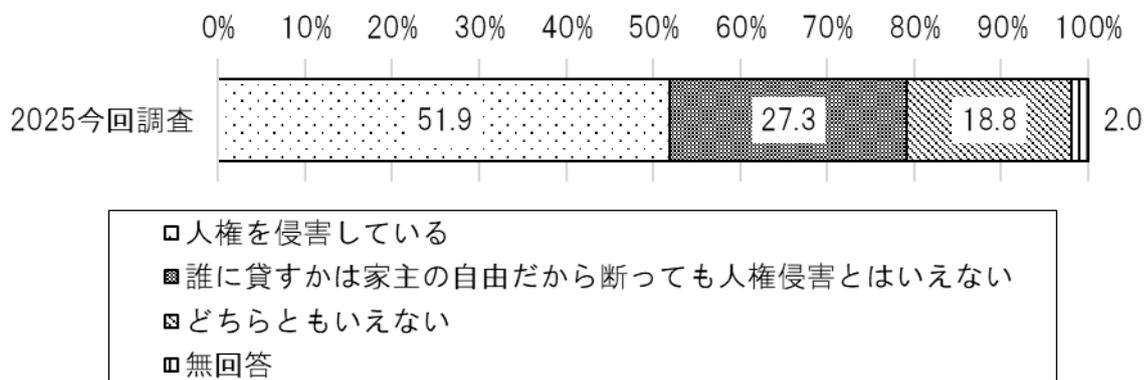
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「人権を侵害している」で、最も割合が高かったのは「70歳以上」で36.9%、最も割合が低かったのは「40歳代」で28.8%と、8.1ポイントの差が見られた。「誰に貸すかは家主の自由だから断っても人権侵害とはいえない」で最も割合が高かったのは「30歳代」で53.1%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で31.7%と、21.4ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で29.3%、最も割合が低かったのは「30歳代」で9.4%と、19.9ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「人権を侵害している」で、最も割合が高かったのは「大王町」で39.7%、最も割合が低かったのは「阿児町」で33.5%と、6.2ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「阿児町」で28.3%、最も割合が低かったのは「大王町」で20.5%と、7.8ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「どちらともいえない」で「志摩市内」が26.6%、「志摩市外」が20.5%と、6.1ポイントの差が見られた。

### D.一人親家庭であること



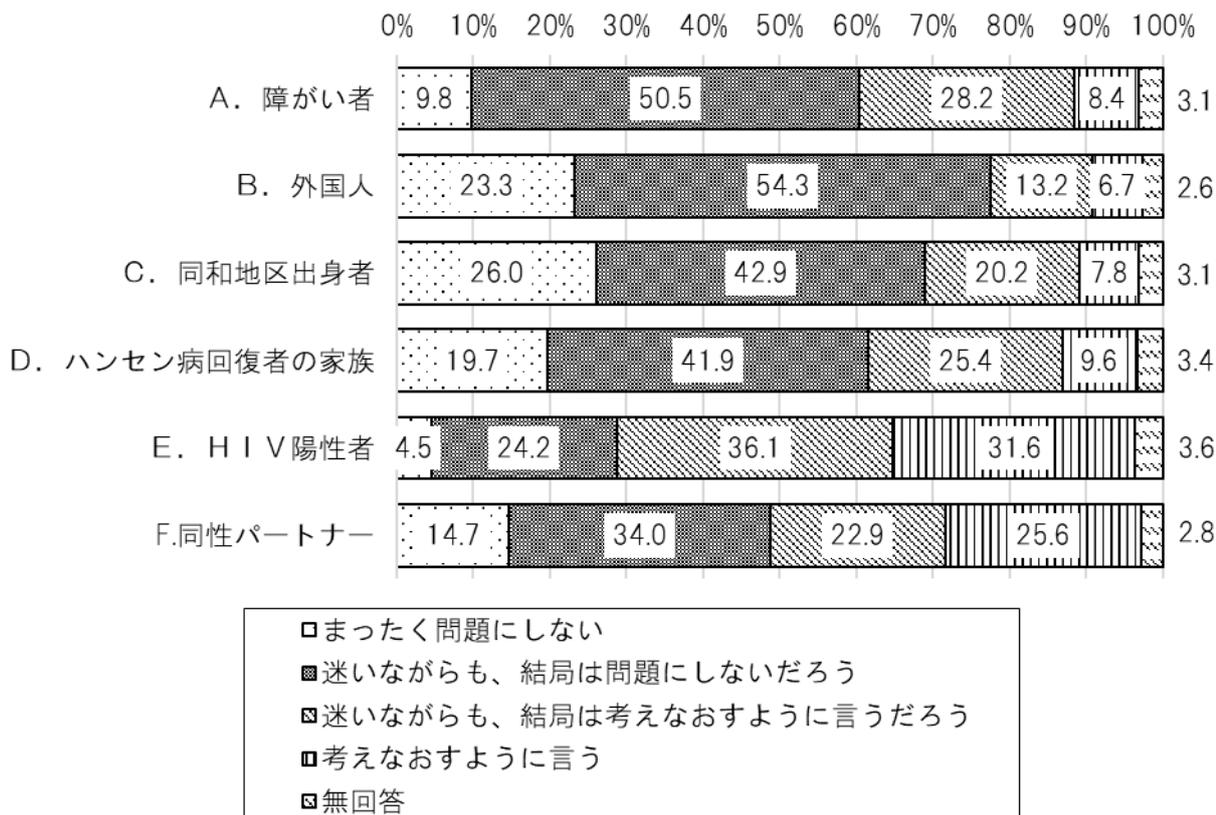
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「人権を侵害している」で、最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で62.9%、最も割合が低かったのは「40歳代」で45.2%と、17.7ポイントの差が見られた。「誰に貸すかは家主の自由だから断っても人権侵害とはいえない」で最も割合が高かったのは「30歳代」で40.6%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で24.1%と、16.5ポイントの差が見られた。「どちらともいえない」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で22.5%、最も割合が低かったのは「30歳代」で6.3%と、16.2ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「誰に貸すかは家主の自由だから断っても人権侵害とはいえない」で、最も割合が高かったのは「大王町」で30.8%、最も割合が低かったのは「浜島町」で23.8%と、7.0ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

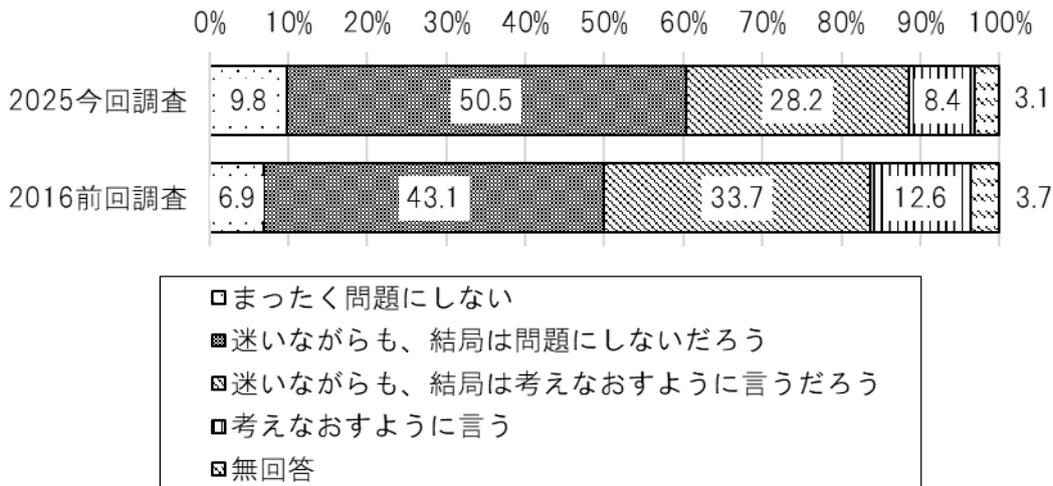
問7 仮に、あなたのお子さんが（いない場合は、いると仮定してお答えください）恋愛し、結婚を考えている相手が次の人であれば、あなたはどのような態度をとると思いますか。A～Fのそれぞれについて、あてはまる回答の数字に1つだけ○をつけてください。



子どもが結婚したい相手の属性について、「まったく問題にしない」で最も割合が高かったのは「C. 同和地区出身者」で26.0%、2番目に高かったのは「B. 外国人」で23.3%、3番目は「D. ハンセン病回復者の家族」で19.7%となった。「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」をあわせて、50%を超えたのは割合が高い順に「B. 外国人」「C. 同和地区出身者」「D. ハンセン病回復者の家族」「A. 障がい者」となった。

「迷いながらも、結局は考えなおすように言うだろう」「考えなおすように言う」を合わせて最も割合が高かったのは「E. HIV陽性者」で67.7%、2番目に高かったのは「F. 同性パートナー」で48.5%、3番目は「A. 障がい者」で36.6%となった。

## A.障がい者



前回調査との比較では、「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」で前回よりも7.4ポイント増えた。「迷いながらも、結局は考えなおすように言うだろう」は前回よりも5.5ポイント減った。

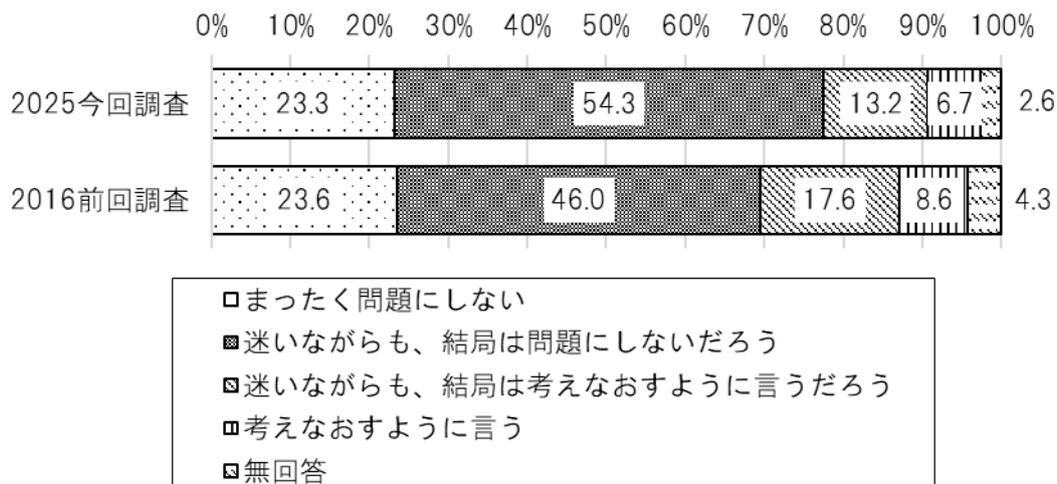
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「40歳代」で64.4%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で58.2%と、6.2ポイントの差が見られた。「考えなおすように言う」「迷いながらも、結局は考えなおすように言うだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で38.5%、最も割合が低かったのは「30歳代」で31.3%と、7.2ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「磯部町」で67.0%、最も割合が低かったのは「浜島町」で55.5%と、11.5ポイントの差が見られた。「考えなおすように言う」「迷いながらも、結局は考えなおすように言うだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で42.8%、最も割合が低かったのは「大王町」「磯部町」で32.1%と、10.7ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」をあわせると、「志摩市内」が61.8%、「志摩市外」が56.1%と、5.7ポイントの差が見られた。

## B.外国人



前回調査との比較では、「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」で前回よりも8.3ポイント増えた。

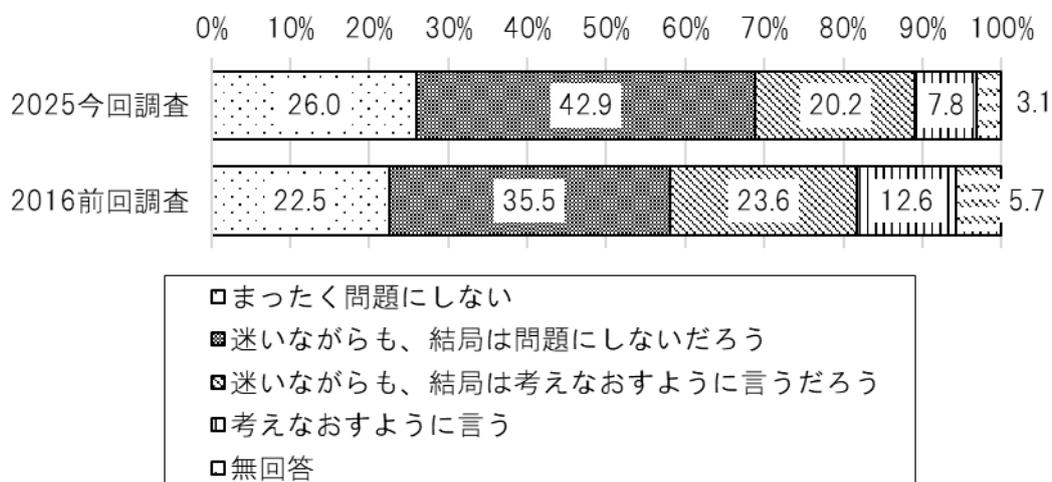
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「40歳代」で84.9%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で69.5%と、15.4ポイントの差が見られた。「考えなおすように言う」「迷いながらも、結局は考えなおすように言うだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で28.5%、最も割合が低かったのは「30歳代」で9.4%と、19.1ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「まったく問題にしない」で最も割合が高かったのは「大王町」で29.5%、最も割合が低かったのは「浜島町」で19.0%と、10.5ポイントの差が見られた。「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で80.9%、他の町でも7割代となった。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## C.同和地区出身者



前回調査との比較では、「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしない

だろう」をあわせると、前回よりも 10.9 ポイント増えた。「考えなおすように言う」「迷いながらも、結局は考えなおすように言うだろう」をあわせると、前回よりも 8.2 ポイント減った。

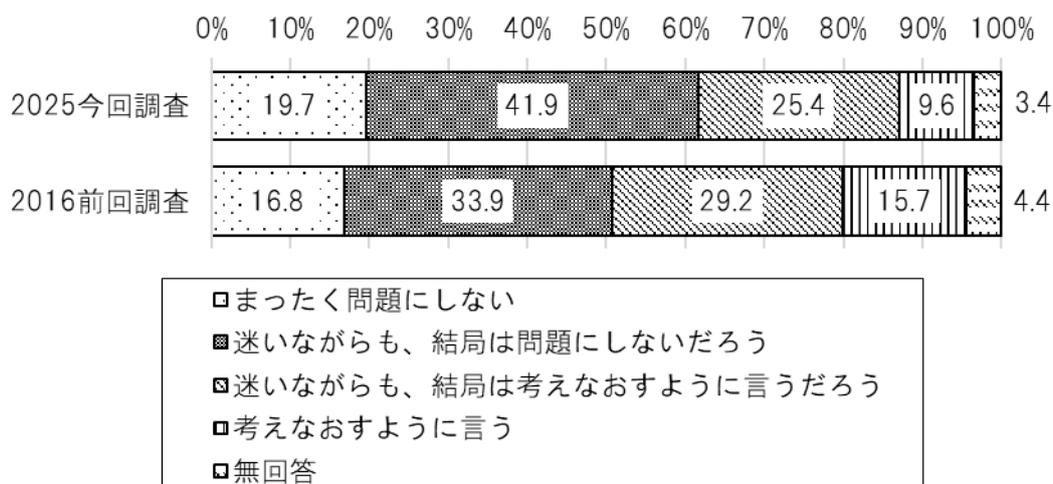
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「まったく問題にしない」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 57.1%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 18.1%と、39.0 ポイントの差が見られた。「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「40 歳代」で 83.6%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 63.5%と、20.1 ポイントの差が見られた。「考えなおすように言う」「迷いながらも、結局は考えなおすように言うだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「70 歳以上」で 33.7%、最も割合が低かったのは「40 歳代」で 16.5%と、17.2 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「まったく問題にしない」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 34.0%、最も割合が低かったのは「浜島町」で 22.2%と、11.8 ポイントの差が見られた。「迷いながらも、結局は考えなおすように言うだろう」で、最も割合が高かったのは「浜島町」で 28.6%、最も割合が低かったのは「大王町」で 17.9%と、10.7 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

#### D.ハンセン病回復者の家族



前回調査との比較では、「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」をあわせると、前回よりも 10.9 ポイント増えた。「考えなおすように言う」「迷いながらも、結局は考えなおすように言うだろう」をあわせると、前回よりも 9.9 ポイント減った。

「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

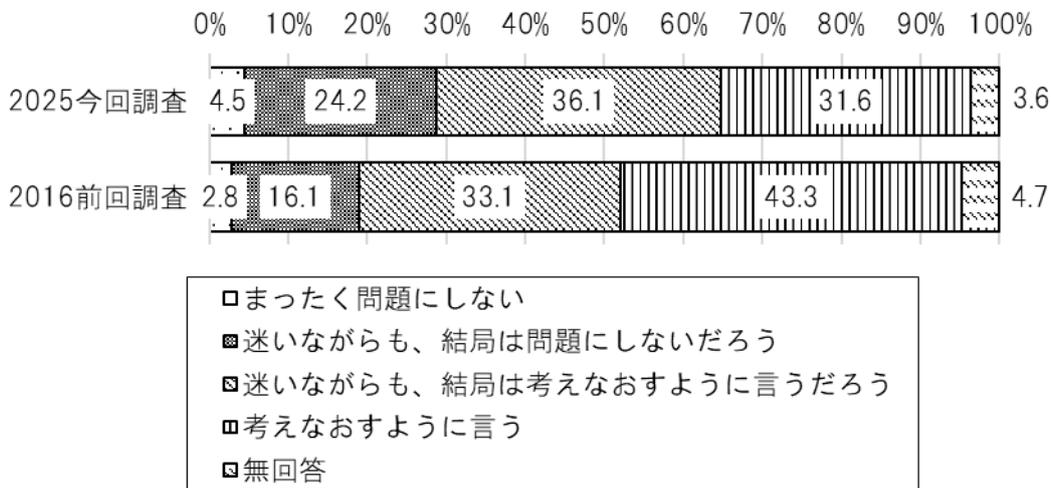
「年齢」では、「まったく問題にしない」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 28.6%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 14.9%と、13.7 ポイントの差が見られた。「考えなおすように言う」「迷いながらも、結局は考えなおすように言うだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「70 歳以上」で 40.5%、最も割合が低かったのは「30 歳代」で 28.1%と、12.4 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「大王町」で 66.7%、最も割合が低かったのは「浜島町」で 55.5%と、11.2 ポイントの差が見られた。「考えなおすように言う」「迷いながら

も、結局は考えなおすように言うだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で41.3%、最も割合が低かったのは「大王町」で33.4%と、7.9ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## E.H I V陽性者



前回調査との比較では、「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」をあわせると、前回よりも9.8ポイント増えた。「考えなおすように言う」「迷いながらも、結局は考えなおすように言うだろう」をあわせると、前回よりも8.7ポイント減った。

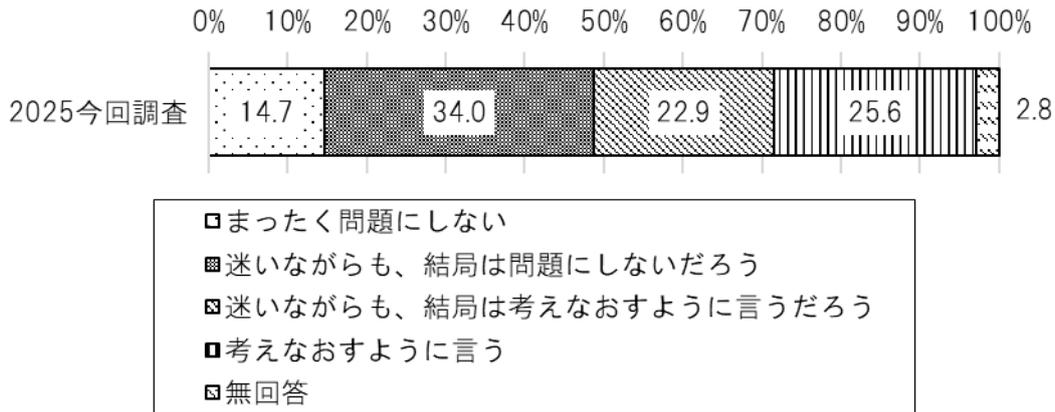
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「30歳代」で37.6%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で22.9%と、14.7ポイントの差が見られた。「考えなおすように言う」「迷いながらも、結局は考えなおすように言うだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で72.3%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で57.2%と、15.1ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「大王町」で34.6%、最も割合が低かったのは「浜島町」で20.6%と、14.0ポイントの差が見られた。「考えなおすように言う」「迷いながらも、結局は考えなおすように言うだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で76.2%、最も割合が低かったのは「大王町」で64.2%と、12.0ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## F.同性パートナー



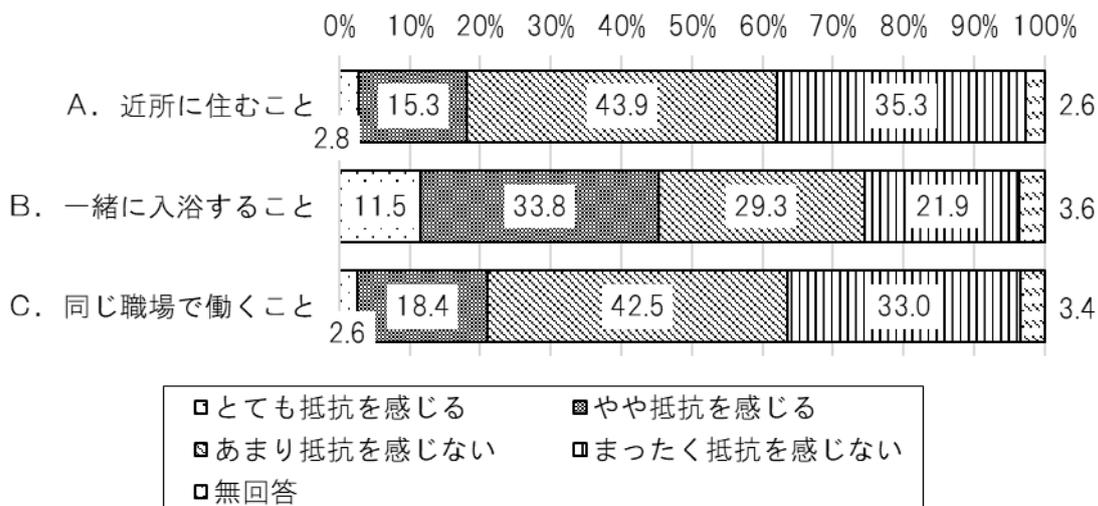
「性別」では、「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」をあわせると、「男性」が41.7%、「女性」が54.7%と、13.0ポイントの差が見られた。「考えなおすように言う」「迷いながらも、結局は考えなおすように言うだろう」をあわせると、「男性」が56.5%、「女性」が42.3%と、14.2ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「40歳代」で69.9%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で29.7%と、40.2ポイントの差が見られた。「考えなおすように言う」「迷いながらも、結局は考えなおすように言うだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で67.0%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で28.5%と、38.5ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「大王町」で52.6%、最も割合が低かったのは「浜島町」で41.2%と、11.4ポイントの差が見られた。「考えなおすように言う」「迷いながらも、結局は考えなおすように言うだろう」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で57.2%、最も割合が低かったのは「磯部町」で45.3%と、11.9ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

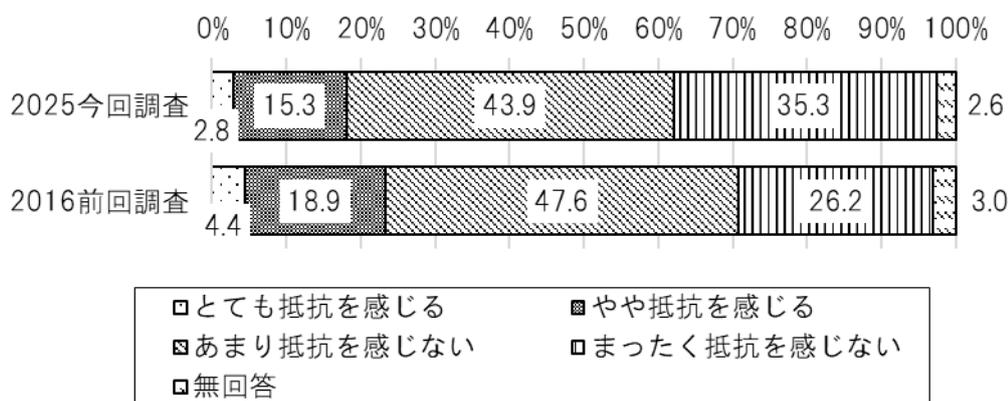
問8 あなたは、ハンセン病回復者やその家族との次のような状況について、どれくらい抵抗を感じますか。A～Cのそれぞれについて、あてはまる回答の数字に1つだけ○をつけてください。



ハンセン病回復者やその家族について、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」を合わせて最も割合が高かったのは「B. 一緒に入浴すること」で45.3%、2番目に高かったのは「C. 同じ職場で働くこと」で21.0%、3番目は「A. 近所に住むこと」で18.1%となった。

「まったく抵抗を感じない」で最も割合が高かったのは「A. 近所に住むこと」で35.3%、2番目に高かったのは「C. 同じ職場で働くこと」で33.0%、3番目は「B. 一緒に入浴すること」で21.9%となった。

### A. 近所に住むこと



前回調査との比較では、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」をあわせると、前回よりも5.2ポイント減った。「まったく抵抗を感じない」では、前回よりも9.1ポイント増えた。

「性別」では、「まったく抵抗を感じない」で「男性」が31.8%、「女性」が38.9%と、7.1ポイントの差が見られた。

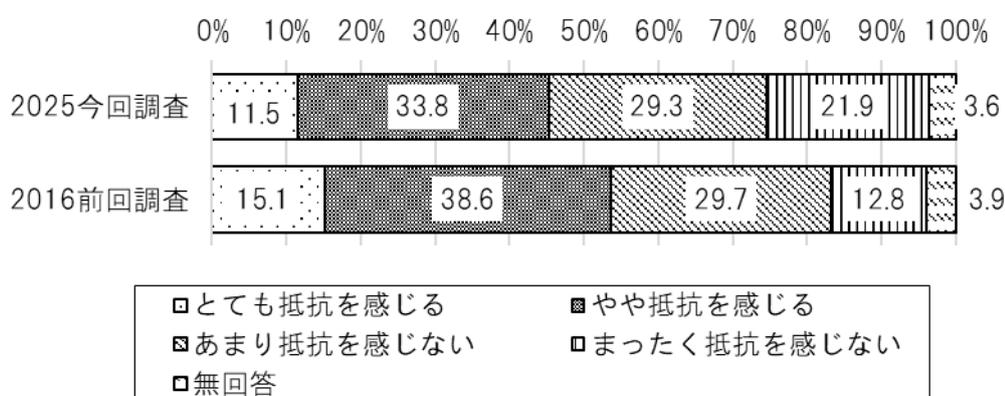
「年齢」では、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で24.1%、最も割合が低かったのは「50歳代」で7.7%と、16.4ポイントの差が見られた。「あまり抵抗を感じない」で最も割合が高かったのは「18～29歳代」で33.0%と、15.3ポイントの差が見られた。

歳以下」で 54.3%、最も割合が低かったのは「30 歳代」で 21.9%と、32.4 ポイントの差が見られた。「まったく抵抗を感じない」で最も割合が高かったのは「30 歳代」で 62.5%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 23.7%と、38.8 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で 28.6%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 14.7%と、13.9 ポイントの差が見られた。「あまり抵抗を感じない」で最も割合が高かったのは「浜島町」で 47.6%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 34.0%と、13.6 ポイントの差が見られた。「まったく抵抗を感じない」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 40.6%、最も割合が低かったのは「浜島町」で 22.2%と、18.4 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## B. 一緒に入浴すること



前回調査との比較では、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」をあわせると、前回よりも 8.4 ポイント減った。「まったく抵抗を感じない」では、前回よりも 9.1 ポイント増えた。

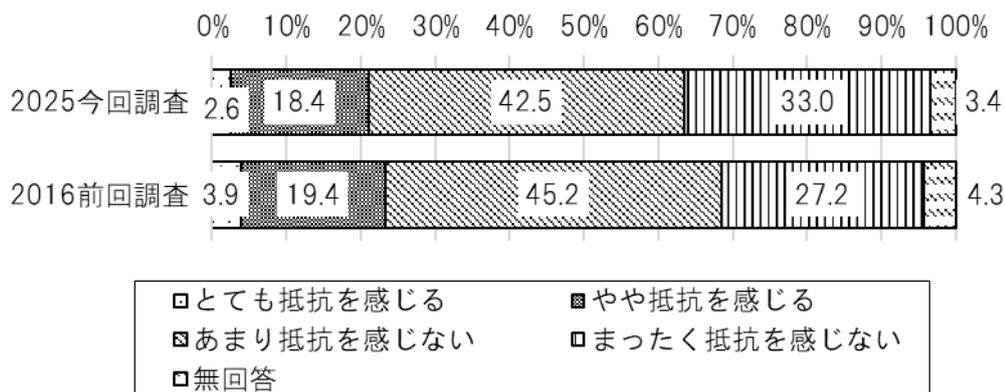
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」をあわせて、最も割合が高かったのは「70 歳以上」で 49.4%、最も割合が低かったのは「50 歳代」で 39.3%と、10.1 ポイントの差が見られた。「まったく抵抗を感じない」「あまり抵抗を感じない」をあわせて、最も割合が高かったのは「50 歳代」で 59.8%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 45.0%と、14.8 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で 55.6%、最も割合が低かったのは「大王町」で 41.0%と、14.6 ポイントの差が見られた。「あまり抵抗を感じない」で最も割合が高かったのは「阿児町」で 33.1%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 19.8%と、13.3 ポイントの差が見られた。「まったく抵抗を感じない」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 29.2%、最も割合が低かったのは「浜島町」で 12.7%と、16.5 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」をあわせると、「志摩市内」が 47.2%、「志摩市外」が 37.8%と、9.4 ポイントの差が見られた。「あまり抵抗を感じない」では、「志摩市内」が 27.8%、「志摩市外」が 35.6%と、7.8 ポイントの差が見られた。

### C. 同じ職場で働くこと



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

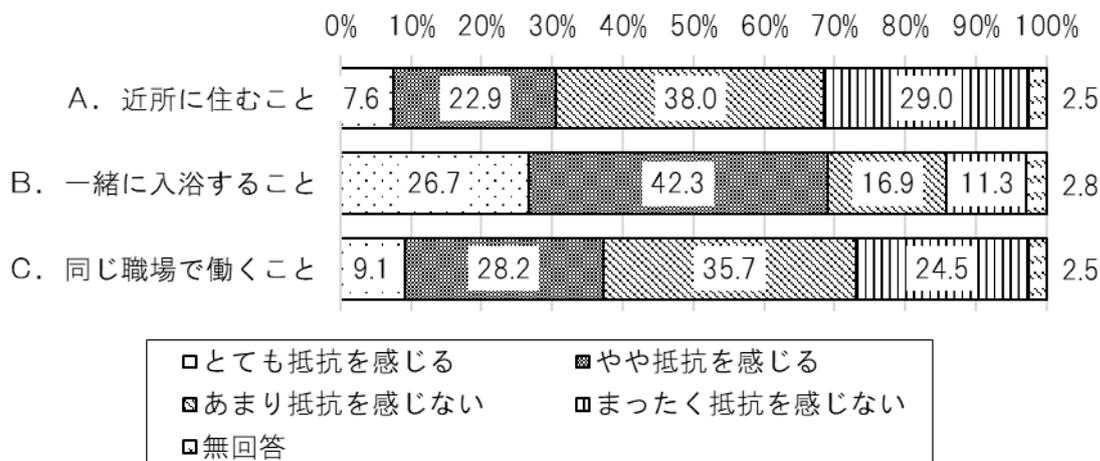
「性別」では、「まったく抵抗を感じない」で、「男性」が30.0%、「女性」が36.0%と、6.0ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で27.7%、最も割合が低かったのは「50歳代」で11.2%と、16.5ポイントの差が見られた。「まったく抵抗を感じない」「あまり抵抗を感じない」をあわせて、最も割合が高かったのは「50歳代」で88.0%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で66.7%と、21.3ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で31.8%、最も割合が低かったのは「志摩町」で17.3%と、14.5ポイントの差が見られた。「まったく抵抗を感じない」「あまり抵抗を感じない」をあわせて、最も割合が高かったのは「阿児町」で78.5%、最も割合が低かったのは「浜島町」で66.7%と、11.8ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

**問9 あなたは、HIV陽性者との次のような状況について、どれくらい抵抗を感じますか。A～Cのそれぞれについて、あてはまる回答の数字に1つだけ○をつけてください。**

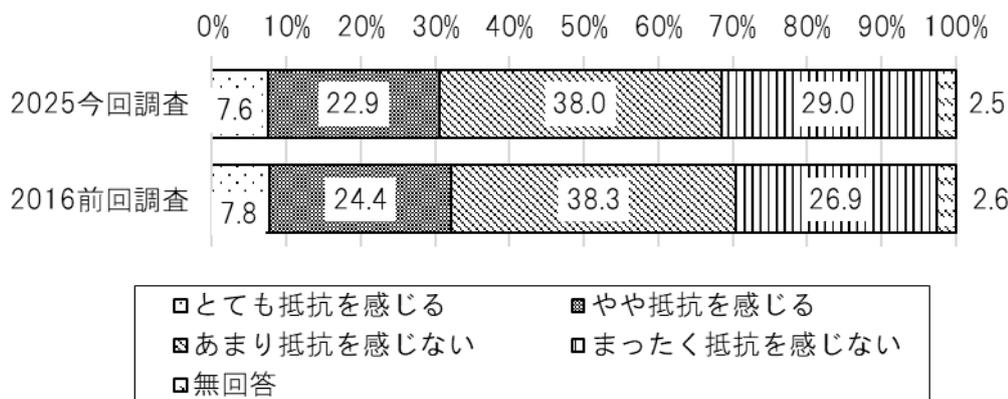


HIV陽性者について、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」を合わせて最も割合が高かったのは「B. 一緒に入浴すること」で69.0%、2番目に高かったのは「C. 同じ

職場で働くこと」で37.3%、3番目は「A. 近所に住むこと」で30.5%となった。

「まったく抵抗を感じない」で最も割合が高かったのは「A. 近所に住むこと」で29.0%、2番目に高かったのは「C. 同じ職場で働くこと」で24.5%、3番目は「B. 一緒に入浴すること」で11.3%となった。

### A. 近所に住むこと



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

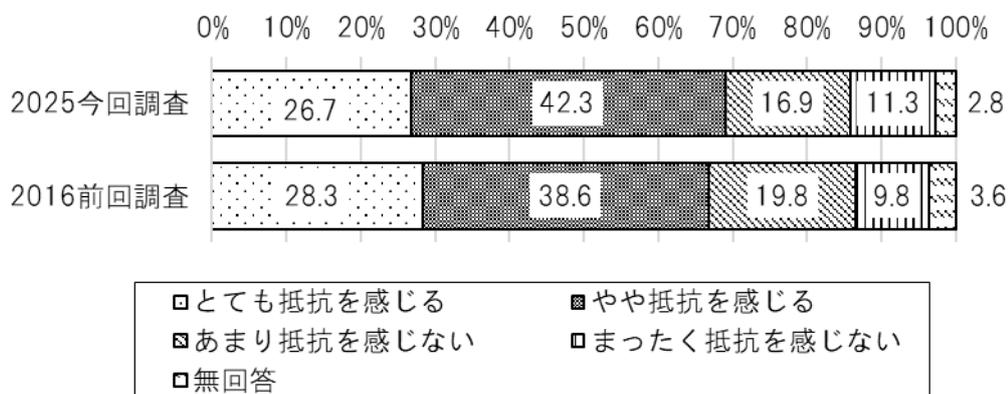
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で44.1%、最も割合が低かったのは「30歳代」で15.6%と、28.5ポイントの差が見られた。「まったく抵抗を感じない」「あまり抵抗を感じない」をあわせて、最も割合が高かったのは「30歳代」で83.8%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で51.4%と、32.4ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で36.5%、最も割合が低かったのは「志摩町」で25.9%と、10.6ポイントの差が見られた。「まったく抵抗を感じない」「あまり抵抗を感じない」をあわせて、最も割合が高かったのは「志摩町」で70.7%、最も割合が低かったのは「浜島町」で63.5%と、7.2ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### B. 一緒に入浴すること



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

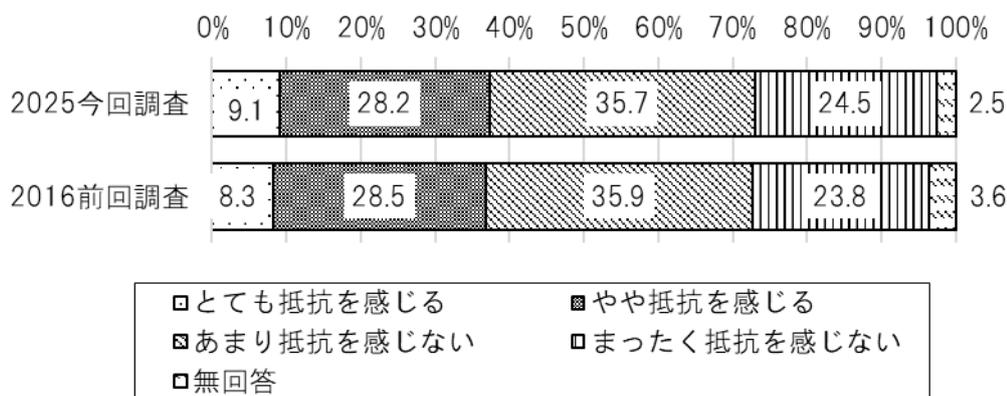
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」をあわせて、最も割合が高かったのは「40歳代」で71.2%、最も割合が低かったのは「30歳代」で53.2%と、18.0ポイントの差が見られた。「まったく抵抗を感じない」「あまり抵抗を感じない」をあわせて、最も割合が高かったのは「30歳代」で46.9%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で24.9%と、22.0ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で81.0%、最も割合が低かったのは「大王町」で60.3%と、20.7ポイントの差が見られた。「まったく抵抗を感じない」「あまり抵抗を感じない」をあわせて、最も割合が高かったのは「大王町」で37.2%、最も割合が低かったのは「浜島町」で17.5%と、19.7ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### C.同じ職場で働くこと



前回調査との比較では、ほとんど差は見られなかった。

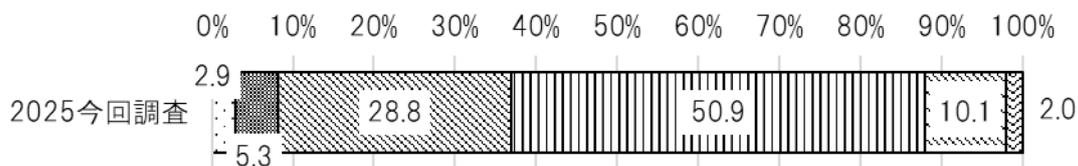
「性別」では、「やや抵抗を感じる」で、「男性」が24.4%、「女性」が31.7%と、7.3ポイントの差が見られた。「あまり抵抗を感じない」では、「男性」が40.3%、「女性」が32.6%と、7.7ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で44.9%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で17.2%と、27.7ポイントの差が見られた。「まったく抵抗を感じない」「あまり抵抗を感じない」をあわせて、最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で82.9%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で51.0%と、31.9ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「とても抵抗を感じる」「やや抵抗を感じる」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で44.4%、最も割合が低かったのは「大王町」で29.5%と、14.9ポイントの差が見られた。「まったく抵抗を感じない」「あまり抵抗を感じない」をあわせて、最も割合が高かったのは「大王町」で69.3%、最も割合が低かったのは「浜島町」で53.9%と、15.4ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

問10-1 インターネット上で、他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などの情報が掲載されることがあります。このことについて、あなたはどのように思いますか。1つだけ○をつけてください。



- 自分とは関係ないことだと思う
- とりたてて騒ぐほどの問題ではないと思う
- 表現の自由に関わる問題であり、対応するなら慎重にする必要がある
- 許せない人権侵害だと思う
- よくわからない
- 無回答

インターネット上で他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現について、最も割合が高かったのは「許せない人権侵害だと思う」で50.9%、2番目に高かったのは「表現の自由に関わる問題であり、対応するなら慎重にする必要がある」で28.8%、3番目は「よくわからない」で10.1%、次いで「とりたてて騒ぐほどの問題ではないと思う」で5.3%となった。

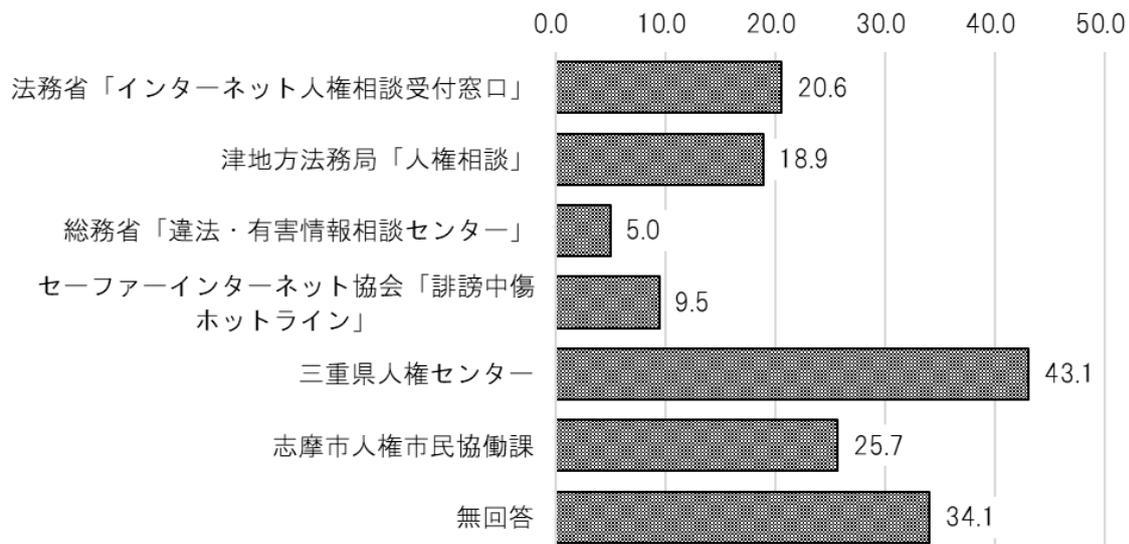
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「とりたてて騒ぐほどの問題ではないと思う」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で11.4%、最も割合が低かったのは「30歳代」で0.0%と、11.4ポイントの差が見られた。「表現の自由に関わる問題であり、対応するなら慎重にする必要がある」で最も割合が高かったのは「30歳代」で43.8%、最も割合が低かったのは「60歳代」で23.6%と、20.2ポイントの差が見られた。「許せない人権侵害だと思う」で最も割合が高かったのは「60歳代」で59.1%、最も割合が低かったのは「30歳代」で37.5%と、21.6ポイントの差が見られた。「よくわからない」で最も割合が高かったのは「30歳代」で18.8%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で5.7%と、13.1ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「とりたてて騒ぐほどの問題ではないと思う」で最も割合が高かったのは「磯部町」で9.4%、最も割合が低かったのは「大王町」で0.0%と、9.4ポイントの差が見られた。「表現の自由に関わる問題であり、対応するなら慎重にする必要がある」で最も割合が高かったのは「志摩町」で31.0%、最も割合が低かったのは「浜島町」で25.4%と、5.6ポイントの差が見られた。「よくわからない」で最も割合が高かったのは「浜島町」で12.7%、最も割合が低かったのは「志摩町」で6.9%と、5.8ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

問10-2 インターネット上の誹謗中傷や差別に関する相談窓口について、あなたはどれくらい知っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



インターネット上の誹謗中傷や差別に関する相談窓口について、最も割合が高かったのは「三重県人権センター」で43.1%、2番目に高かったのは「無回答」で34.1%、3番目は「志摩市人権市民協働課」で25.7%、次いで「法務省『インターネット人権相談受付窓口』」で20.6%となっている。「無回答」が3割以上と高い割合を占めたのは、どの相談窓口も知らないという選択肢がなかったためと推測される。

「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「法務省『インターネット人権相談受付窓口』」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で28.6%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で14.5%と、14.1ポイントの差が見られた。「津地方法務局『人権相談』」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で25.3%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で8.6%と、16.7ポイントの差が見られた。「総務省『違法・有害情報相談センター』」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で8.6%、最も割合が低かったのは「40歳代」で2.7%と、5.9ポイントの差が見られた。「セーフティーインターネット協会『誹謗中傷ホットライン』」で最も割合が高かったのは「30歳代」で15.6%、最も割合が低かったのは「40歳代」で5.5%と、10.1ポイントの差が見られた。「三重県人権センター」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で47.8%、最も割合が低かったのは「40歳代」で38.4%と、9.4ポイントの差が見られた。

「志摩市人権市民協働課」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で34.9%、最も割合が低かったのは「60歳代」で16.5%と、18.4ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「法務省『インターネット人権相談受付窓口』」で最も割合が高かったのは「浜島町」で31.7%、最も割合が低かったのは「阿児町」で16.4%と、15.3ポイントの差が見られた。「津地方法務局『人権相談』」で最も割合が高かったのは「磯部町」で24.5%、最も割合が低かったのは「大王町」で15.4%と、9.1ポイントの差が見られた。

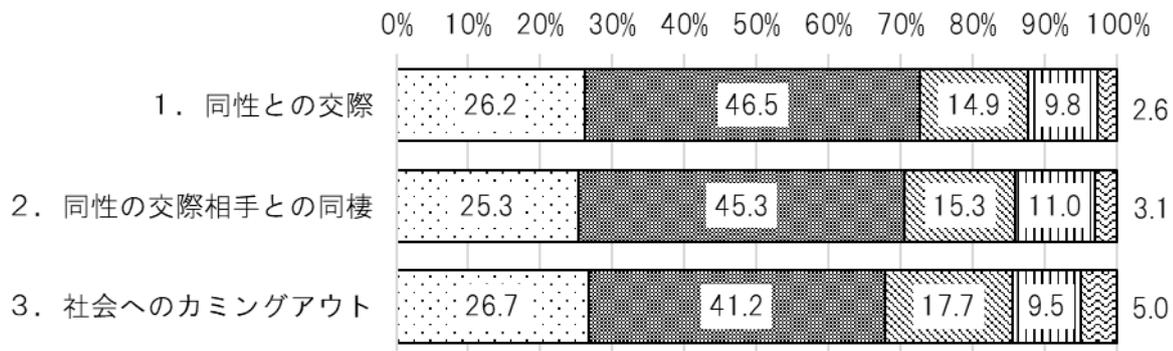
「セーフティーインターネット協会『誹謗中傷ホットライン』」で最も割合が高かったのは「浜島町」で14.3%、最も割合が低かったのは「大王町」で5.1%と、9.2ポイントの差が見られた。「三重県人権センター」で最も割合が高かったのは「磯部町」で53.8%、最も割合が低かったのは「大王町」で34.6%と、19.2ポイントの差が見られた。「志摩市人権市民協働課」で最も割合が高かったのは「磯部町」で35.8%、最も割合が低かったのは「志摩町」で14.7%と、21.1ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「志摩市人権市民協働課」で「志摩市内」が27.4%、「志摩市外」が20.5%

と、6.9ポイントの差が見られた。

問11 あなたのお子さんやお孫さん（いない場合は、いると仮定してお答えください）が、次のような場合、あなたはどんな態度をとると思いますか。あてはまる回答の数字に1つだけ○をつけてください。

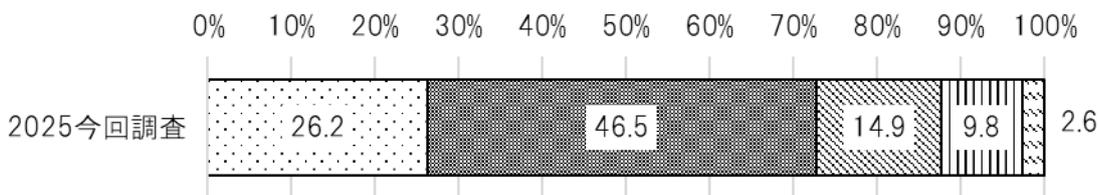
A) お子さんやお孫さんが同性愛者の場合



- 子や孫の意思を尊重する
- 迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する
- ▨ 迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない
- ▩ 子や孫の意思を尊重しない
- 無回答

子どもや孫が同性愛者の場合、「子どもの意思を尊重する」は、1～3ともに25%以上、「迷いながらも結局は子どもの意思を尊重する」は、1～3ともに40%以上となっており、それぞれ同じような割合となった。

1. 同性との交際



- 子や孫の意思を尊重する
- 迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する
- ▨ 迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない
- ▩ 子や孫の意思を尊重しない
- 無回答

「性別」では、「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせると、「男性」が65.8%、「女性」が79.0%と、13.2ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあ

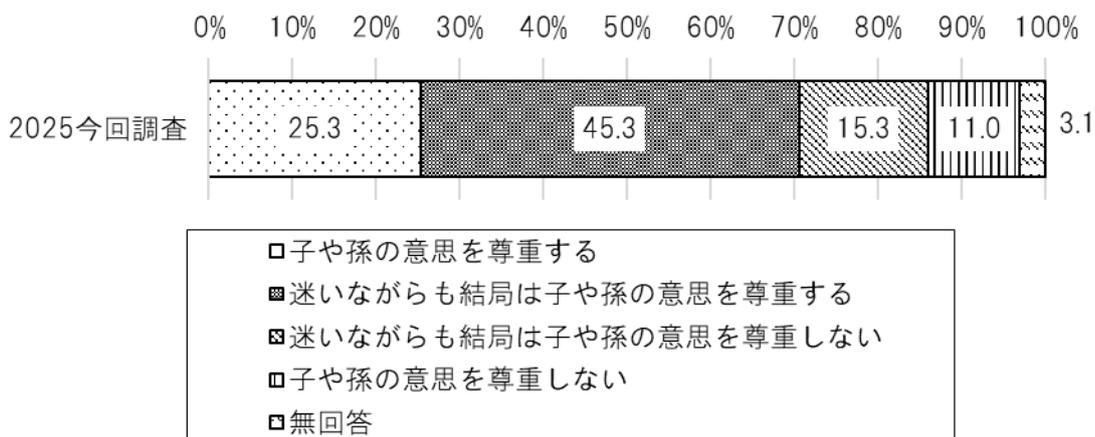
わせると、「男性」が32.9%、「女性」が18.7%と、14.2ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「子や孫の意思を尊重する」で「18～29歳以下」と「30歳代」が半数を超えた。「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせて、最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で91.4%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で55.0%と、36.4ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で40.2%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で8.6%と、31.6ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせて、最も割合が高かったのは「阿児町」で76.3%、最も割合が低かったのは「浜島町」で65.1%と、11.2ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で33.3%、最も割合が低かったのは「阿児町」で21.9%と、11.4ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## 2. 同性の交際相手との同棲



「性別」では、「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせると、「男性」が63.9%、「女性」が76.7%と、12.8ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせると、「男性」が34.7%、「女性」が20.2%と、14.5ポイントの差が見られた。

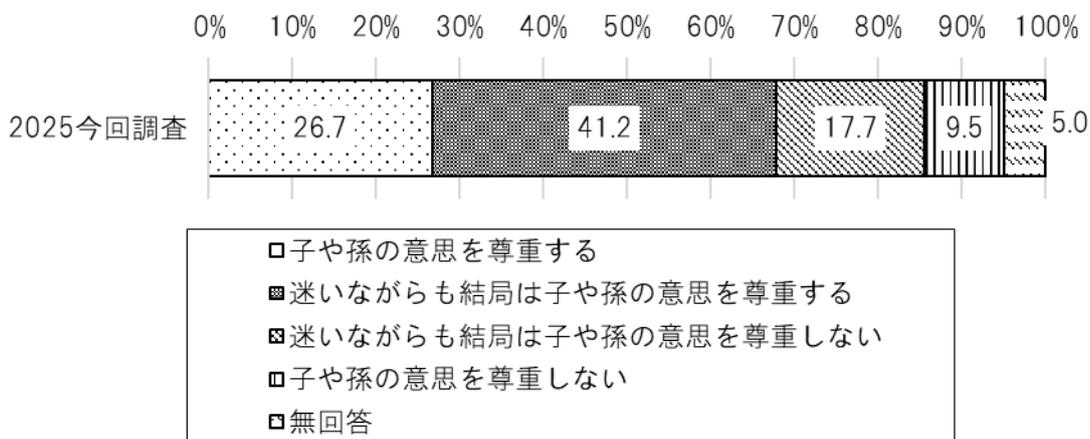
「年齢」では、「子や孫の意思を尊重する」で「18～29歳以下」と「30歳代」が半数を超えた。「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせて、最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で91.4%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で52.2%と、39.2ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で42.2%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で8.6%と、33.6ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせて、最も割合が高かったのは「大王町」で75.7%、最も割合が低かったのは「浜島町」で63.5%と、12.2ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせて、最も割合が高かったのは

「浜島町」で 36.5%、最も割合が低かったのは「大王町」で 23.1%と、13.4 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### 3. 社会へのカミングアウト



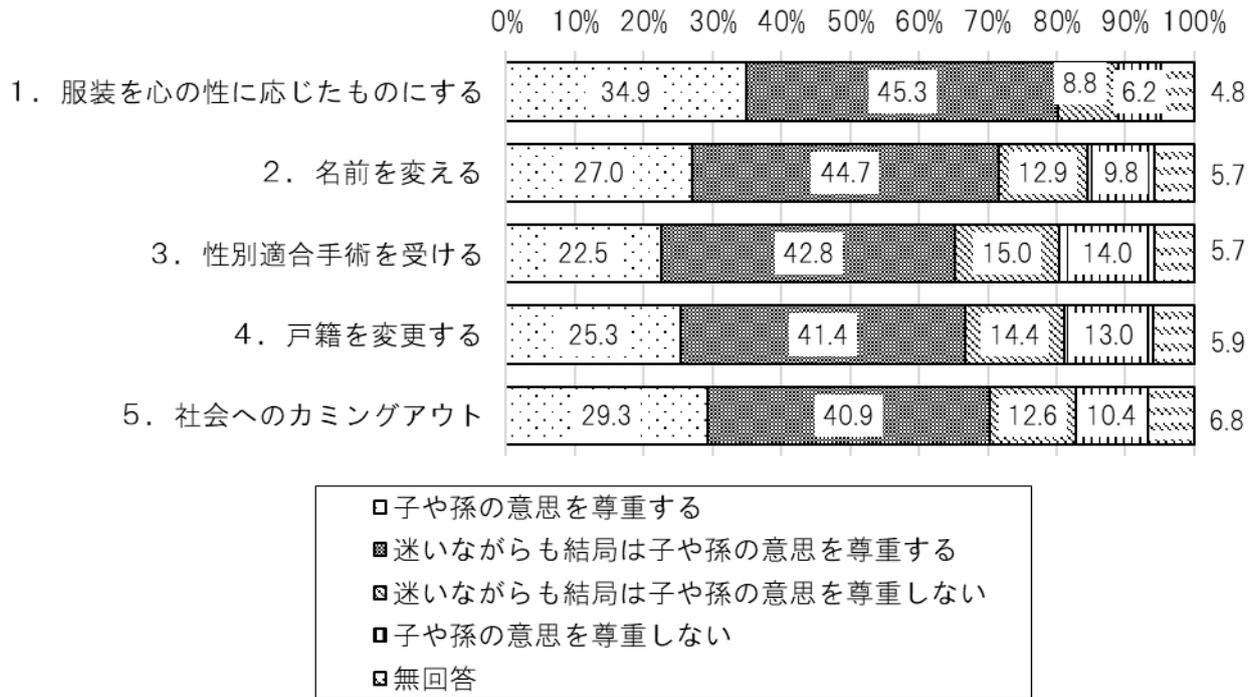
「性別」では、「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせると、「男性」が 64.0%、「女性」が 72.1%と、8.1 ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせると、「男性」が 33.5%、「女性」が 22.5%と、11.0 ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「子や孫の意思を尊重する」で最も割合が高かったのは「30 歳代」で 56.3%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 13.7%と、42.6 ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせて、最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 94.3%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 49.4%と、44.9 ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせて、最も割合が高かったのは「70 歳以上」で 41.0%、最も割合が低かったのは「18～29 歳以下」で 5.7%と、35.3 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせて、最も割合が高かったのは「志摩町」で 69.8%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 64.2%と、5.6 ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で 31.8%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 25.0%と、6.8 ポイントの差が見られた。

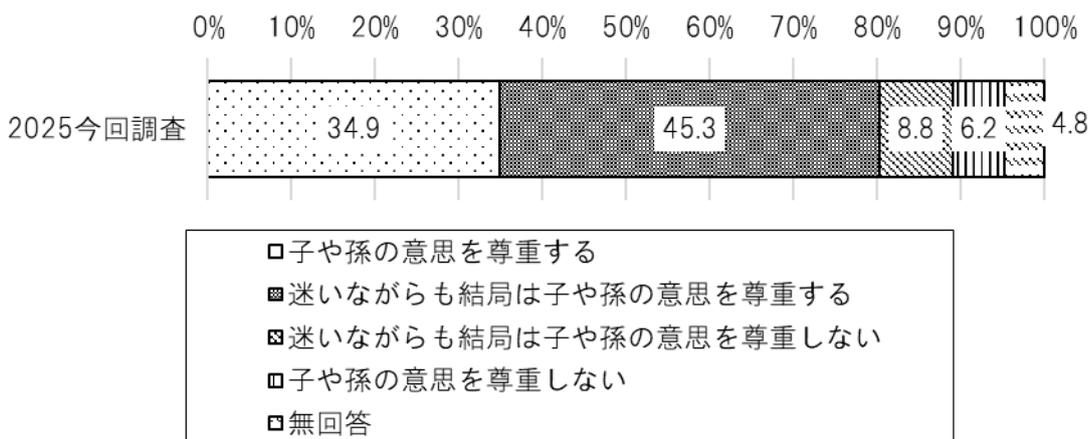
「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## B) お子さんやお孫さんがトランスジェンダーの場合



子や孫がトランスジェンダーの場合、「子や孫の意思を尊重する」で最も割合が高かったのは「1. 服装を心の性に応じたものにする」で34.9%、2番目に高かったのは「5. 社会へのカミングアウト」で29.3%となっている。「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」では、すべての項目で40%以上となっている。「子や孫の意思を尊重しない」では、「3. 性別適合手術を受ける」「4. 戸籍を変更する」「5. 社会へのカミングアウト」では10%以上となった。

### 1. 服装を心の性に応じたものにする



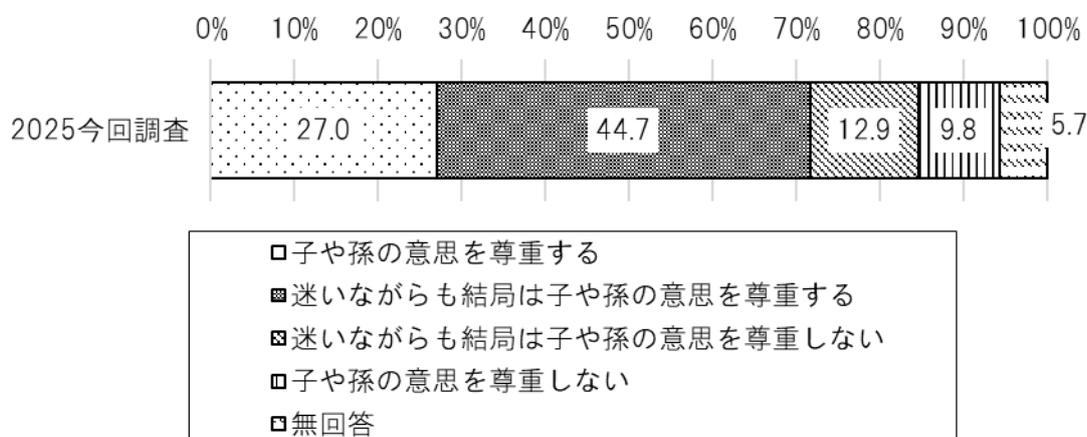
「性別」では、「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせると、「男性」が75.9%、「女性」が84.4%と、8.5ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせると、「男性」が20.8%、「女性」が10.7%と、10.1ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「子や孫の意思を尊重する」で「18～29歳以下」と「30歳代」が6割を超えた。「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせて、最も割合が高かったのは「18～29歳以下」と「50歳代」で91.4%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で67.9%と、23.5ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で22.5%、最も割合が低かったのは「50歳代」で8.5%と、14.0ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で19.1%、最も割合が低かったのは「大王町」で14.1%と、5.0ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## 2. 名前を変える



「性別」では、「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせると、「男性」が67.4%、「女性」が75.5%と、8.1ポイントの差が見られた。

「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせると、「男性」が29.0%、「女性」が18.1%と、10.9ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「子や孫の意思を尊重する」で「18～29歳以下」と「50歳代」が4割を超えた。「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせて、最も割合が高かったのは「50歳代」で84.6%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で56.3%と、28.3ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で32.2%、最も割合が低かったのは「50歳代」で15.4%と、16.8ポイントの差が見られた。

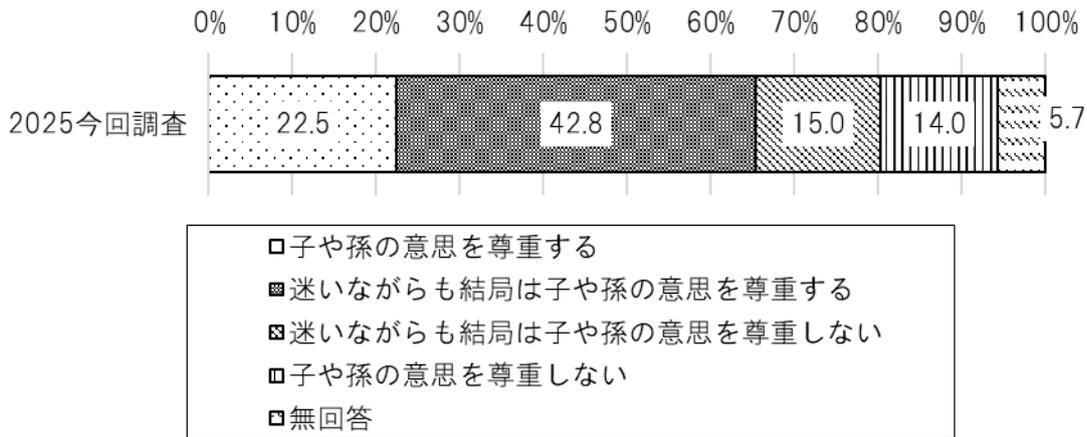
「住まい」では、「子や孫の意思を尊重する」で最も割合が高かったのは「磯部町」で34.0%、最も割合が低かったのは「阿児町」で23.8%と、10.2ポイントの差が見られた。

「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」で、最も割合が高かったのは「阿児町」で15.2%、最も割合が低かったのは「志摩町」で8.6%と、6.6ポイントの差が見られた。

「子や孫の意思を尊重しない」で、最も割合が高かったのは「志摩町」で15.5%、最も割合が低かったのは「磯部町」で8.5%と、7.0ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

### 3. 性別適合手術を受ける



「性別」では、「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」で、「男性」が 39.6%、「女性」が 45.5%と、5.9 ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせると、「男性」が 34.3%、「女性」が 25.6%と、8.7 ポイントの差が見られた。

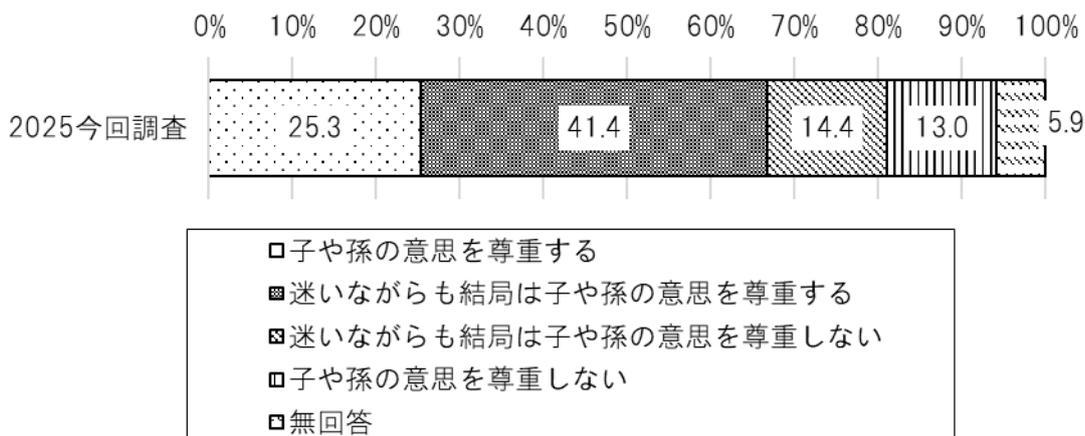
「年齢」では、「子や孫の意思を尊重する」で「18～29 歳以下」から「50 歳代」が 3 割を超えた。「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせて、最も割合が高かったのは「30 歳代」で 90.6%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 50.6%と、40.0 ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせて、最も割合が高かったのは「70 歳以上」で 38.2%、最も割合が低かったのは「30 歳代」で 9.4%と、28.8 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「子や孫の意思を尊重する」で最も割合が高かったのは「浜島町」で 28.6%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 19.0%と、9.6 ポイントの差が見られた。

「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」で、最も割合が高かったのは「志摩町」で 46.6%、最も割合が低かったのは「浜島町」で 36.5%と、10.1 ポイントの差が見られた。「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」で、最も割合が高かったのは「浜島町」で 19.0%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 11.3%と、7.7 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

#### 4. 戸籍を変更する



「性別」では、「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせると、「男性」が62.2%、「女性」が70.9%と、8.7ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせると、「男性」が34.3%、「女性」が22.5%と、11.8ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせて、最も割合が高かったのは「30歳代」で90.6%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で52.6%と、38.0ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で35.4%、最も割合が低かったのは「30歳代」で9.4%と、26.0ポイントの差が見られた。

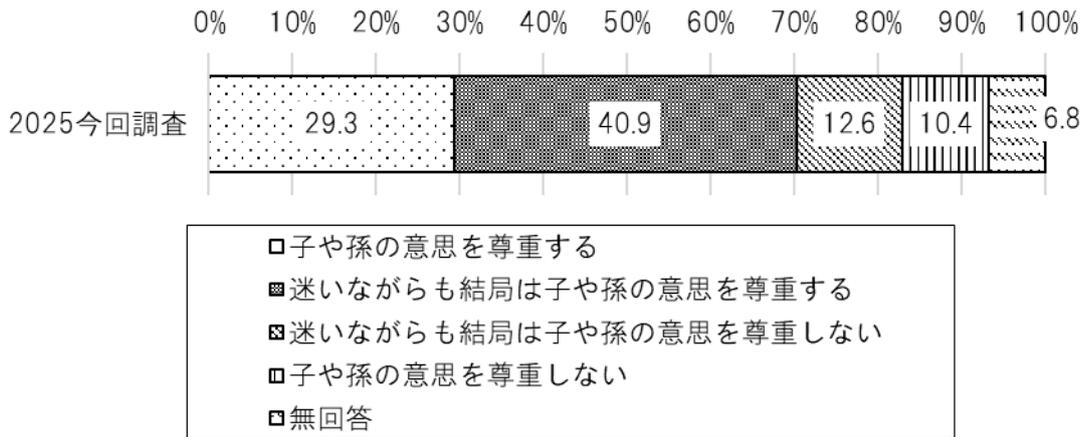
「住まい」では、「子や孫の意思を尊重する」で最も割合が高かったのは「磯部町」で29.2%、最も割合が低かったのは「志摩町」で23.3%と、5.9ポイントの差が見られた。

「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」で、最も割合が高かったのは「阿児町」で43.5%、最も割合が低かったのは「浜島町」で36.5%と、7.0ポイントの差が見られた。

「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせて、最も割合が高かったのは「浜島町」で36.5%、最も割合が低かったのは「磯部町」で24.5%と、12.0ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## 5. 社会へのカミングアウト



「性別」では、「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせると、「男性」が66.5%、「女性」が74.3%と、7.8ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせると、「男性」が29.0%、「女性」が18.5%と、10.5ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「子や孫の意思を尊重する」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」をあわせて、最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で91.4%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で53.8%と、37.6ポイントの差が見られた。「子や孫の意思を尊重しない」「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」をあわせて、最も割合が高かったのは「70歳以上」で33.0%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で5.7%と、27.3ポイントの差が見られた。

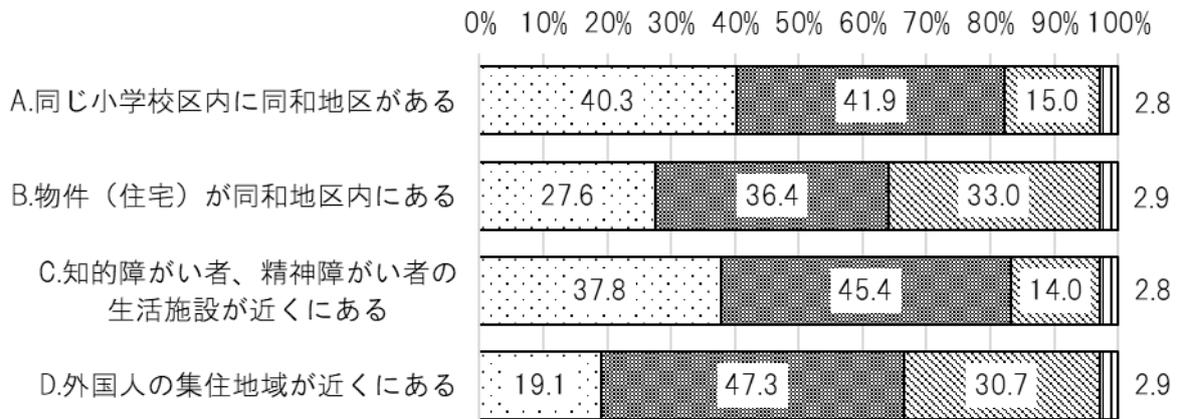
「住まい」では、「子や孫の意思を尊重する」で最も割合が高かったのは「磯部町」で34.0%、最も割合が低かったのは「浜島町」で25.4%と、8.6ポイントの差が見られた。

「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重する」で、最も割合が高かったのは「浜島町」で46.0%、最も割合が低かったのは「磯部町」で35.8%と、10.2ポイントの差が見られた。「迷いながらも結局は子や孫の意思を尊重しない」で最も割合が高かったのは「浜島町」で17.5%、最も割合が低かったのは「志摩町」で9.5%と、8.0ポイントの差が見られた。

「子や孫の意思を尊重しない」で最も割合が高かったのは「志摩町」で15.5%、最も割合が低かったのは「大王町」で7.7%と、7.8ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

問12 もし仮に、あなたが住宅を探しているとした場合に、間取り、交通の便、環境、値段など、自分の目で確かめ、気に入ったとします。その後、その家のすぐ近くに次のような条件があるとわかった場合、あなたはどうしますか。A～Dのそれぞれについて、あてはまる回答の数字に1つだけ○をつけてください。

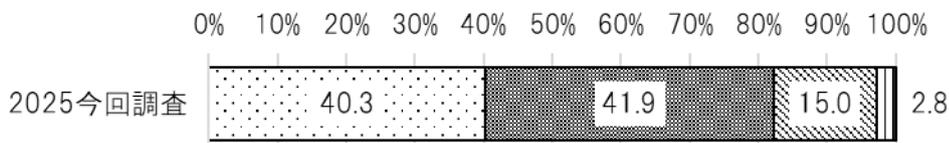


- 1. まったくこだわらないのでその家を買う（借りる）
- 2. こだわりはあるが条件がよければ買う（借りる）
- 3. どれだけ条件がよくても買わ（借り）ない
- 4. 無回答

本人が住宅を探している際、気に入った物件がA～Dの条件だった場合、「1. まったくこだわらないのでその家を買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「A. 同じ小学校区内に同和地区がある」で40.3%、2番目に高かったのは「C. 知的障がい者、精神障がい者の生活施設が近くにある」で37.8%、3番目は「B. 物件（住宅）が同和地区内にある」で27.6%となった。

「どれだけ条件がよくても買わ（借り）ない」で最も割合が高かったのは「B. 物件（住宅）が同和地区内にある」で33.0%、2番目に高かったのは「D. 外国人の集住地域が近くにある」で30.7%となった。

### A. 同じ小学校区内に同和地区がある



- 1. まったくこだわらないのでその家を買う（借りる）
- 2. こだわりはあるが条件がよければ買う（借りる）
- 3. どれだけ条件がよくても買わ（借り）ない
- 4. 無回答

「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

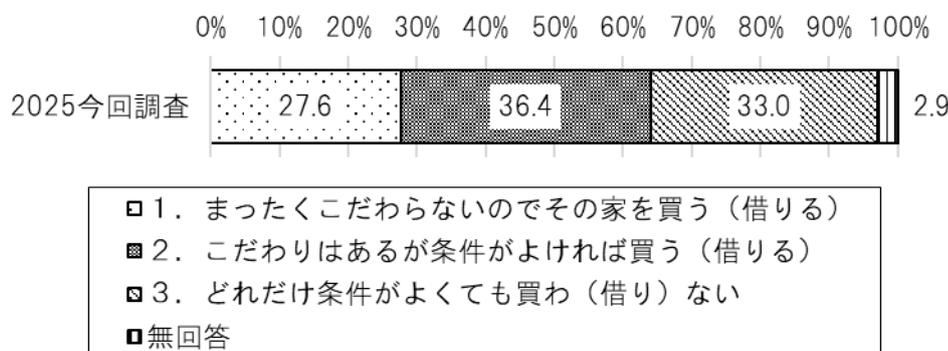
「年齢」では、「まったくこだわらないのでその家を買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で68.6%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で27.7%と、

40.9ポイントの差が見られた。「こだわりはあるが条件がよければ買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で49.0%、最も割合が低かったのは「30歳代」で18.8%と、30.2ポイントの差が見られた。「どれだけ条件がよくても買わ（借り）ない」で、最も割合が高かったのは「30歳代」で21.9%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で5.7%と、16.2ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「まったくこだわらないのでその家を買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「磯部町」で60.4%、最も割合が低かったのは「浜島町」で27.0%と、33.4ポイントの差が見られた。「こだわりはあるが条件がよければ買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「浜島町」で60.3%、最も割合が低かったのは「磯部町」で31.1%と、29.2ポイントの差が見られた。「どれだけ条件がよくても買わ（借り）ない」で、最も割合が高かったのは「阿児町」で19.7%、最も割合が低かったのは「磯部町」で6.6%と、13.1ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差は見られなかった。

## B.物件（住宅）が同和地区内にある



「性別」では、「まったくこだわらないのでその家を買う（借りる）」では、「男性」が31.1%、「女性」が25.4%と、5.7ポイントの差が見られた。「どれだけ条件がよくても買わ（借り）ない」では、「男性」が30.0%、「女性」が35.4%と、5.4ポイントの差が見られた。

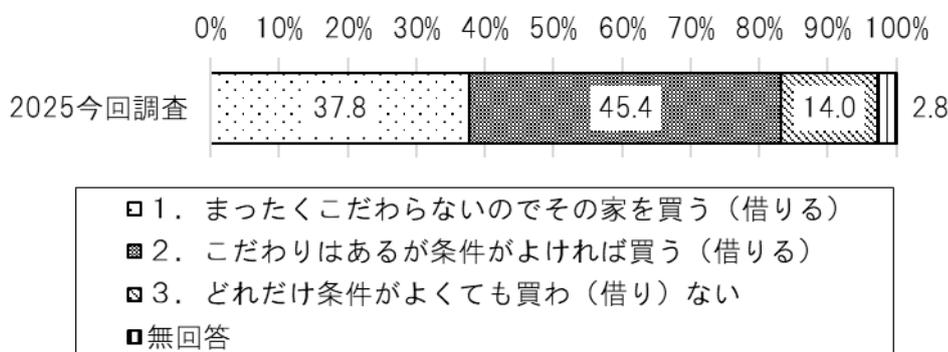
「年齢」では、「まったくこだわらないのでその家を買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で51.4%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で17.7%と、33.7ポイントの差が見られた。「こだわりはあるが条件がよければ買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「40歳代」で41.1%、最も割合が低かったのは「30歳代」で21.9%と、19.2ポイントの差が見られた。「どれだけ条件がよくても買わ（借り）ない」で、最も割合が高かったのは「70歳以上」で37.8%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で11.4%と、26.4ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「まったくこだわらないのでその家を買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「磯部町」で34.9%、最も割合が低かったのは「阿児町」で23.0%と、11.9ポイントの差が見られた。「こだわりはあるが条件がよければ買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「磯部町」で40.6%、最も割合が低かったのは「志摩町」で31.0%と、9.6ポイントの差が見られた。「どれだけ条件がよくても買わ（借り）ない」で、最も割合が高かったのは「阿児町」で38.7%、最も割合が低かったのは「磯部町」で20.8%と、17.9ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「こだわりはあるが条件がよければ買う（借りる）」で、「志摩市内」が

35.0%、「志摩市外」が42.4%と、7.4ポイントの差が見られた。

### C. 知的障がい者、精神障がい者の生活施設が近くにある



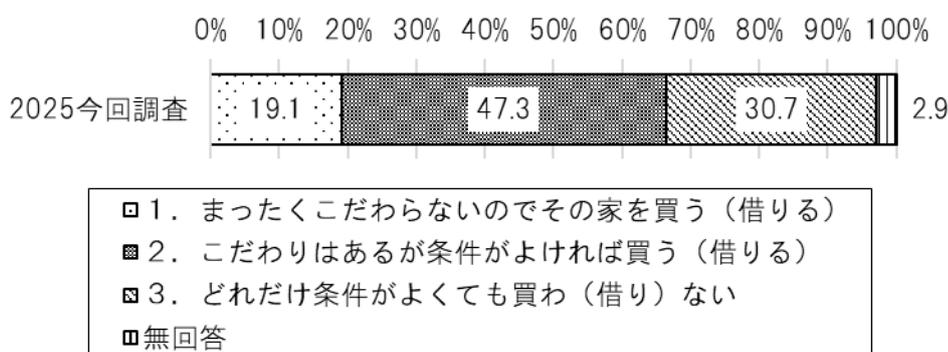
「性別」では、「まったくこだわらないのでその家を買う（借りる）」では、「男性」が42.0%、「女性」が34.9%と、7.1ポイントの差が見られた。

「年齢」では、「まったくこだわらないのでその家を買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で57.1%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で29.7%と、27.4ポイントの差が見られた。「こだわりはあるが条件がよければ買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で51.4%、最も割合が低かったのは「30歳代」で25.0%と、26.4ポイントの差が見られた。「どれだけ条件がよくても買わ（借り）ない」で、最も割合が高かったのは「30歳代」で21.9%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で5.7%と、16.2ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「まったくこだわらないのでその家を買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「志摩町」で44.0%、最も割合が低かったのは「浜島町」で30.2%と、13.8ポイントの差が見られた。「こだわりはあるが条件がよければ買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「浜島町」で60.3%、最も割合が低かったのは「志摩町」で38.8%と、21.5ポイントの差が見られた。「どれだけ条件がよくても買わ（借り）ない」で、最も割合が高かったのは「阿児町」で15.6%、最も割合が低かったのは「浜島町」で9.5%と、6.1ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「まったくこだわらないのでその家を買う（借りる）」で、「志摩市内」が39.0%、「志摩市外」が33.3%と、5.7ポイントの差が見られた。

### D. 外国人の集住地域が近くにある



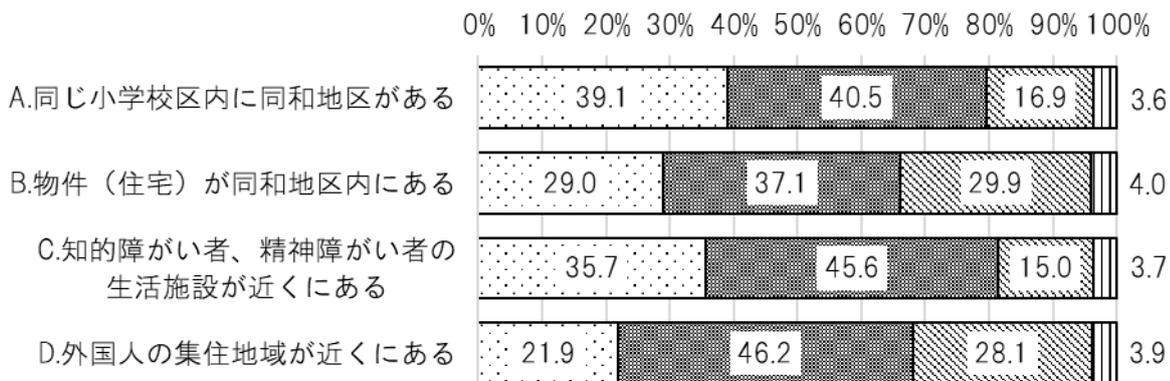
「性別」では、ほとんど差は見られなかった。

「年齢」では、「まったくこだわらないのでその家を買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「30歳代」で28.1%、最も割合が低かったのは「40歳代」で15.1%と、13.0ポイントの差が見られた。「こだわりはあるが条件がよければ買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で57.1%、最も割合が低かったのは「30歳代」で37.5%と、19.6ポイントの差が見られた。「どれだけ条件がよくても買わ（借り）ない」で、最も割合が高かったのは「50歳代」で35.9%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で20.0%と、15.9ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「まったくこだわらないのでその家を買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「磯部町」で30.2%、最も割合が低かったのは「浜島町」で9.5%と、20.7ポイントの差が見られた。「こだわりはあるが条件がよければ買う（借りる）」で最も割合が高かったのは「浜島町」で57.1%、最も割合が低かったのは「磯部町」で43.4%と、13.7ポイントの差が見られた。「どれだけ条件がよくても買わ（借り）ない」で、最も割合が高かったのは「阿児町」で34.6%、最も割合が低かったのは「磯部町」で23.6%と、11.0ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差が見られなかった。

**問13** もし仮に、あなたのお子さんやお孫さん（いない場合は、いると仮定してお答えください）が住宅を探しているとした場合に、間取り、交通の便、環境、値段などが気に入ったので、購入（賃借）しようとしているとします。その後、その家のすぐ近くに次のような条件があるとわかった場合、あなたはどうしますか。A～Dのそれぞれについて、あてはまる回答の数字に1つだけ○をつけてください。



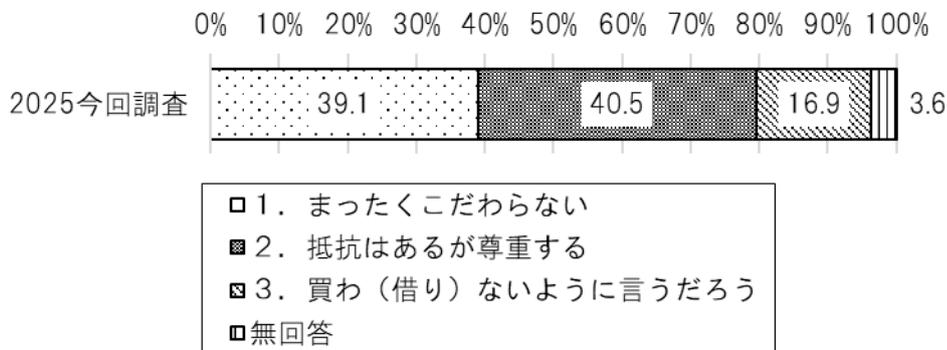
- 1. まったくこだわらない
- 2. 抵抗はあるが尊重する
- ▨ 3. 買わ（借り）ないように言うだろう
- ▩ 4. 無回答

子や孫が物件を探している際、気に入った物件がA～Dの場合、「1. まったくこだわらない」で最も割合が高かったのは「A. 同じ小学校区内に同和地区がある」で39.1%、2番目に高かったのは「C. 知的障がい者、精神障がい者の生活施設が近くにある」で35.7%、3番目は「B. 物件（住宅）が同和地区内にある」で29.0%となった。

「3. 買わ（借り）ないように言うだろう」で最も割合が高かったのは「B. 物件（住宅）が同和地区内にある」で29.9%、2番目に高かったのは「D. 外国人の集住地域が近くに

ある」で28.1%となった。

### A.同じ小学校区内に同和地区がある



「性別」では、ほとんど差が見られなかった。

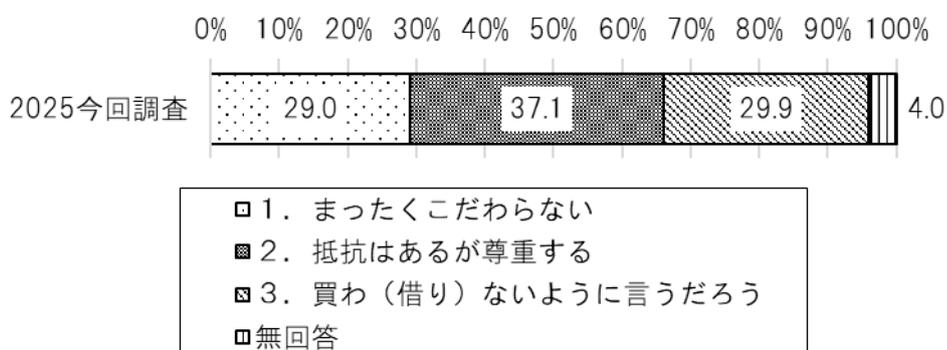
「年齢」では、「まったくこだわらない」で、最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で77.1%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で27.3%と、49.8ポイントの差が見られた。「抵抗はあるが尊重する」で、最も割合が高かったのは「70歳以上」で45.8%、最も割合が低かったのは「30歳代」で18.8%と、27.0ポイントの差が見られた。「買わ（借り）ないように言うだろう」で、最も割合が高かったのは「30歳代」で21.9%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で0.0%と、21.9ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「まったくこだわらない」で、最も割合が高かったのは「磯部町」で55.7%、最も割合が低かったのは「浜島町」で30.2%と、25.5ポイントの差が見られた。

「抵抗はあるが尊重する」で、最も割合が高かったのは「浜島町」で54.0%、最も割合が低かったのは「磯部町」で29.2%と、24.8ポイントの差が見られた。「買わ（借り）ないように言うだろう」で、最も割合が高かったのは「阿児町」で20.8%、最も割合が低かったのは「磯部町」で8.5%と、12.3ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差が見られなかった。

### B.物件（住宅）が同和地区内にある



「性別」では、ほとんど差が見られなかった。

「年齢」では、「まったくこだわらない」で、最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で60.0%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で18.9%と、41.1ポイントの差が見られた。「抵抗はあるが尊重する」で、最も割合が高かったのは「40歳代」で39.7%、最も

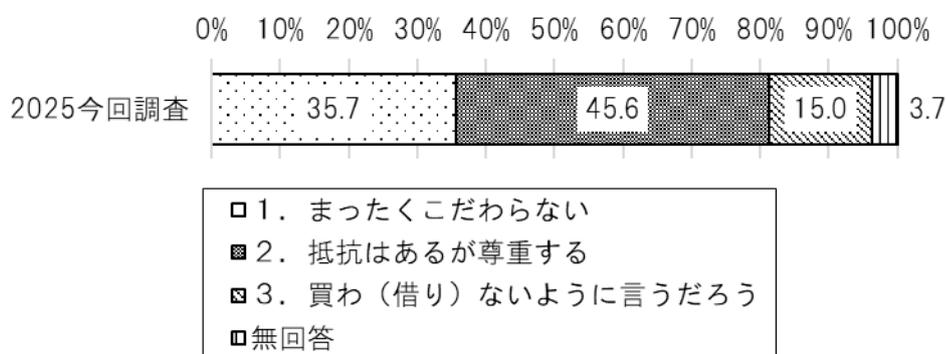
割合が低かったのは「30歳代」で25.0%と、14.7ポイントの差が見られた。「買わ（借り）ないように言うだろう」で、最も割合が高かったのは「70歳以上」で34.5%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で8.6%と、25.9ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「まったくこだわらない」で、最も割合が高かったのは「磯部町」で34.0%、最も割合が低かったのは「浜島町」で25.4%と、8.6ポイントの差が見られた。

「抵抗はあるが尊重する」で、最も割合が高かったのは「浜島町」で39.7%、最も割合が低かったのは「志摩町」で32.8%と、6.9ポイントの差が見られた。「買わ（借り）ないように言うだろう」で、最も割合が高かったのは「浜島町」で33.3%、最も割合が低かったのは「磯部町」で21.7%と、11.6ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差が見られなかった。

### C.知的障がい者、精神障がい者の生活施設が近くにある



「性別」では、「まったくこだわらない」で「男性」が39.2%、「女性」が33.6%と、5.6ポイントの差が見られた。

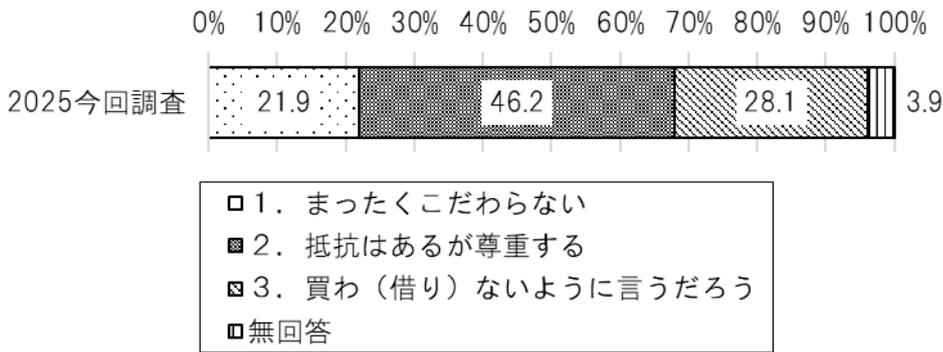
「年齢」では、「まったくこだわらない」で、最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で57.1%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で28.1%と、29.0ポイントの差が見られた。「抵抗はあるが尊重する」で、最も割合が高かったのは「70歳以上」で50.6%、最も割合が低かったのは「30歳代」で25.0%と、25.6ポイントの差が見られた。「買わ（借り）ないように言うだろう」で、最も割合が高かったのは「40歳代」で20.5%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で0.0%と、20.5ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「まったくこだわらない」で、最も割合が高かったのは「磯部町」で45.3%、最も割合が低かったのは「浜島町」で30.2%と、15.1ポイントの差が見られた。

「抵抗はあるが尊重する」で、最も割合が高かったのは「浜島町」で57.1%、最も割合が低かったのは「磯部町」で35.8%と、21.3ポイントの差が見られた。「買わ（借り）ないように言うだろう」で、最も割合が高かったのは「阿児町」で17.8%、最も割合が低かったのは「磯部町」で11.3%と、6.5ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差が見られなかった。

## D.外国人の集住地域が近くにある



「性別」では、ほとんど差が見られなかった。

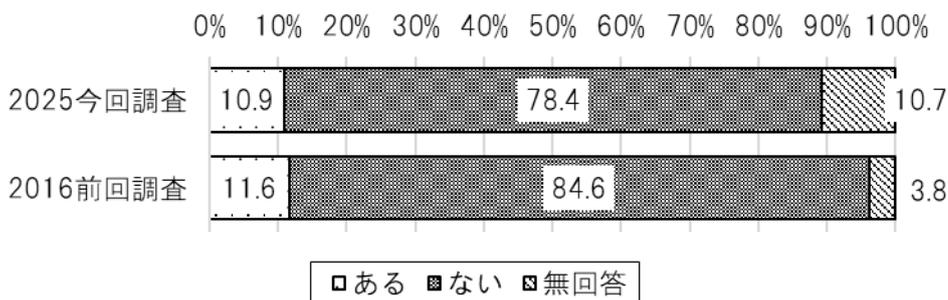
「年齢」では、「まったくこだわらない」で、最も割合が高かったのは「30歳代」で34.4%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で18.5%と、15.9ポイントの差が見られた。「抵抗はあるが尊重する」で、最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で51.4%、最も割合が低かったのは「30歳代」で34.4%と、17.0ポイントの差が見られた。「買わ(借り)ないように言うだろう」で、最も割合が高かったのは「50歳代」で31.6%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で22.9%と、8.7ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「まったくこだわらない」で、最も割合が高かったのは「磯部町」で33.0%、最も割合が低かったのは「浜島町」で14.3%と、18.7ポイントの差が見られた。

「抵抗はあるが尊重する」で、最も割合が高かったのは「浜島町」で57.1%、最も割合が低かったのは「磯部町」で40.6%と、16.5ポイントの差が見られた。「買わ(借り)ないように言うだろう」で、最も割合が高かったのは「阿児町」で32.3%、最も割合が低かったのは「磯部町」で17.9%と、14.4ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差が見られなかった。

**問14-1 あなたは過去5年間で自己的人権が侵害されたと感じたことがありますか。1つだけ○をつけてください。(問14-2の人権侵害の内容を参考にしてください)**



過去5年間で、自己的人権が侵害されたことが「ある」の割合が10.9%、「ない」が78.4%となっており、前回調査と類似した結果となっている。

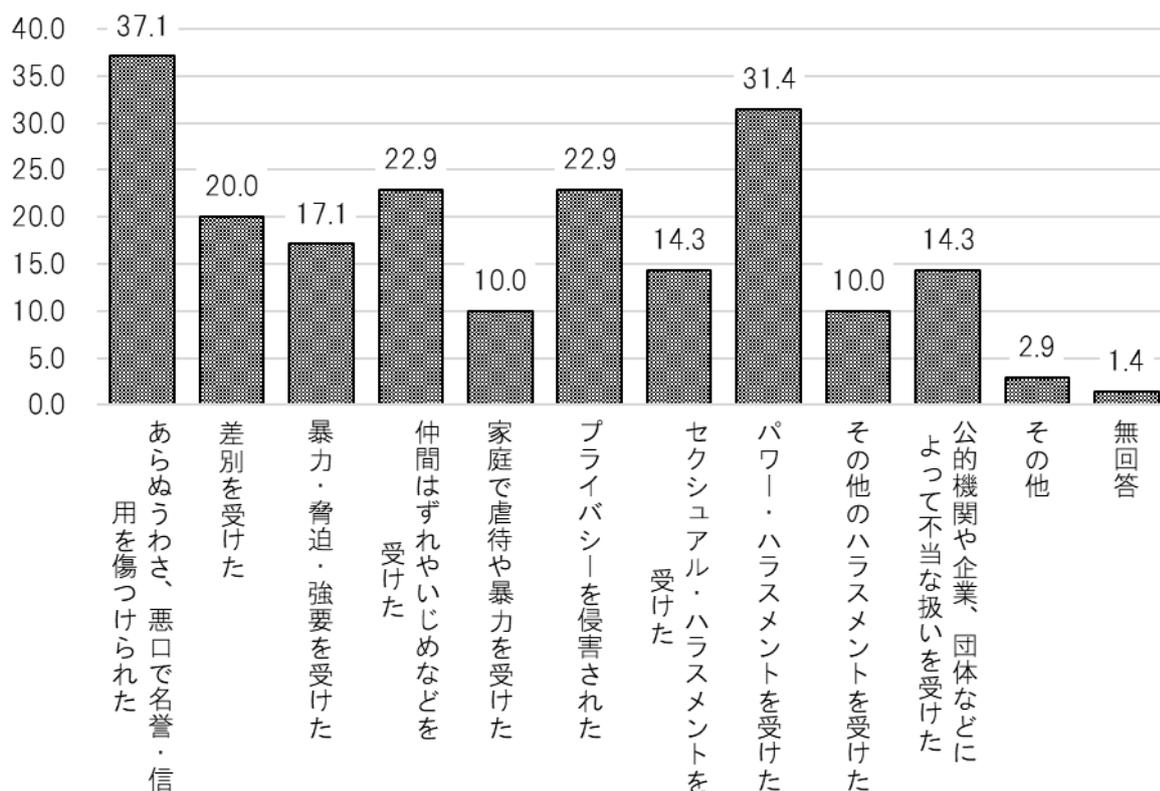
「性別」では、ほとんど差が見られなかった。

「年齢」では、「ある」で最も割合が高かったのは「50歳代」で19.7%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で6.4%と、13.3ポイントの差が見られた。「ない」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で85.7%、最も割合が低かったのは「50歳代」で74.4%と、11.3ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「ある」で最も割合が高かったのは「阿児町」で 13.4%、最も割合が低かったのは「浜島町」で 6.3%と、7.1 ポイントの差が見られた。「ない」で最も割合が高かったのは「志摩町」で 82.8%、最も割合が低かったのは「浜島町」で 76.2%と、6.6 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差が見られなかった。

問14-2 問14-1で「1. ある」と回答された方にお聞きします。それはどのような人権侵害でしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



人権侵害を受けた内容について、最も割合が高かったのは「あらかぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた」で 37.1%、2 番目に高かったのは「パワー・ハラスメントを受けた」で 31.4%、3 番目は「仲間はずれやいじめなどをを受けた」「プライバシーを侵害された」で 22.9%、次いで「差別を受けた」で 20.0%、次いで「暴力・脅迫・強要を受けた」で 17.1%となった。

「性別」では、「男性」で最も割合が高かったのは「あらかぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた」で 50.0%、2 番目に高かったのは「パワー・ハラスメントを受けた」で 29.2%となった。「女性」で最も割合が高かったのは「あらかぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた」「パワー・ハラスメントを受けた」で 32.6%、2 番目に高かったのは「仲間はずれやいじめなどをを受けた」で 30.2%となった。

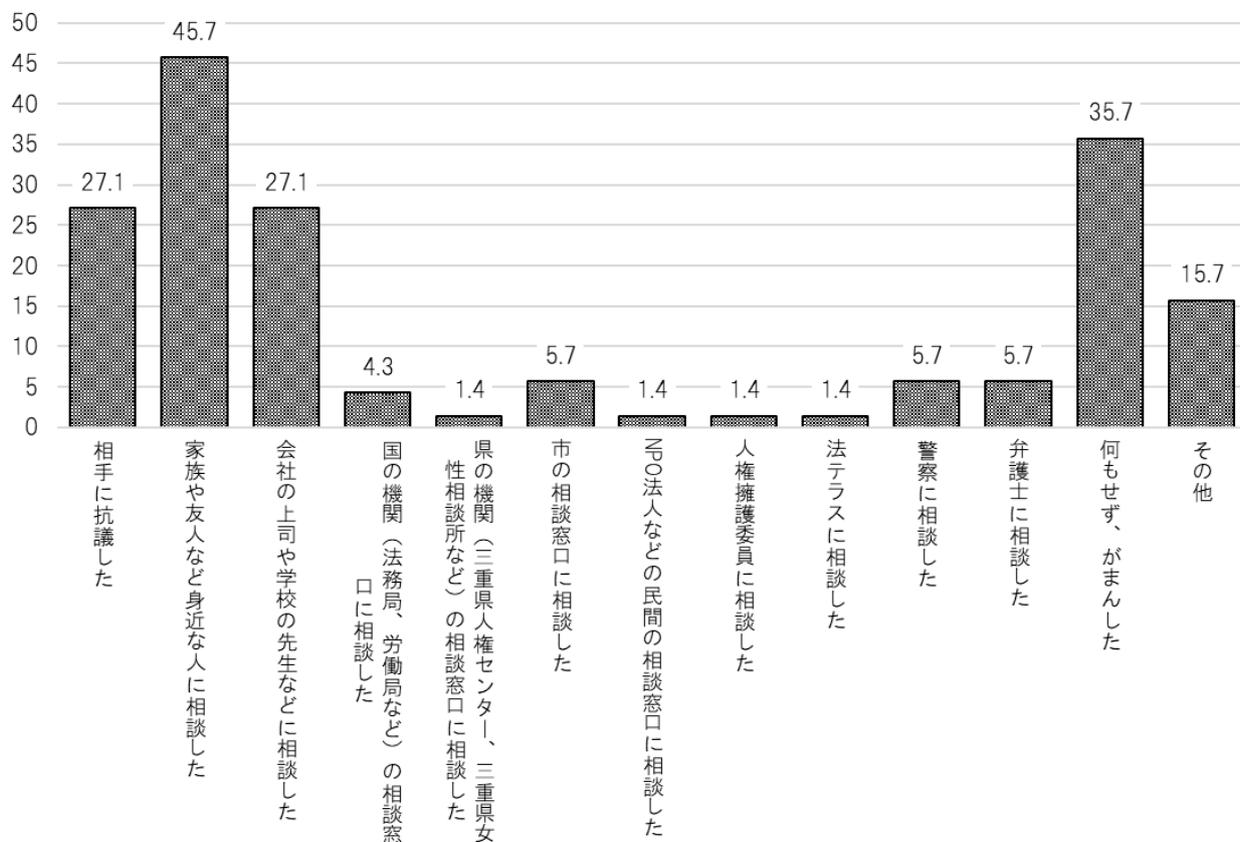
「年齢」では、「18～29 歳以下」で最も割合が高かったのは「パワー・ハラスメントを受けた」で 66.7%、2 番目に高かったのは「セクシュアル・ハラスメントを受けた」で 33.3%となった。「30 歳代」で最も割合が高かったのは「パワー・ハラスメントを受けた」で 100.0%、2 番目に高かったのは「セクシュアル・ハラスメントを受けた」で 75.0%となった。「40 歳代」で最も割合が高かったのは「あらかぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた」「差

別を受けた」「パワー・ハラスメントを受けた」で 44.4%、2 番目に高かったのは「仲間はずれやいじめなどを受けた」「セクシュアル・ハラスメントを受けた」で 33.3%となった。「50 歳代」で最も割合が高かったのは「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた」で 52.2%、2 番目に高かったのは「パワー・ハラスメントを受けた」で 39.1%となった。「60 歳代」で最も割合が高かったのは「プライバシーを侵害された」「公的機関や企業、団体などによって不当な扱いを受けた」で 33.3%、2 番目に高かったのは「仲間はずれやいじめなどを受けた」で 25.0%となった。「70 歳以上」で最も割合が高かったのは「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた」で 43.8%、2 番目に高かったのは「公的機関や企業、団体などによって不当な扱いを受けた」で 25.0%となった。

「住まい」では、「浜島町」で最も割合が高かったのは「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた」で 50.0%、2 番目に高かったのは「差別を受けた」「セクシュアル・ハラスメントを受けた」「その他のハラスメントを受けた」「公的機関や企業、団体などによって不当な扱いを受けた」で 25.0%となった。「大王町」で最も割合が高かったのは「パワー・ハラスメントを受けた」で 50.0%、2 番目に高かったのは「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた」から「セクシュアル・ハラスメントを受けた」で 25.0%となった。「志摩町」で最も割合が高かったのは「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた」で 77.8%、2 番目に高かったのは「公的機関や企業、団体などによって不当な扱いを受けた」で 33.3%となった。「阿児町」で最も割合が高かったのは「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた」で 36.1%、2 番目に高かったのは「パワー・ハラスメントを受けた」で 33.3%となった。「磯部町」で最も割合が高かったのは「差別を受けた」「暴力・脅迫・強要を受けた」「パワー・ハラスメントを受けた」で 44.4%、2 番目に高かったのは「仲間はずれやいじめなどを受けた」「プライバシーを侵害された」で 33.3%となった。

「学生期」では、「志摩市内」で最も割合が高かったのは「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた」で 33.9%、2 番目に高かったのは「パワー・ハラスメントを受けた」で 30.4%となった。「志摩市外」で最も割合が高かったのは「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた」で 60.0%、2 番目に高かったのは「仲間はずれやいじめなどを受けた」「プライバシーを侵害された」「パワー・ハラスメントを受けた」で 30.0%となった。

問14-3 問14-1で「1. ある」と回答された方にお聞きします。人権侵害を受けた時、あなたはどのような対応をしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



人権侵害を受けた際の対応について、最も割合が高かったのは「家族や友人など身近な人に相談した」で45.7%、2番目に高かったのは「何もせず、がまんした」で35.7%、3番目は「相手に抗議した」「会社の上司や学校の先生などに相談した」で27.1%、次いで「その他」で15.7%となった。

「市の相談窓口」は「警察に相談した」「弁護士に相談した」と同様に5.7%となった。

「性別」では、「男性」で最も割合が高かったのは「何もせず、がまんした」で58.3%、2番目に高かったのは「相手に抗議した」「家族や友人など身近な人に相談した」で33.3%、3番目は「会社の上司や学校の先生などに相談した」で20.8%となった。「女性」で最も割合が高かったのは「家族や友人など身近な人に相談した」で51.2%、2番目に高かったのは「会社の上司や学校の先生などに相談した」で30.2%、3番目は「相手に抗議した」「何もせず、がまんした」で25.6%となった。

「年齢」では、「18～29歳以下」で最も割合が高かったのは「家族や友人など身近な人に相談した」で66.7%、2番目に高かったのは「相手に抗議した」「警察に相談した」「なにもせず、がまんした」で33.3%となった。「30歳代」で最も割合が高かったのは「家族や友人など身近な人に相談した」「何もせず、がまんした」で75.0%、2番目に高かったのは「相手に抗議した」「会社の上司や学校の先生などに相談した」で25.0%となった。「40歳代」で最も割合が高かったのは「会社の上司や学校の先生などに相談した」で77.8%、2番目に高かったのは「家族や友人など身近な人に相談した」で66.7%となった。「50歳

代」で最も割合が高かったのは「家族や友人など身近な人に相談した」で52.2%、2番目に高かったのは「何もせず、がまんした」で34.8%となった。「60歳代」で最も割合が高かったのは「何もせず、がまんした」で41.7%、2番目に高かったのは「家族や友人など身近な人に相談した」で33.3%となった。「70歳以上」で最も割合が高かったのは「何もせず、がまんした」で43.8%、2番目に高かったのは「相手に抗議した」で31.3%となった。

「住まい」では、「浜島町」で最も割合が高かったのは「何もせず、がまんした」で50.0%、2番目に高かったのは「相手に抗議した」「家族や友人など身近な人に相談した」で25.0%となった。「大王町」で最も割合が高かったのは「家族や友人など身近な人に相談した」で62.5%、2番目に高かったのは「相手に抗議した」で50.0%となった。「志摩町」で最も割合が高かったのは「その他」で55.6%、2番目に高かったのは「相手に抗議した」で44.4%となった。「阿児町」で最も割合が高かったのは「家族や友人など身近な人に相談した」で47.2%、2番目に高かったのは「何もせず、がまんした」で38.9%となった。「磯部町」で最も割合が高かったのは「相手に抗議した」で44.4%、2番目に高かったのは「何もせず、がまんした」で33.3%となった。

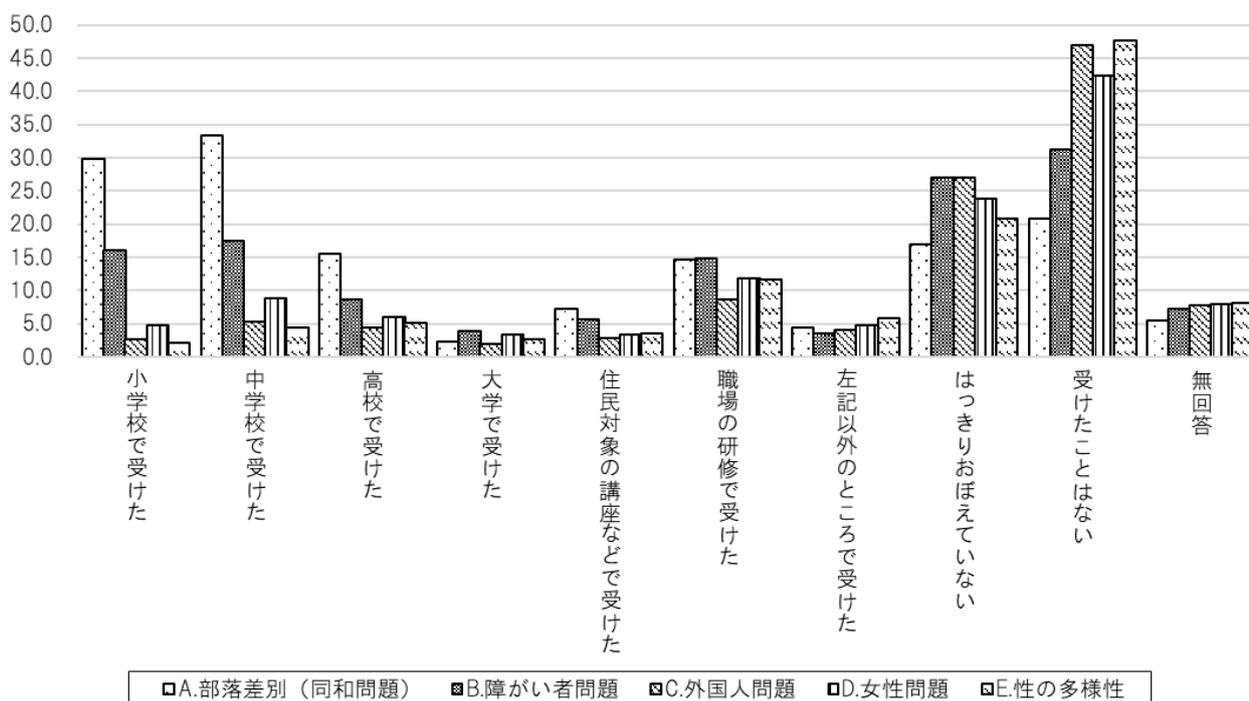
「学生期」では、「志摩市内」で最も割合が高かったのは「家族や友人など身近な人に相談した」で44.6%、2番目に高かったのは「何もせず、がまんした」で42.9%、3番目は「相手に抗議した」で28.6%となった。「志摩市外」で最も割合が高かったのは「会社の上司や学校の先生などに相談した」で60.0%、2番目に高かったのは「家族や友人など身近な人に相談した」で50.0%、3番目は「相手に抗議した」「市の相談窓口相談した」「警察に相談した」「弁護士に相談した」で20.0%となった。

**問14-4 問14-3で「12. 何もせず、がまんした」と回答された方と、「6. 市の相談窓口相談した」に回答されなかった方にお聞きします。「何もせず、がまんした」理由や「市の相談窓口相談されなかった」理由について、下記の枠内にお書きください。**

ここでは、自由回答の内容をカテゴリーに分けて紹介する。

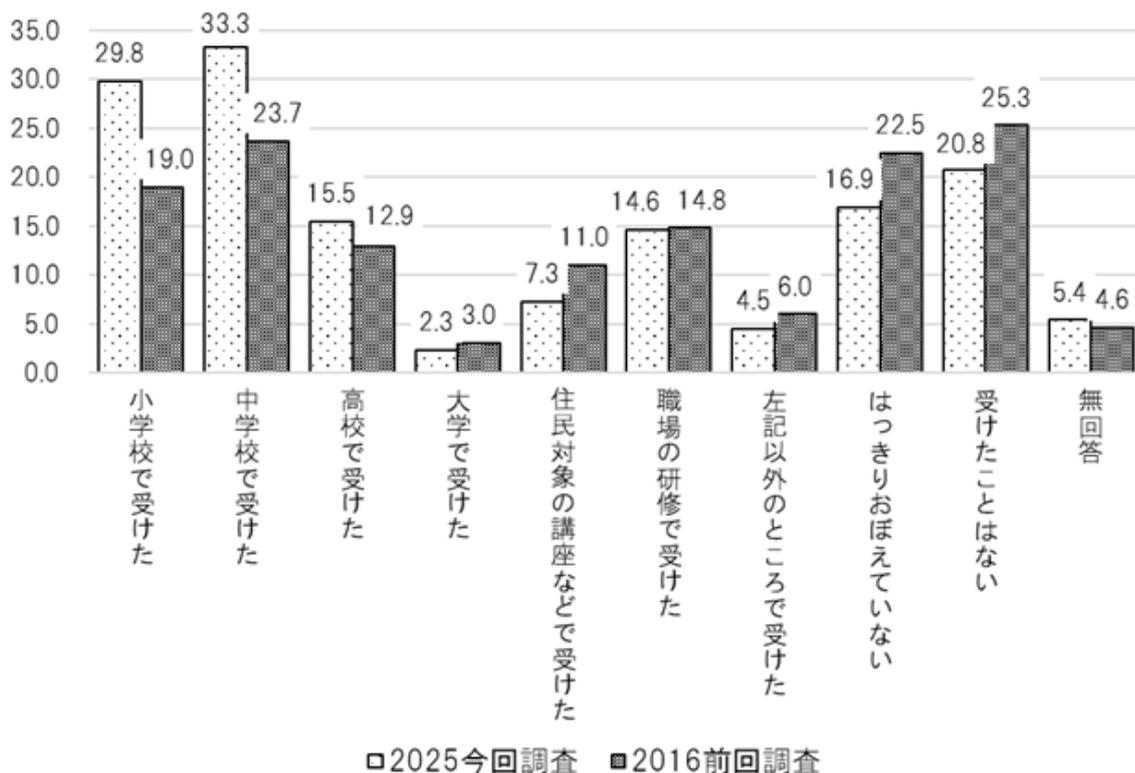
1. 相談することで何かが変わると思えない
2. 相談しようと思う気力がない
3. 相談することで事案が長期化することを避けたい
4. 相談することで働きにくくなるなど、不利益が生じる可能性がある
5. 相談窓口を知らなかった
6. 我慢すれば済む
7. 加害行為に及んだ相手が変わらないと意味がない
8. 相手にしない
9. 相手が家族だったから
10. 関係者の態度が冷たかった

問15 あなたは、学校や職場、地域で、次の内容の学習を受けたことがありますか。A～Eのそれぞれについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。



学習経験について、「小学校で受けた」で最も割合が低かったのは「E. 性の多様性」で2.2%、最も割合が高かったのは「A. 部落差別 (同和問題)」で29.8%となった。「中学校で受けた」で最も割合が低かったのは「E. 性の多様性」で4.5%、最も割合が高かったのは「A. 部落差別 (同和問題)」で33.3%となった。「高校で受けた」で最も割合が低かったのは「C. 外国人問題」で4.5%、最も割合が高かったのは「A. 部落差別 (同和問題)」で15.5%となった。「大学で受けた」で最も割合が低かったのは「C. 外国人問題」で1.9%、最も割合が高かったのは「B. 障がい者問題」で3.9%となった。「住民対象の講座などで受けた」で最も割合が低かったのは「C. 外国人問題」で2.8%、最も割合が高かったのは「A. 部落差別 (同和問題)」で7.3%となった。「職場の研修で受けた」で最も割合が低かったのは「C. 外国人問題」で8.7%、最も割合が高かったのは「B. 障がい者問題」で14.9%となった。「左記以外のところで受けた」で最も割合が低かったのは「B. 障がい者問題」で3.6%、最も割合が高かったのは「E. 性の多様性」で5.9%となった。「はっきりとおぼえていない」で最も割合が低かったのは「A. 部落差別 (同和問題)」で16.9%、最も割合が高かったのは「B. 障がい者問題」「C. 外国人問題」で27.0%となった。「受けたことはない」で最も割合が低かったのは「A. 部落差別 (同和問題)」で20.8%、最も割合が高かったのは「E. 性の多様性」で47.6%となった。

## A. 部落差別（同和問題）



前回調査との比較では、「小学校で受けた」が 10.8 ポイント、「中学校で受けた」が 9.6 ポイント増えた。「はっきりおぼえていない」が 5.6 ポイント減った。

「性別」では、「小学校で受けた」で「男性」が 25.4%、「女性」が 34.3%と、8.9 ポイントの差が見られた。「中学校で受けた」で「男性」が 28.6%、「女性」が 38.0%と 9.4 ポイントの差が見られた。

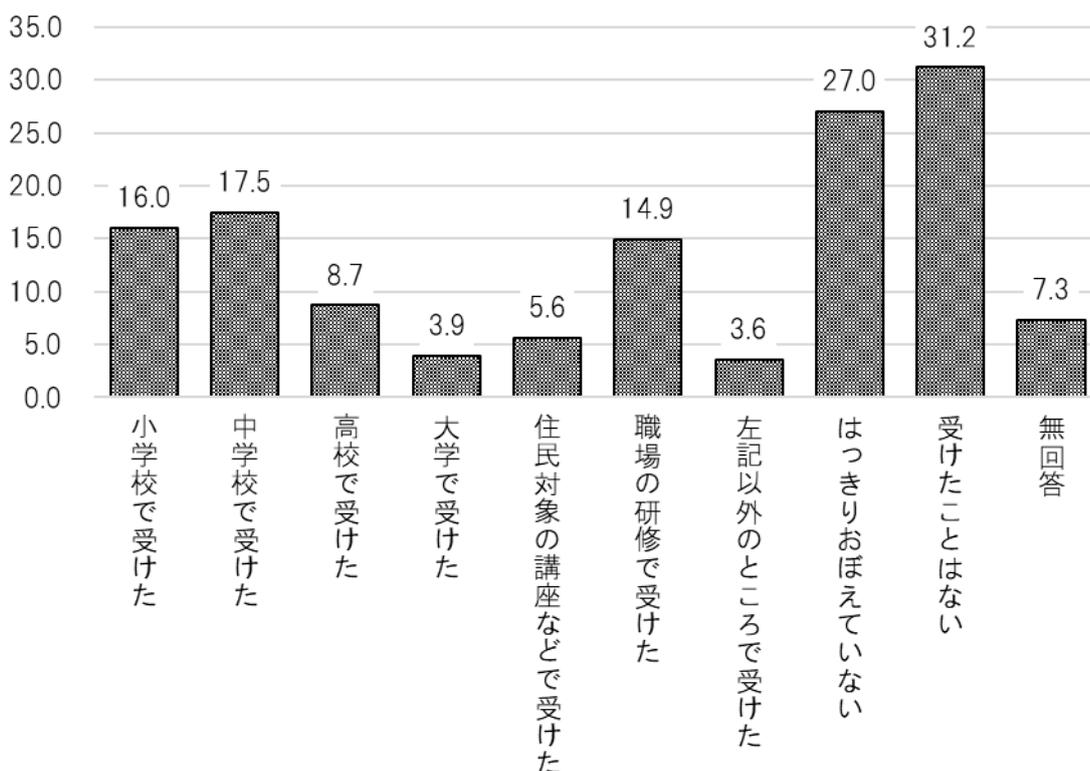
「年齢」では、「小学校で受けた」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 74.3%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 7.2%と、67.1 ポイントの差が見られた。「中学校で受けた」で最も割合が高かったのは「30 歳代」で 68.8%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 12.0%と、56.8 ポイントの差が見られた。「高校で受けた」で最も割合が高かったのは「40 歳代」「50 歳代」で 27.4%、最も割合が低かったのは「30 歳代」で 6.3%と、21.1 ポイントの差が見られた。「住民対象の講座などで受けた」で最も割合が高かったのは「50 歳代」で 12.0%、最も割合が低かったのは「18～29 歳以下」で 0.0%と、12.0 ポイントの差が見られた。「職場の研修で受けた」で最も割合が高かったのは「30 歳代」で 21.9%、最も割合が低かったのは「18～29 歳以下」で 8.6%と、13.3 ポイントの差が見られた。「左記以外のところで受けた」で最も割合が高かったのは「60 歳代」で 6.3%、最も割合が低かったのは「18～29 歳以下」で 0.0%と、6.3 ポイントの差が見られた。「はっきりおぼえていない」で最も割合が高かったのは「60 歳代」で 26.0%、最も割合が低かったのは「18～29 歳以下」で 5.7%と、20.3 ポイントの差が見られた。「受けたことはない」で最も割合が高かったのは「70 歳以上」で 36.5%、最も割合が低かったのは「40 歳代」で 4.1%と、32.4 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「小学校で受けた」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 37.7%、最も割合が低かったのは「浜島町」で 15.9%と、21.8 ポイントの差が見られた。「中学校で受けた」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 43.4%、最も割合が低かったのは「浜島町」で 22.2%と、21.2 ポイントの差が見られた。「高校で受けた」で最も割合が高かつ

たのは「磯部町」で 17.9%、最も割合が低かったのは「大王町」で 9.0%と、8.9 ポイントの差が見られた。「住民対象の講座などで受けた」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 15.1%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 3.4%と、11.7 ポイントの差が見られた。「職場の研修で受けた」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 17.9%、最も割合が低かったのは「志摩町」で 8.6%と、9.3 ポイントの差が見られた。「はっきりおぼえていない」で最も割合が高かったのは「浜島町」で 27.0%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 12.3%と、14.7 ポイントの差が見られた。「受けたことはない」で最も割合が高かったのは「大王町」で 26.9%、最も割合が低かったのは「志摩町」「磯部町」で 19.8%と、7.1 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「小学校で受けた」で「志摩市内」が 32.2%、「志摩市外」が 22.7%と、9.5 ポイントの差が見られた。「中学校で受けた」で「志摩市内」が 36.8%、「志摩市外」が 21.2%と、15.6 ポイントの差が見られた。「高校で受けた」で「志摩市内」が 2.6%、「志摩市外」が 9.8%と、7.2 ポイントの差が見られた。

## B.障がい者問題



「性別」では、「中学校で受けた」で「男性」が 14.5%、「女性」が 20.5%と 6.0 ポイントの差が見られた。

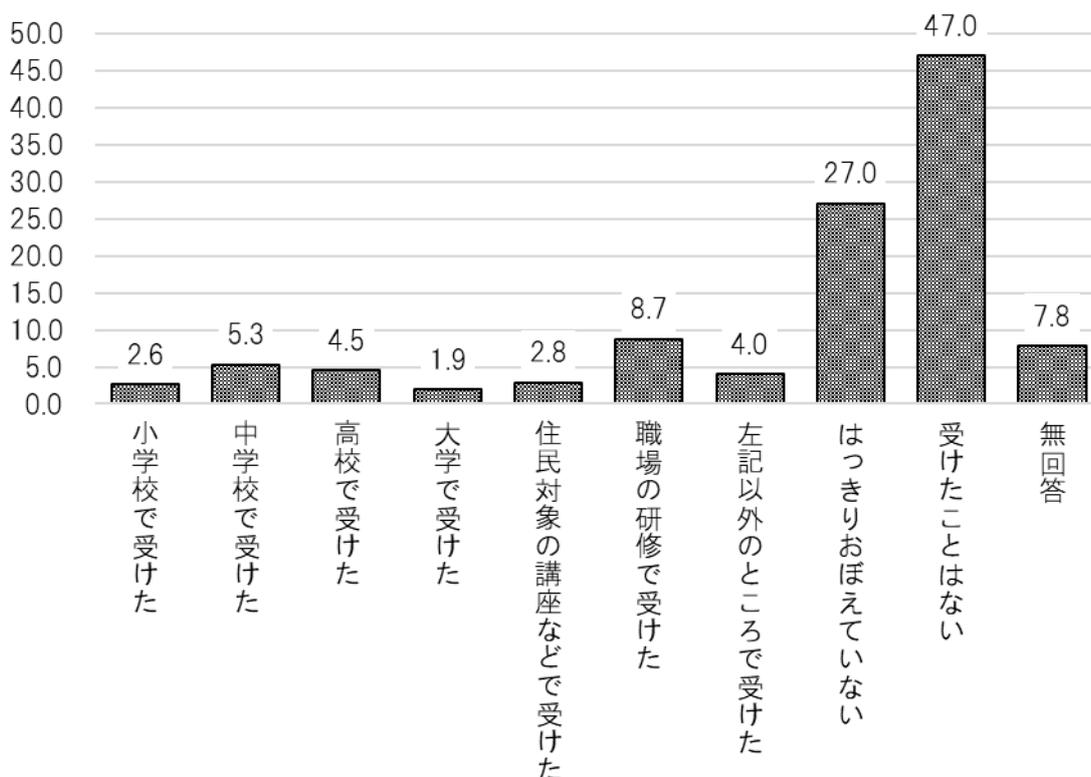
「年齢」では、「小学校で受けた」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 57.1%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 4.0%と、53.1 ポイントの差が見られた。「中学校で受けた」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 57.1%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 6.4%と、50.7 ポイントの差が見られた。「高校で受けた」で最も割合が高かったのは「40 歳代」で 23.3%、最も割合が低かったのは「70 歳以上」で 3.2%と、20.1 ポイントの差が見られた。「大学で受けた」で最も割合が高かったのは「30 歳代」で 15.6%、最も割合が低かったのは「60 歳代」で 0.8%と、14.8 ポイントの差が見られた。

「住民対象の講座などで受けた」で最も割合が高かったのは「50歳代」で11.1%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で0.0%と、11.1ポイントの差が見られた。「職場の研修で受けた」で最も割合が高かったのは「30歳代」で25.0%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で2.9%と、22.1ポイントの差が見られた。「はっきりおぼえていない」で最も割合が高かったのは「30歳代」で43.8%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で20.1%と、23.7ポイントの差が見られた。「受けたことはない」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で46.2%、最も割合が低かったのは「30歳代」で9.4%と、36.8ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「小学校で受けた」で最も割合が高かったのは「磯部町」で20.8%、最も割合が低かったのは「浜島町」で6.3%と、14.5ポイントの差が見られた。「中学校で受けた」で最も割合が高かったのは「磯部町」で23.6%、最も割合が低かったのは「浜島町」で11.1%と、12.5ポイントの差が見られた。「職場の研修で受けた」で最も割合が高かったのは「磯部町」で19.8%、最も割合が低かったのは「志摩町」で8.6%と、11.2ポイントの差が見られた。「左記以外のところで受けた」で最も割合が高かったのは「磯部町」で8.5%、最も割合が低かったのは「大王町」で0.0%と、8.5ポイントの差が見られた。「受けたことはない」で最も割合が高かったのは「浜島町」で36.5%、最も割合が低かったのは「阿児町」で29.4%と、7.1ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差が見られなかった。

### C. 外国人問題



「性別」では、ほとんど差が見られなかった。

「年齢」では、「小学校で受けた」で最も割合が高かったのは「30歳代」で9.4%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で0.8%と、8.6ポイントの差が見られた。「中学校で受けた」で最も割合が高かったのは「30歳代」で15.6%、最も割合が低かったのは「60歳

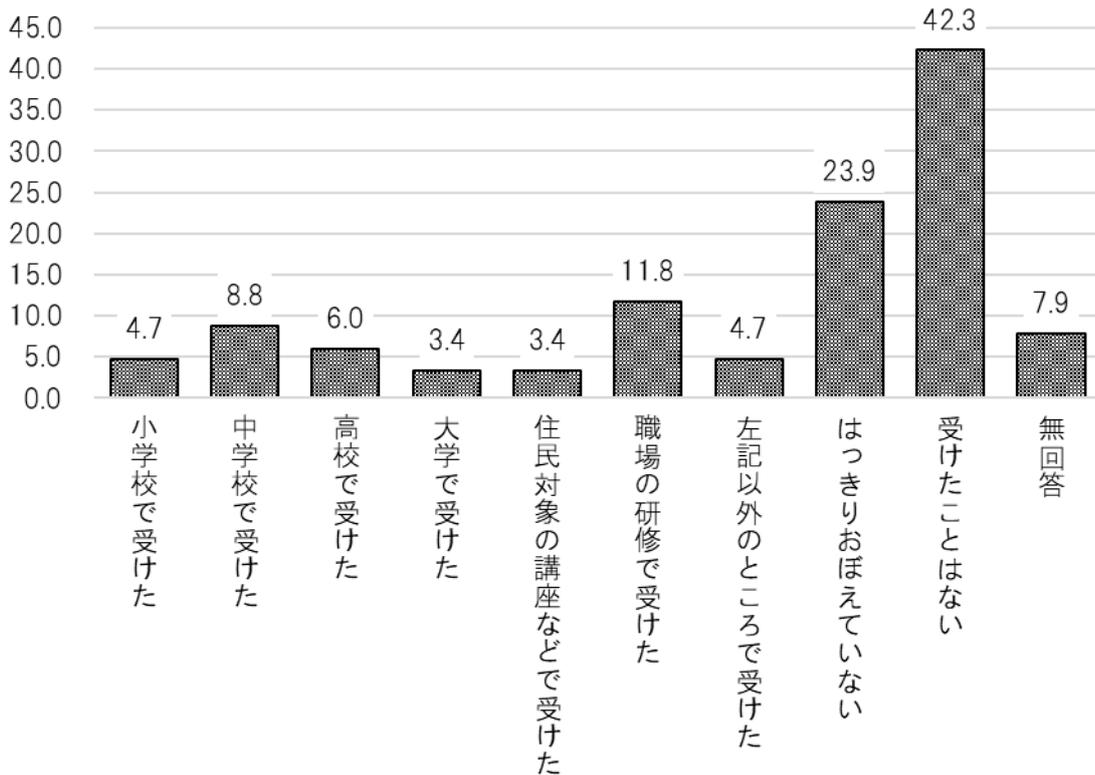
代」で2.4%と、13.2ポイントの差が見られた。「高校で受けた」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で14.3%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で2.0%と、12.3ポイントの差が見られた。「大学で受けた」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で8.6%、最も割合が低かったのは「60歳代」で0.0%と、8.6ポイントの差が見られた。

「住民対象の講座などで受けた」で最も割合が高かったのは「50歳代」で6.0%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で0.0%と、6.0ポイントの差が見られた。「職場の研修で受けた」で最も割合が高かったのは「50歳代」で17.9%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で2.9%と、15.0ポイントの差が見られた。「はっきりおぼえていない」で最も割合が高かったのは「30歳代」で43.8%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で20.1%と、23.7ポイントの差が見られた。「受けたことはない」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で55.8%、最も割合が低かったのは「30歳代」で28.1%と、27.7ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「中学校で受けた」で最も割合が高かったのは「磯部町」で10.4%、最も割合が低かったのは「志摩町」で1.7%と、8.7ポイントの差が見られた。「高校で受けた」で最も割合が高かったのは「浜島町」で7.9%、最も割合が低かったのは「大王町」で2.6%と、5.3ポイントの差が見られた。「職場の研修で受けた」で最も割合が高かったのは「浜島町」で12.7%、最も割合が低かったのは「志摩町」で2.6%と、10.1ポイントの差が見られた。「左記以外のところで受けた」で最も割合が高かったのは「磯部町」で8.5%、最も割合が低かったのは「大王町」で1.3%と、7.2ポイントの差が見られた。「はっきりおぼえていない」で最も割合が高かったのは「志摩町」で30.2%、最も割合が低かったのは「磯部町」で22.6%と、7.6ポイントの差が見られた。「受けたことはない」で最も割合が高かったのは「志摩町」で52.6%、最も割合が低かったのは「磯部町」で42.5%と、10.1ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差が見られなかった。

## D.女性問題



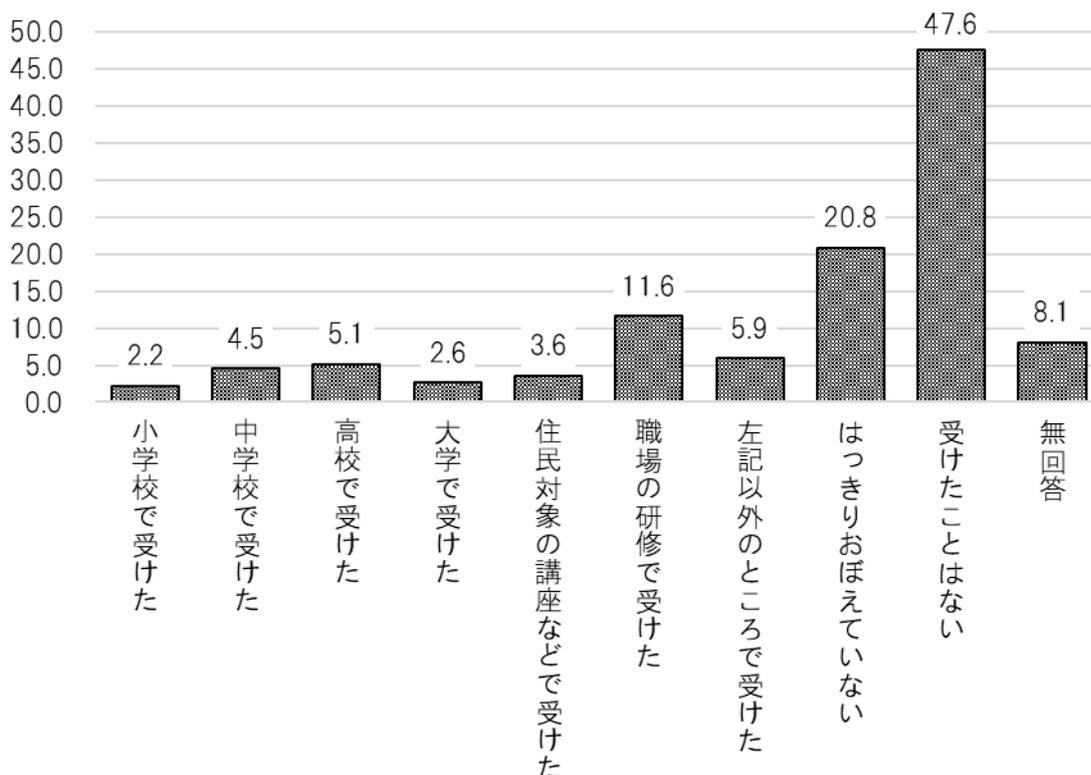
「性別」では、ほとんど差が見られなかった。

「年齢」では、「小学校で受けた」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で17.1%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で0.8%と、16.3ポイントの差が見られた。「中学校で受けた」で最も割合が高かったのは「30歳代」で28.1%、最も割合が低かったのは「60歳代」で1.6%と、26.5ポイントの差が見られた。「高校で受けた」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で25.7%、最も割合が低かったのは「60歳代」で1.6%と、24.1ポイントの差が見られた。「大学で受けた」で最も割合が高かったのは「30歳代」で15.6%、最も割合が低かったのは「60歳代」で0.0%と、15.6ポイントの差が見られた。「住民対象の講座などで受けた」で最も割合が高かったのは「50歳代」で6.8%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で0.0%と、6.8ポイントの差が見られた。「職場の研修で受けた」で最も割合が高かったのは「40歳代」で19.2%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で2.9%と、16.3ポイントの差が見られた。「はっきりおぼえていない」で最も割合が高かったのは「50歳代」で34.2%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で20.0%と、14.2ポイントの差が見られた。「受けたことはない」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で53.0%、最も割合が低かったのは「30歳代」「40歳代」で21.9%と、31.1ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「職場の研修で受けた」で最も割合が高かったのは「磯部町」で17.0%、最も割合が低かったのは「志摩町」で6.9%と、10.1ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差が見られなかった。

## E.性の多様性



「性別」では、ほとんど差が見られなかった。

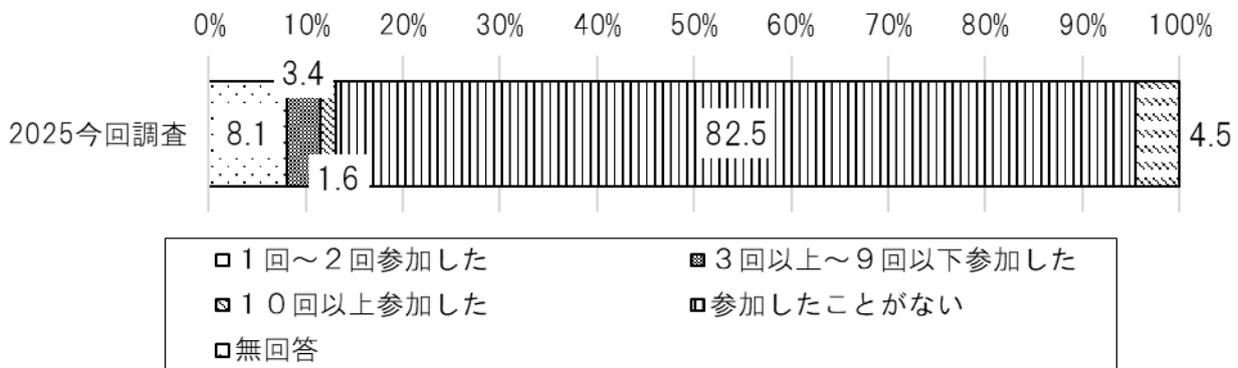
「年齢」では、「小学校で受けた」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で14.3%、最も割合が低かったのは「40歳代」で0.0%と、14.3ポイントの差が見られた。「中学校で受けた」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で25.7%、最も割合が低かったのは「60歳代」で0.8%と、24.9ポイントの差が見られた。「高校で受けた」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で34.3%、最も割合が低かったのは「60歳代」で0.0%と、34.3ポイントの差が見られた。「大学で受けた」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で14.3%、最も割合が低かったのは「60歳代」「70歳以上」で0.0%と、14.3ポイントの差が見られた。「住民対象の講座などで受けた」で最も割合が高かったのは「50歳代」で6.8%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で0.0%と、6.8ポイントの差が見られた。「職場の研修で受けた」で最も割合が高かったのは「30歳代」で31.3%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で3.6%と、27.7ポイントの差が見られた。「はっきりおぼえていない」で最も割合が高かったのは「50歳代」で27.4%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で17.1%と、10.3ポイントの差が見られた。「受けたことはない」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で56.6%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で25.7%と、30.9ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「住民対象の講座などで受けた」で最も割合が高かったのは「磯部町」で7.5%、最も割合が低かったのは「大王町」で1.3%と、6.2ポイントの差が見られた。

「職場の研修で受けた」で最も割合が高かったのは「磯部町」で17.9%、最も割合が低かったのは「志摩町」で4.3%と、13.6ポイントの差が見られた。「受けたことはない」で最も割合が高かったのは「志摩町」で53.4%、最も割合が低かったのは「磯部町」で38.7%と、14.7ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「はっきりおぼえていない」で「志摩市内」が19.2%、「志摩市外」が27.3%と、8.1ポイントの差が見られた。

問16-1 あなたは、過去8年間（2017年4月1日から2025年3月31日までの間）で、志摩市の行っている人権講座や「人権を考える市民の集い」、保育所（園）・認定こども園・幼稚園・小中学校での人権講演会に参加したことがありますか。1つだけ○をつけてください。



過去8年間で志摩市や保育所・小中学校等で行われる人権講演会の参加状況について、「1回～2回参加した」で8.1%、「3回以上～9回以下参加した」で3.4%、「10回以上参加した」で1.6%、「参加したことがない」で82.5%となった。

「性別」では、ほとんど差が見られなかった。

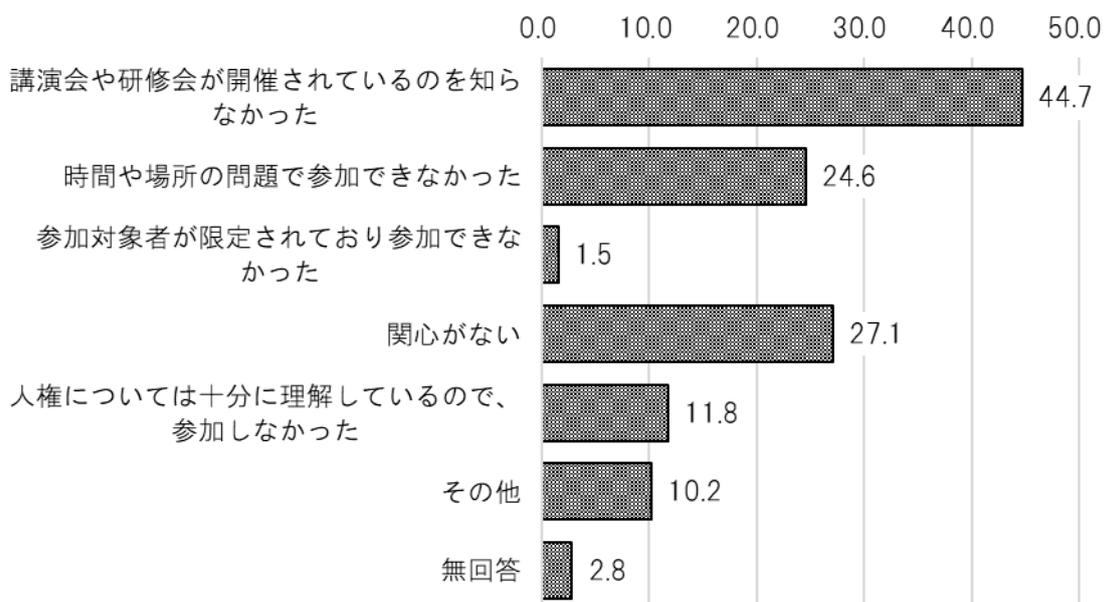
「年齢」では、「1回～2回参加した」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で17.1%、最も割合が低かったのは「60歳代」で4.7%と、12.4ポイントの差が見られた。

「3回以上～9回以下参加した」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で8.6%、最も割合が低かったのは「50歳代」で1.7%と、6.9ポイントの差が見られた。「参加したことがない」で最も割合が高かったのは「60歳代」で89.0%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で71.4%と、17.6ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「1回～2回参加した」で最も割合が高かったのは「磯部町」で15.1%、最も割合が低かったのは「志摩町」で5.2%と、9.9ポイントの差が見られた。「3回以上～9回以下参加した」で最も割合が高かったのは「志摩町」で14.9%、最も割合が低かったのは「浜島町」で1.6%と、13.3ポイントの差が見られた。「参加したことがない」で最も割合が高かったのは「浜島町」で88.9%、最も割合が低かったのは「磯部町」で74.5%と、14.4ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「参加したことがない」で「志摩市内」が81.8%、「志摩市外」が90.2%と、8.4ポイントの差が見られた。

問16-2 問16-1で「4. 参加したことがない」と回答された方にお聞きします。  
その理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。



問16-1で「4. 参加したことがない」と回答した理由として、最も割合が高かったのは「講演会や研修会が開催されているのを知らなかった」で44.7%、2番目に高かったのは「関心がない」で27.1%、3番目は「時間や場所の問題で参加できなかった」で24.6%、次いで「人権については十分に理解しているのに、参加しなかった」で11.8%となった。

「性別」では、「時間や場所の問題で参加できなかった」で「男性」が19.9%、「女性」が28.8%と、8.9ポイントの差が見られた。「関心がない」で「男性」が32.8%、「女性」が22.2%と、10.6ポイントの差が見られた。

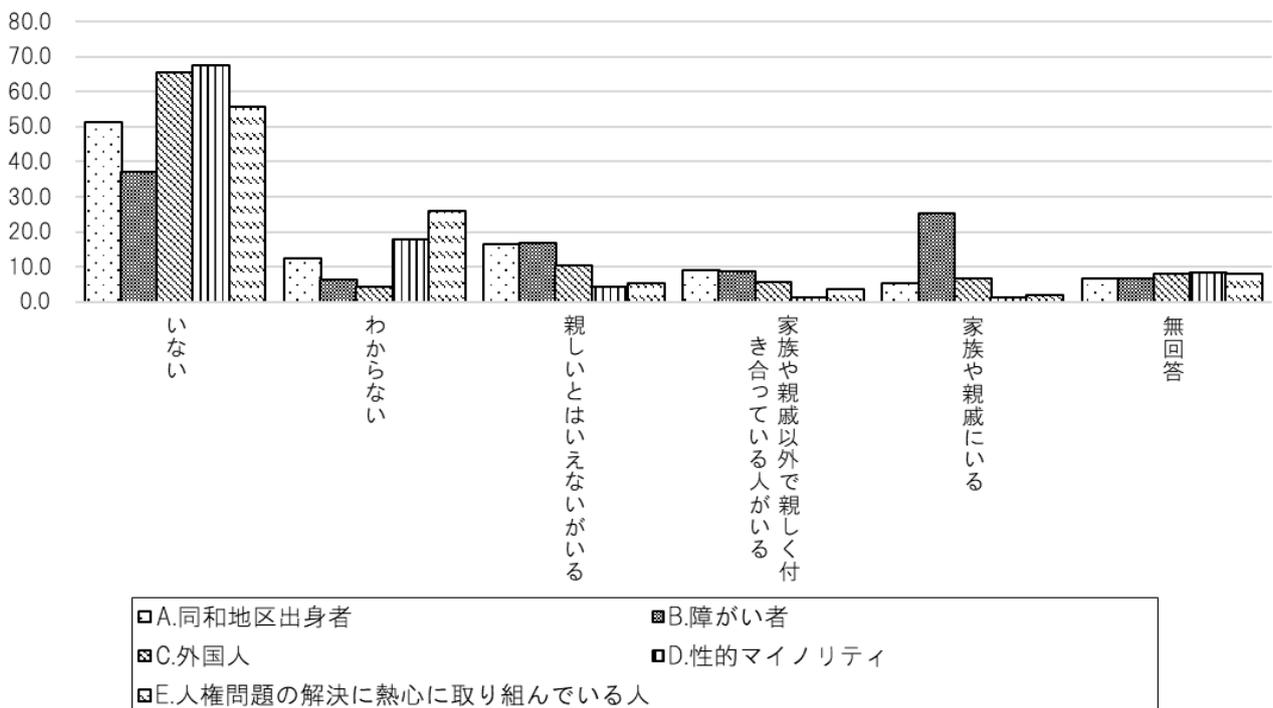
「年齢」では、「講演会や研修会が開催されているのを知らなかった」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で72.0%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で35.7%と、36.3ポイントの差が見られた。「時間や場所の問題で参加できなかった」で最も割合が高かったのは「40歳代」で29.6%、最も割合が低かったのは「30歳代」で12.0%と、17.6ポイントの差が見られた。「参加対象者が限定されており参加できなかった」で最も割合が高かったのは「30歳代」で8.0%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で0.0%と、8.0ポイントの差が見られた。「関心がない」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で36.0%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で25.8%と、10.2ポイントの差が見られた。「人権については十分に理解しているのに、参加しなかった」で最も割合が高かったのは「30歳代」で28.0%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で8.0%と、20.0ポイントの差が見られた。「その他」で最も割合が高かったのは「60歳代」で12.4%、最も割合が低かったのは「30歳代」で4.0%と、8.4ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「講演会や研修会が開催されているのを知らなかった」で最も割合が高かったのは「志摩町」で48.5%、最も割合が低かったのは「浜島町」で37.5%と、11.0ポイントの差が見られた。「時間や場所の問題で参加できなかった」で最も割合が高かったのは「磯部町」で31.6%、最も割合が低かったのは「阿児町」で21.8%と、9.8ポイントの差が見られた。「関心がない」で最も割合が高かったのは「浜島町」で37.5%、最も割合が低かったのは「磯部町」で19.0%と、18.5ポイントの差が見られた。「人権については十分に理解しているのに、参加しなかった」で最も割合が高かったのは「磯部町」で22.8%、

最も割合が低かったのは「志摩町」で6.9%と、15.9ポイントの差が見られた。「その他」で最も割合が高かったのは「大王町」で16.4%、最も割合が低かったのは「磯部町」で5.1%と、11.3ポイントの差が見られた。

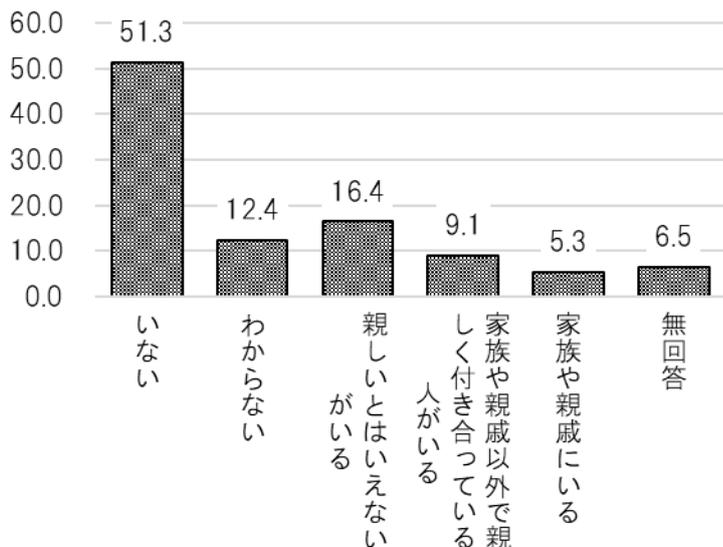
「学生期」では、「時間や場所の問題で参加できなかった」で「志摩市内」が26.7%、「志摩市外」が17.6%と、9.1ポイントの差が見られた。「関心がない」で「志摩市内」が28.6%、「志摩市外」が21.8%と、6.8ポイントの差が見られた。「人権については十分に理解しているので、参加しなかった」で「志摩市内」が9.8%、「志摩市外」が18.5%と、8.7ポイントの差が見られた。

**問17 あなたには、A～Eの友人や知人、家族や親戚がいますか。A～Eのそれぞれについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。**



A～Eの友人や知人、家族や親戚がいるかどうかについて、「いない」で最も割合が低かったのは「B.障がい者」で37.1%、最も割合が高かったのは「D.性的マイノリティ」で67.4%となった。「わからない」で最も割合が低かったのは「C.外国人」で4.2%、最も割合が高かったのは「E.人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人」で25.9%となった。「親しいとはいえないがいます」で最も割合が低かったのは「D.性的マイノリティ」で4.3%、最も割合が高かったのは「B.障がい者」で16.9%となった。「家族や親戚以外で親しく付き合っている人がいます」で最も割合が低かったのは「D.性的マイノリティ」で1.2%、最も割合が高かったのは「A.同和地区出身者」で9.1%となった。「家族や親戚にいます」で最も割合が低かったのは「D.性的マイノリティ」で1.4%、最も割合が高かったのは「B.障がい者」で25.1%となった。

## A. 同和地区出身者



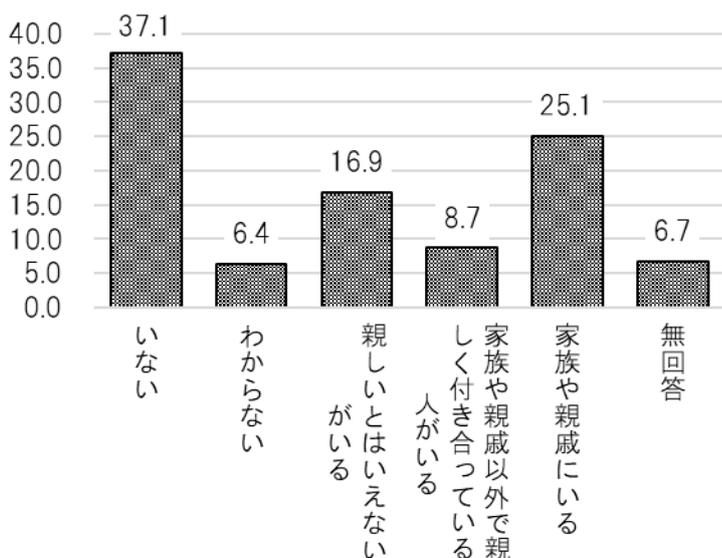
「性別」では、ほとんど差が見られなかった。

「年齢」では、「いない」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で59.4%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で42.9%と、16.5ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で28.6%、最も割合が低かったのは「30歳代」「60歳代」で9.4%と、19.2ポイントの差が見られた。「親しいとはいえないがいる」で最も割合が高かったのは「30歳代」で31.3%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で13.3%と、18.0ポイントの差が見られた。「家族や親戚以外で親しく付き合っている人がいる」で最も割合が高かったのは「50歳代」で12.8%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で7.6%と、5.2ポイントの差が見られた。「家族や親戚にいる」で最も割合が高かったのは「60歳代」で7.1%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で0.0%と、7.1ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「いない」で最も割合が高かったのは「大王町」で61.5%、最も割合が低かったのは「磯部町」で27.4%と、34.1ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「浜島町」で15.9%、最も割合が低かったのは「磯部町」で7.5%と、8.4ポイントの差が見られた。「親しいとはいえないがいる」で最も割合が高かったのは「磯部町」で33.0%、最も割合が低かったのは「浜島町」で6.3%と、26.7ポイントの差が見られた。「家族や親戚以外で親しく付き合っている人がいる」で最も割合が高かったのは「磯部町」で23.6%、最も割合が低かったのは「大王町」で3.8%と、19.8ポイントの差が見られた。「家族や親戚にいる」で最も割合が高かったのは「磯部町」で11.3%、最も割合が低かったのは「浜島町」で3.2%と、8.1ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差が見られなかった。

## B. 障がい者



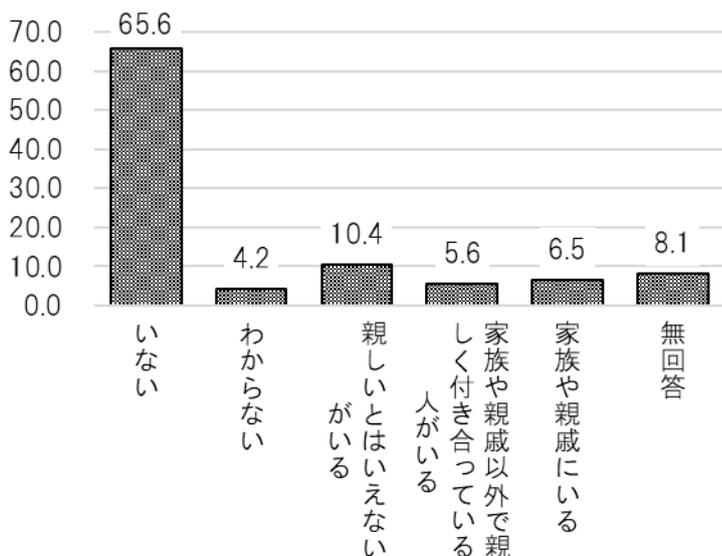
「性別」では、ほとんど差が見られなかった。

「年齢」では、「いない」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で41.4%、最も割合が低かったのは「50歳代」で30.8%と、10.6ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で11.4%、最も割合が低かったのは「30歳代」で0.0%と、11.4ポイントの差が見られた。「親しいとはいえないががいる」で最も割合が高かったのは「40歳代」で27.0%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で11.6%と、15.4ポイントの差が見られた。「家族や親戚以外で親しく付き合っている人がいる」で最も割合が高かったのは「30歳代」で12.5%、最も割合が低かったのは「40歳代」で4.1%と、8.4ポイントの差が見られた。「家族や親戚にいる」で最も割合が高かったのは「50歳代」で29.1%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で17.1%と、12.0ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「いない」で最も割合が高かったのは「大王町」で50.0%、最も割合が低かったのは「磯部町」で24.5%と、25.5ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「浜島町」で9.5%、最も割合が低かったのは「磯部町」で3.8%と、5.7ポイントの差が見られた。「親しいとはいえないががいる」で最も割合が高かったのは「磯部町」で22.6%、最も割合が低かったのは「浜島町」で9.5%と、13.1ポイントの差が見られた。「家族や親戚以外で親しく付き合っている人がいる」で最も割合が高かったのは「磯部町」で13.2%、最も割合が低かったのは「大王町」で5.1%と、8.1ポイントの差が見られた。「家族や親戚にいる」で最も割合が高かったのは「磯部町」で34.0%、最も割合が低かったのは「大王町」で20.5%と、13.5ポイントの差が見られた。

「学生期」では、「いない」で「志摩市内」が36.4%、「志摩市外」が42.4%と、6.0ポイントの差が見られた。

### C.外国人



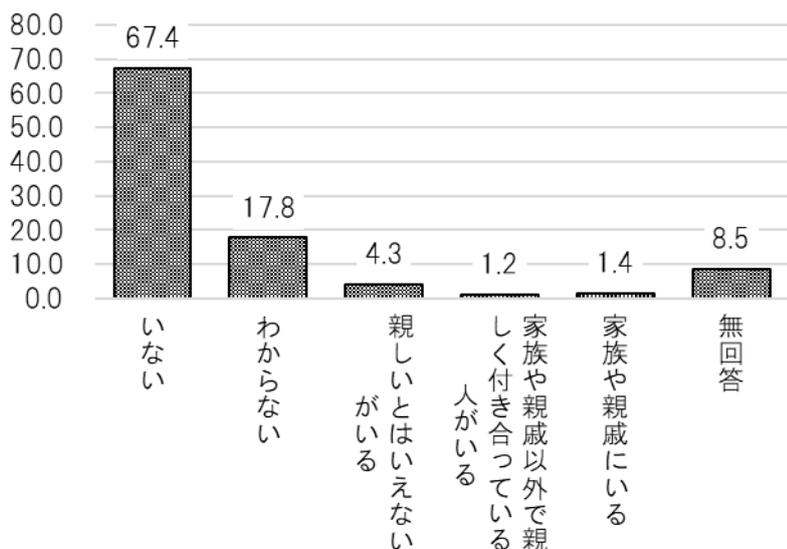
「性別」では、ほとんど差が見られなかった。

「年齢」では、「いない」で最も割合が高かったのは「70歳以上」で72.3%、最も割合が低かったのは「18～29歳以下」で51.4%と、20.9ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で8.6%、最も割合が低かったのは「30歳代」で0.0%と、8.6ポイントの差が見られた。「親しいとはいえないがいる」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で22.9%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で6.0%と、16.9ポイントの差が見られた。「家族や親戚以外で親しく付き合っている人がいる」で最も割合が高かったのは「50歳代」で12.0%、最も割合が低かったのは「60歳代」で2.4%と、9.6ポイントの差が見られた。「家族や親戚にいる」で最も割合が高かったのは「30歳代」で18.8%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で4.8%と、14.0ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「いない」で最も割合が高かったのは「大王町」で71.8%、最も割合が低かったのは「磯部町」で60.4%と、11.4ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差が見られなかった。

## D.性的マイノリティ



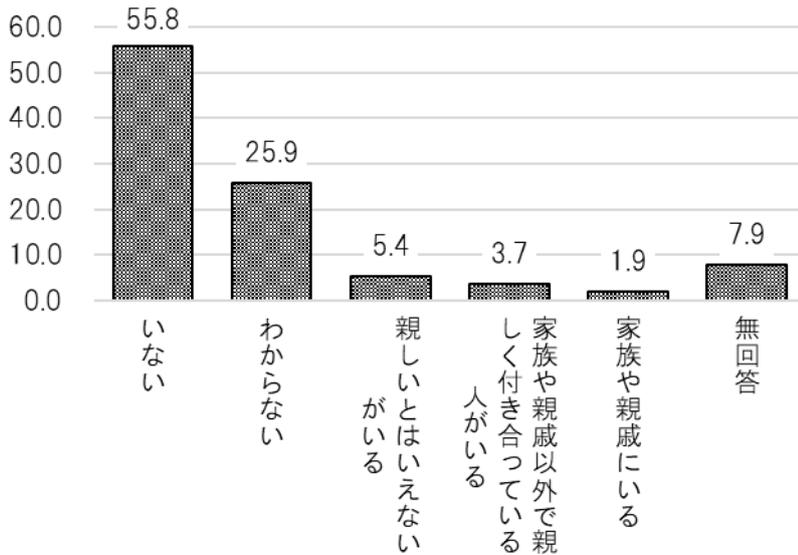
「性別」では、ほとんど差が見られなかった。

「年齢」では、「いない」で最も割合が高かったのは「60歳代」で75.6%、最も割合が低かったのは「40歳代」で59.5%と、16.1ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「18～29歳以下」で27.8%、最も割合が低かったのは「60歳代」で10.2%と、17.6ポイントの差が見られた。「親しいとはいえないががいる」で最も割合が高かったのは「30歳代」で12.5%、最も割合が低かったのは「70歳以上」で0.8%と、11.7ポイントの差が見られた。「家族や親戚にいる」で最も割合が高かったのは「30歳代」で6.3%、最も割合が低かったのは「60歳代」「70歳以上」で0.8%と、5.5ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「いない」で最も割合が高かったのは「大王町」で73.1%、最も割合が低かったのは「磯部町」で64.2%と、8.9ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「磯部町」で22.6%、最も割合が低かったのは「大王町」で10.3%と、12.3ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差が見られなかった。

### E.人権問題の解決に熱心に取り組んでいる人



「性別」では、ほとんど差が見られなかった。

「年齢」では、「いない」で最も割合が高かったのは「50 歳代」で 60.7%、最も割合が低かったのは「40 歳代」で 53.4%と、7.3 ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「18～29 歳以下」で 37.1%、最も割合が低かったのは「50 歳代」で 22.2%と、14.9 ポイントの差が見られた。「親しいとはいえないがいる」で最も割合が高かったのは「40 歳代」で 8.2%、最も割合が低かったのは「18～29 歳以下」で 2.9%と、5.3 ポイントの差が見られた。「家族や親戚にいる」で最も割合が高かったのは「30 歳代」で 6.3%、最も割合が低かったのは「60 歳代」で 0.8%と、5.5 ポイントの差が見られた。

「住まい」では、「いない」で最も割合が高かったのは「大王町」で 67.9%、最も割合が低かったのは「磯部町」で 43.4%と、24.5 ポイントの差が見られた。「わからない」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 34.0%、最も割合が低かったのは「大王町」で 20.5%と、13.5 ポイントの差が見られた。「家族や親戚以外で親しく付き合っている人がいる」で最も割合が高かったのは「磯部町」で 9.4%、最も割合が低かったのは「大王町」で 0.0%と、9.4 ポイントの差が見られた。

「学生期」では、ほとんど差が見られなかった。